

一金壹萬貳千九百參拾八圓九拾錢六厘

豫備費

(修正)金九千九百九拾五圓五拾六錢壹厘

總計金參拾七萬八千參百九拾四圓九拾錢六厘

(修正)金參拾六萬貳千八百八拾八圓貳拾九錢參厘

内

金參拾萬九千百貳拾五圓五拾錢六厘

地方稅

(修正)金貳拾九萬八千五百六拾壹圓貳拾六錢四厘

金六萬九千貳百六拾九圓四拾錢

國庫下渡金

(修正)金六萬四千參百貳拾七圓貳錢九厘

無 號 明治十七年度區部營業稅雜種稅課目課額……………修正

營業稅

一 商業

會社(十三業目省略)

以上掲クル所ノ各商ハ其使用建物ト其敷地ノ地位ヲ準トシ左ノ方法ニ據リ

得ル所ノ個數(六百十八萬九百八十個(六百二十萬七千八百七十四個)ト修正)一
個ニ付金(貳錢五厘)(壹錢八厘)ト修正)

(修正理由) 個數ヲ修正セシハ免稅種類修正ノ結果一個當ヲ改メシハ今府下營業者ノ戶數ハ僅ニ四萬内外ニ過キサレニ其負擔スル所ノ稅金ハ凡拾六萬圓ニ近シ然ルニ家屋稅ハ戶數凡ソ拾貳萬ニシテ其金額貳拾七萬餘圓ニ過キス營業稅ノ家屋稅ヨリ重キコト一目瞭然タリ左レハニヤ營業者ノ戶數年ヲ逐フテ減少セルノミナラス昨年來頗ル不振ノ狀況ナルニ依リ課稅ノ乘率ヲ輕減セントスルニ由ル(常置委員會意見)

一 工業

工場ニ課スル營業稅ハ其工場ノ廣狹及ヒ地位ヲ準トシ會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數二十三萬六千九百六十個一個ニ付金(貳錢五厘)(壹錢八厘)ト修正)

(修正理由) 商業ニ同シ(常置委員會意見)

雜種稅

一 料理屋

客間七十坪以上

月稅 (金八圓)ト修正)

(八項省略)

同 五坪未滿

同 金拾錢

但客間ナキモノハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數九千五百二十個一個ニ付年稅金^{〔金〕}貳錢五厘^{〔金〕}壹錢八厘^{〔金〕}ト修正

(修正理由) 從來料理屋稅ハ雜種稅中最モ重ク且近來不景氣ノ爲メ最モ斯業ノ衰頽ヲ來タセルニ由ル^{〔金〕}常置委員會意見

一 待合茶屋

客間三十坪以上

月稅

^{〔金〕}金貳圓五拾錢^{〔金〕}ト修正

同 二十坪以上

同

^{〔金〕}金壹圓五拾錢^{〔金〕}ト修正

同 二十坪未滿

同

金壹圓

(修正理由) 料理屋ニ同シ^{〔金〕}常置委員會意見

一 遊船宿

客間三十坪以上

月稅

^{〔金〕}金貳圓五拾錢^{〔金〕}ト修正

同

同

^{〔金〕}金壹圓五拾錢^{〔金〕}ト修正

同

同

金壹圓

(修正理由) 待合茶屋ニ同シ^{〔金〕}常置委員會意見

一 芝居茶屋

四百坪以上ノ劇場ニ屬スルモノ

客間二十坪以上

興行中

日稅

金參拾錢

(六項省略)

同二百坪未滿ノ劇場ニ屬スルモノ

同 二十坪未滿

同

同

金五錢

但通算シテ一ヶ年^{〔金〕}金參拾六圓^{〔金〕}金參拾圓^{〔金〕}ト修正ニ止ムルモノトス^{〔金〕}常置委員會意見

一 飲食店

客間七十坪以上

月稅

^{〔金〕}金八圓^{〔金〕}ト修正

(八項省略)

同 五坪未滿

同

金拾錢

但客間ナキモノハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數一萬八千個一個ニ付年稅^{〔金〕}金貳錢五厘^{〔金〕}金壹錢八厘^{〔金〕}ト修正
(修正理由) 料理屋ニ同シ^{〔金〕}常置委員會意見

一 雇人請宿

一個ニ付

^{〔金〕}金參錢^{〔金〕}ト修正

一 俳優

下ノ上等

月稅

〔金壹圓五拾錢〕ト修正

下ノ中等

同

〔金七拾五錢〕ト修正

一藝妓

藝妓

同

〔金壹圓五拾錢〕ト修正

少藝妓俗ニオ酌ト稱シ三味線ヲ携ヘサル者ヲ云フ

同

〔金七拾五錢〕ト修正

〔修正理由〕元來此稅ハ不道理ナルヲ以テ全廢シタキモ收入ニ向テ大關係ヲ及ホスノ恐レアルヲ以テ聊カ之ヲ減スルニ由ル〔常置委員會意見〕

一人寄席

一個ニ付

〔金貳錢五厘〕ト修正

一屠畜

牛 一頭ニ付

稅

〔金四拾錢〕ト修正

〔修正理由〕追々需用モ増シ衛生上必需品ナルヲ以テ負擔ヲ輕減スルニ由ル〔常置委員會意見〕

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スル者左ノ如シ

〔炭團商、豆腐商〕修正削除〔以下業目省略〕

〔修正理由〕炭團商豆腐商ハ他ノ營業者ニ比シ優等ノ家屋ニ住ミ盛ニ營業スル者多キニ由ル〔常置委員會意見〕

無 號 明治十七年度區部地方稅收入豫算……………修正

一金八萬八千九百七拾五圓六拾五錢參厘

地 租 割

〔修正〕金六萬六千七百參拾壹圓七拾四錢

〔修正理由〕原案地租壹圓ニ付參拾參錢參厘參毛餘ナルモ本年ノ如キ場合ニ増徴スルハ不可ナルヲ以テ前年通り地租壹圓ニ付貳拾五錢トスルニ由ル〔議員須藤時一郎動議〕

一金拾六萬四千貳百六拾八圓五拾錢

營 業 稅

〔修正〕金拾壹萬九千八百貳拾七圓壹錢貳厘

內

金拾五萬八千參百四拾四圓五拾錢

商 業 稅

〔修正〕金拾壹萬五千五百六拾壹圓七拾參錢貳厘

金五千九百貳拾四圓

工 業 稅

〔修正〕金四千貳百六拾五圓貳拾八錢

一金七萬八千八百八圓四拾貳錢五厘

雜 種 稅

〔修正〕金六萬九千參拾貳圓九拾七錢五厘

一金貳拾八萬六千四百四拾圓

家 屋 稅

但總個數七百十六萬千個ニ付金四錢

(修正)金參拾參萬七千五拾參圓九拾九錢

但總個數千二百九十六萬三千六百十五個ニ付金貳錢六厘

個數算出方法中

一 敷地ノ地位ヲ差別ス

「一等 地位一等ヨリ二十等迄

乘率 五〇

(七項省略)

九等 同 百六十一等以下

同 一〇

(修正)以上九項ヲ左ノ十九項ニ修正ス

「一等 地位一等ヨリ十等迄

乘率 一〇〇

(十七項省略)

十九等 同 百八十一等以下

同 一〇

(修正理由) 家屋稅ノ一等ハ地位二十等ヲ含ムヲ以テ例ヘハ地位一等ニ在ルモノ五圓ヲ出セハ其二十等ニ住スルモノモ亦五圓ヲ出スヲ以テ之ヲ一等ノモノニ比スレハ重稅ヲ課セラレ一等地ニ住スル者ハ却テ輕稅ヲ負擔スルノ姿ヲナシ又每級其界目ニ在ルモノハ僅カナル地位等級ノ差ヨリシテ其間ニ大ナル懸隔ヲナスノ有様ナリシヲ以テ每等ノ

間地位十等ヲ以テ分界トシ乘率一等ヲ一〇〇トシテ以下遞減シテ一〇ニ至ラシメハ等級細分ノ結果稍公平ヲ得ルニ近カルヘントスルニ由ル(常置委員會意見)

一金四萬八千九百六拾貳圓九拾壹錢參厘

雜 收 入

(修正)金五萬貳千九百八拾六圓九拾六錢八厘

(常置委員會意見)

一金九萬九千七百八拾六圓拾貳錢八厘

前々年度ヨリ繰越金

一金參拾九萬六千六拾七圓拾壹錢八厘

國 庫 下 渡 金

(修正)金參拾八萬六千四百七拾七圓拾參錢九厘

總計金百拾六萬貳千六百八圓七拾參錢七厘

(修正)金百拾參萬九千九百九拾五圓九拾五錢貳厘

無 號 明治十七年度區部共有金收入支出豫算……………修正

收 入

一金貳萬八千四百參拾圓七拾錢壹厘

原 資 收 入

(修正)金貳萬八千四百七拾六圓六拾錢壹厘

內 譯

金貳千貳百四拾四圓五拾錢

舊公債證書賦金

金貳萬六千五百五拾壹圓貳拾錢壹厘

瓦斯局ヨリ償却金

(修正)金貳萬六千九拾七圓拾錢壹厘

(修正理由) 瓦斯局收支豫算修正ノ結果ニ由ル常置委員會意見

根岸小學校外一校貸付償却金

金參拾五圓

利益收入

一金參萬八千六百拾四圓貳拾錢

内

金參萬六千四百拾四圓貳拾錢

公債證書利子及預ケ金利子

金貳千貳百圓

貸地料

合計金六萬七千四拾四圓九拾錢壹厘

(修正)金六萬七千九拾圓八拾錢壹厘

支出

一金五萬五百九圓

内

金五千八百五拾圓

備荒儲蓄公儲金

金七百圓

共有地諸費

金四萬參千九百五拾九圓

新川開鑿費

今川橋通り開鑿費貳萬八千七百四拾圓貳拾九錢濱町川通り開鑿費壹萬五

千貳百拾八圓七拾錢

外

一金壹萬六千貳拾六圓九拾錢參厘

瓦斯製造竈其他新設並
改造費本年度支出額

合計金六萬六千五百參拾五圓九拾錢參厘

無 號 明治十七年度瓦斯局收入支出豫算.....修正

收入

一金六萬八千參百六拾四圓

内

金壹萬七千六拾四圓

街燈點火料

金四萬五千圓

各家引用瓦斯代

金六千五百圓

コークス並タール賣却代

金百九拾四圓

雜入

支出

一金四萬貳千貳百拾貳圓七拾九錢九厘
(修正)金四萬貳千百六拾六圓八拾九錢九厘

内

金貳千五百貳拾圓

金九千貳圓九厘

(修正)金九千七圓拾錢九厘 (常置委員會意見)

金貳萬四千八百八拾壹圓四拾五錢

金七百八拾五圓八拾四錢

(修正)金七百參拾四圓八拾四錢 (常置委員會意見)

金四千貳拾參圓五拾錢

金千圓

俸 給
雜 給

製 造 費
局 費

器械並家屋修繕費
家内引用瓦斯枝管取付費

無 號 明治十七年度區部備荒儲蓄金收入豫算……………可 決

一金壹萬六千參拾九圓貳拾五錢八厘 備 荒 儲 蓄 金

内

金五千八百五拾圓

金五千八百貳拾參圓八拾五錢八厘

金四千參百六拾五圓四拾錢

公 儲 金

配 付 金

公債證書及預金利子

明治十五年度區部地方費收支精算報告……………承 認

明治十五年度區部共有金收入支出精算報告……………承 認

明治十五年度瓦斯局收入支出精算報告……………承 認

明治十五年度區部備荒儲蓄金收支精算報告……………承 認

土木工事入札區域改正並土木工事定請負ノ義ニ付建議……………可 決

(建議の概要) 土木工事の請負は、從來入札範圍を五百圓以上に制限し、五百圓以内の工事は、豫て契約してある用達組の定請負に付して來たが、當今のやうな不景氣の折柄、公入札に付するときは、自然安價に請負はすることが出來て、府の經濟上利益であるから、爾今參百圓以上を公入札に付することに範圍を改正するやう、又用

(修正)金貳萬四千四百四拾七圓七拾四錢

(修正理由) 道路大破修繕費ノ坪數ヲ減シテ壹萬八千六百餘圓トシ道路飛修繕費ハ道路
總平坪ノ二十分ノ一修繕ノ見込ヲ十五分ノ一修繕ニ改メ金額ヲ増シテ參千六百貳圓餘
トシ橋梁架換費ヲ五百七圓ニ同修繕費ヲ千七拾參圓ニ減スルニ由ル議員平林九兵衛外
一名動議

金千參百九拾七圓

治水堤防費

一金九千九百六拾五圓

町村土木補助費

(修正)金九千七百四拾圓九拾五錢參厘 (調査委員意見)

一金貳千百圓

郡部會議諸費

一金四百圓

衛生費

但郡醫手當

一金百參拾五圓

郡廳舍修繕費

一金壹萬四千四百七拾圓

郡吏員給料旅費及廳中諸費

內

金八千貳百六拾貳圓

俸給
雜給

金參千參百七拾四圓

金貳千八百參拾四圓

一金八百六拾貳圓

(修正)金八百六拾圓拾貳錢四厘 (常置委員會意見)

一金九百八拾參圓

救育費
諸達書及揭示諸費

但種物交換費

一金參萬千七百壹圓

勸業費
戶長以下給料及戶長職務取扱諸費

一金千六百九拾圓八拾七錢八厘

(修正)金貳千六百四拾九圓壹錢參厘 (常置委員會意見)

總計金九萬千六百八拾參圓八拾七錢八厘

(修正)金八萬九千八百八圓八拾參錢

內

金九萬千五百五拾參圓七錢八厘

地方稅

(修正)金八萬八千九百八拾四圓六拾參錢

金百參拾圓八拾錢

國庫下渡金

(修正)金百貳拾四圓貳拾錢

無 號 明治十七年度郡部營業稅雜種稅課目課額……………修正

雜種稅

一乘馬

「一頭ニ付

年稅 金壹圓」

(營業乘馬

一頭ニ付

年稅 金壹圓

自用乘馬

同

同 金參圓」ト修正)

(修正理由) 營業ト自用トハ自ラ貧富ノ差アルニ由ル議員平林九兵衛動議)

一屠畜

牛

一頭ニ付

稅

〔金四拾錢〕ト修正)〔金參拾錢〕ト修正)

(修正理由) 區部ノ例ニ由ル常置委員會意見)

無 號 明治十七年度郡部地方稅收入豫算……………修正

一金七萬九千參百九拾八圓參拾貳錢壹厘
一金四萬九千八百八拾八圓貳拾錢

地租壹圓ニ付貳拾八錢五厘七釐) 營業稅

內

金四千六百貳拾五圓七拾錢
金參百六拾貳圓五拾錢

商業稅
工業稅

一金壹萬參百七拾六圓貳錢壹厘

雜種稅

(修正)金壹萬參百六拾九圓五拾貳錢壹厘

戶數割

一金四萬四千貳百圓五錢

(修正)金參萬九千八百八拾七圓八拾五錢

一金五千拾參圓五拾四錢四厘

雜收入

(修正)金五千貳百拾壹圓五錢

一金六千九拾八圓四拾貳錢九厘

一金參萬五千七百貳拾九圓四拾八錢貳厘

前々年度ヨリ繰越金
國庫下渡金

(修正)金參萬五千貳百拾六圓六拾六錢貳厘

總計金拾八萬五千八百四圓四錢七厘

(修正)金拾八萬千七百七拾圓參錢參厘

内

金拾五萬七拾四圓五拾六錢五厘

地方稅收入總高

(修正)金拾四萬五千九百五拾參圓參拾七錢壹厘

金參萬五千七百貳拾九圓四拾八錢貳厘

國庫下渡金

(修正)金參萬五千貳百拾六圓六拾六錢貳厘

無 號 明治十七年度郡部備荒儲蓄金收入豫算……………可決

一金壹萬六千七百四拾參圓七拾壹錢參厘 備荒儲蓄金

内

金六千百拾參圓六拾七錢壹厘

金六千六拾參圓拾四錢貳厘

金四千五百六拾六圓九拾錢

公債證書及預金利息

公儲金
(地租壹圓ニ付貳錢貳厘)
配付金

明治十五年度郡部地方費收支精算報告……………承認

明治十五年度郡部備荒儲蓄金收支精算報告……………承認

入札請負規則改正ノ儀ニ付建議……………可決

(建議の概要) 郡部工事入札請負規則第六條但書に「着手金下渡ヲ望マサル者ハ請負金高ノ二割五分ニ相當スル公債證書或ハ通貨又ハ府廳ノ信用スル銀行ノ預リ金券ヲ以テ身元保證トナスコトヲ得云々」とあるが、郡部の住民は四圍の狀況から不便の點が少くないので其の外に、管内地券を以て身元保證とすることを得るよう、知事に建議するので、多數を以て可決した。

土木工事入札區域改正並百圓以上ノ工事ハ着手ノ都度常置

委員會ニ諮問ノ儀建議……………可決

(建議の概要) 郡部土木費の中で治水堤防以外の工事は、從來參百圓以上を一般の入札に付し、參百圓未滿を村の請負に委ねて居つたが、近年物價低落等の影響で、參百圓未滿の工事でさへ輕視し難い状態に立至つたから、今後は百圓を限界として其れ以上を入札に付し、以下を村の請負に委ね、且つ百圓以上の工事は、其の都度常

置委員會に諮問するよう、知事に建議するので、多數を以て可決した。

臨時府會

本會は、府會議員半數改選後、初めての臨時會であつて、正副議長等選舉の爲めに召集せられたもので、明治十七年五月十三日午後四時二十分に開會した。前例に依り、書記中野光亨が假議長となつて先づ知事からの左記達書を議場に報告した。

東京府會

其會正副議長並東京地方衛生會委員滿期ニ付改選スヘシ此旨相達候事
但東京地方衛生會委員ハ府會議員ヨリ三名醫師ヨリ六名製藥學士ヨリ一名
ト心得ヘシ

明治十七年五月十三日

東京府知事 芳川顯正

次で府會議長選舉の投票を行つて、沼間守一が多數を以て當選し、直に議長の職務を執つた。

沼間議長は、知事から通達があつた半數改選に依る當選者を議場に報告し、尋で

府會副議長選舉の投票を行つたところ、芳野世經が多數の得票で當選した。

更に東京地方衛生會委員十名の選舉投票を行つて、次の通り決定したので、當日午後九時五分會を閉じた。

府會議員から公選した者

沼間守一

藤田茂吉

藤本精一

醫師から公選した者

佐々木東洋

松山棟庵

高松凌雲

印東玄得

原桂仙

岡玄卿

製藥學士から公選した者

田原良純

臨時區部會

本會は、正副議長選舉の爲め召集せられたもので、明治十七年五月十三日午後七時に會議を開いて、午後九時五分に閉會した。

議員田口卯吉から、區部會の正副議長は別に選舉を行はず、前例に依つて、府會の

正副議長を之に充つるようとの發議があり、多數の賛成があつて可決したので、議長は沼間守一、副議長は芳野世經と決つた。

沼間議長は、直に職務を執り先づ、區部會正副議長並常置委員満期に付改選すべしといふ知事の達書を議場に報告し、正副議長は、既に決定したから常置委員の選舉を行つて、沼間守一、藤田茂吉、芳野世經、田口卯吉、犬養毅、須藤時一郎、益田克徳の七名が當選した。

常置委員補闕員二名の選舉については、常置委員選舉の次點者から高點順に據つて充當するといふ者と、投票を行ふといふ者とがあつたが採決の結果前者に決し、渡部温、藤本精一の二名が補闕員となつた。

臨時郡部會

本會は、明治十七年五月十三日午後六時二十分に會議を開き、府會の例に倣つて、書記中野光亨が假議長となつて、郡部會正副議長並常置委員満期に付改選すべしといふ、知事の達書を議場に報告し、議長選舉の投票を行つたが、鳩山和夫が多數を以て當選し、直に職務を執つた。

次で副議長選舉の投票を行つたが、鳥山貞利が多數を以て當選した。

更に常置委員選舉の投票を行つて、鳩山和夫、鳥山貞利、名倉甚右衛門の三名が當選したが、次點者は七票づゝの同點者が三名となつた爲め二名の當選者を定むるのに論議を生じ、年長順に據つて決するといふ者と、この選舉を取消し更に五名の選舉を行ふといふ者と、二名だけの再選舉を行ふといふ者とがあつたが、結局更めて二名の選舉を行ふことに決し、直に投票を行ひ、平林九兵衛と、淺香克孝とが多數を以て當選した。同點者が數名ある場合に、年長順に據つて當選者を決定した前例があるのにも不拘種々異論を生じたのは、畢竟當時府縣會内部に於ての選舉規程が不備であつて、決選投票等に對する明文を缺いて居たのに原因するのである。最後に、常置委員補闕員二名の選舉投票を行つたが、橋本省吾と金子健重とが多數を以て當選したので臨時郡部會は終了を告げた。

第八節 明治十八年の府會

本年は、會計年度改正の爲め府會區部會郡部會ともに各二回づゝの通常會を開いて居る。從來は七月から翌年六月迄を地方稅豫算の一會計年度と定めてあつ

たので、通常會は、大體三月乃至四月頃に開會したのであつたが、明治十九年度以降は、四月から翌年三月迄を一會計年度に改められたので、通常會を前年十一月乃至十二月頃開會する必要を生じたのである。

通常府會

本會は、明治十八年三月十八日午後四時四十分を以て開會し、議事を重ねること十二日間、四月十八日午後五時二十分閉會した。開會の劈頭に、知事芳川顯正は、次の開會の辭を述べた。

「諸君 明治十八年度地方税支出收入豫算議案成ル茲ニ第七回通常府會ヲ開キ以テ之ヲ本會ニ下附ス今其總額ヲ案スルニ金七拾八萬六千九百五拾貳圓九拾參錢六厘トシ之ヲ前年度決議豫算ニ比スルニ金拾萬四千五百拾九圓貳拾四錢八厘ヲ減セリ然ルニ其費目中ニ付其重ナル者ヲ舉クレハ土木費ニ在テ金四萬千九百圓餘郡區廳舎建築修繕費ニ在テ金參萬參百圓餘ノ増加アルヲ見ル是レ道路ノ改築下水ノ改良郡區廳舎ノ新築ヲ要スルニヨレリ抑モ從來區郡道路構造ノ法タル單ニ土砂ヲ以テ路盤ヲ被フニ過キス隨テ修治スレハ隨テ破壊シ實ニ未タ首府道路ノ面目ヲ備ヘスト雖モ經濟的ノ都合ニ因リ荏苒姑息延ヒテ今日ニ至レリ是レ永ク拋棄スヘキノ業ニアラサルナリ仍テ先ツ改造ニ至便ナル道路即チ銀座及藏前ノ二線ヲ選ミ之ヲ碎石道路ニ改造シ以テ府下道路改良ノ端緒ヲ啓カントスルニア

リ又郡部ニ在テハ一ハ千葉街道一ハ四ツ木街道ニシテ該兩街道タル狹隘ヲ極メ其不便且ツ危險ナル名狀スヘカラス殊ニ千葉街道ハ國道ニテアリナカラ其制規ニ適セサルヤ實ニ甚シ首府ニ出入スルノ道路ト云フモ大ニ厭フヘキナリ故ニ之カ幅員ヲ廣メ以テ通行ノ便ヲ計ラサルヲ得サルモノニシテ共ニ今日止ムヲ得サル所以ナリトス

下水ヲ改良スルノ緊急ナル之ヲ現狀ニ徴シテ吾人ノ疑ハサル所タリ故ニ先年來地勢ノ高低ヲ測リ工事ノ方法ヲ案スル等其設計既ニ熟セリ而シテ前年度ニ於テ國庫ヨリ金五萬圓ヲ下附セラレシヲ以テ人家稠密卑濕汚水ノ常ニ汎溢シ以テ惡疫流行ノ媒ヲ爲スカ如キ地ヲ撰ミ今現ニ工事施行中ニ係レリト雖モ之ヲ全市街ニ普及セシメサレハ其功ヲ奏スルコト能ハス故ニ引續キ國庫ノ補助ヲ仰キ地方費ト共ニ毎年徐々トシテ其工ヲ起サンコト甚緊要タリ郡區役所ヲ置カレタルハ明治十一年ニ在リ爾來其廳舎ハ民有家屋ヲ假用シアリト雖モ其不便甚シキノミナラス(中略)其最モ忍フ能ハサルモノ三役所ヲ選ミ以テ之ニ着手スルハ亦止ムヲ得サルナリ

蓋シ意フニ府下ノ商業比年活潑ヲ缺キ困難ノ狀ヲ説クモノ日々多キヲ加フ苟クモ官ニ牧民ノ職ニ任スルモノ豈ニ之ヲ憂慮セスシテ可ナランヤ(中略)是ヲ以テ取捨斟酌其宜キニ就キ以テ本案ヲ發セリ蓋シ諸君ノ明敏ナル既ニ其苦心ノアル所ヲ諒セラルルナラント雖モ今ヤ開會ニ臨ミ茲ニ一言セサルヲ得ス諸君夫レ旃レヲ諒セヨ(明治十八年府會議事録)

大書記官銀林綱男・一等屬一坂俊太郎・三等屬増村嘉則・同大胡純・同庵地保・四等屬矢野湛・五等屬安藤俊明・六等屬關口良禮は答辯委員として、二等警視小野田元・瀨警

視屬水谷吉徳・同松崎政行・監獄書記杉本壽幸は答辯囑託委員として分擔事項の會議に參與した。

この通常府會で特筆する事項は、師範學校費の議決に對して、知事が再議に付したことである。教育費の中で、師範學校費豫算金八千七百拾貳圓を六千五百九拾五圓八拾參錢に削減した。其の削減の主なもの、俸給と諸手當及高等中等の師範生に給する生徒費等であつた。しかし知事は、之を認めずに再議に付したので、削減項目に就いては、相當の程度迄金額を増加して、原案を金七千五百六拾六圓四拾錢と修正議決した。

次に特に注意を要することは、會計年度改正の結果、明治十八年度の豫算が九ヶ月で一年度としてあることである。

沼間議長と芳野副議長とは、時々交代議長の任務を執つた。

四月十八日議事全く終了した後、芳川知事は閉會の辭を述べた。

議案

無	號	明治十八年度地方稅支出豫算……………	修正
無	號	明治十八年度地方稅支出豫算追加……………	修正

無	號	郡區聯帶經費負擔割合追加案……………	可決
---	---	--------------------	----

		明治十六年度郡區地方費收支精算報告……………	承認
--	--	------------------------	----

		明治十六年度巡查看守給助資金精算報告……………	承認
--	--	-------------------------	----

議決摘要

無	號	明治十八年度地方稅支出豫算……………	修正
---	---	--------------------	----

一金四拾四萬參千四百拾圓	警察費
--------------	-----

(修正)金四拾四萬七拾七圓參拾六錢七厘

内

金貳拾參萬七千九拾六圓	俸給
-------------	----

巡查三千二百九十三名平均月俸八圓

金拾貳萬五千九拾貳圓	雜給
------------	----

旅費、巡查給助資金、賞與、巡查下宿料貳萬五千貳百九拾九圓、傭給壹萬五百四拾七圓、勉勵手當、被服帶具費六萬五千五百四拾六圓

(修正)金拾貳萬四千五百五拾六圓五拾參錢

(修正理由) 被服帶具費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金八萬千百貳拾貳圓

廳

四〇六
費

備品並消耗品費、通信運搬費、賄費、雜費

(修正)金七萬八千四百貳拾四圓八拾參錢七厘

(修正理由) 備品並消耗品費及賄費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金參千四百參拾五圓

警察廳舍建築修繕費

(修正)金參千百圓

内

金參千四百參拾五圓

修繕費

各署屋根修繕及小破修繕

(修正)金參千百圓

(修正理由) 削減ノ餘地アリト認メタルニ由ル(常置委員會意見)

一金壹萬八千參百四拾五圓

土木費

(修正)金壹萬五千七百參拾四圓六拾錢參厘

内

金七百四拾八圓

橋梁費

(修正)金六百九拾八圓 (常置委員會意見)

金壹萬七千五百九拾七圓

治水堤防費

堤防川除修繕費九千四百五拾圓、川浚費五千七百六拾六圓參拾九錢參厘、川

岸修繕費貳千參百七拾九圓六拾錢七厘

(修正)金壹萬五千參拾六圓六拾錢參厘

(修正理由) 川浚費ヲ參千八百八拾參圓參拾七錢五厘、川岸修繕費ヲ千七百參圓貳拾貳錢

八厘ニ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金七百八拾四圓

府會議諸費

一金五千參百貳拾圓

衛生及病院費

(修正)金參千八百九拾五圓四拾七錢參厘

内

金拾八圓

衛生費

金五千參百貳圓

傳染病豫防費

(修正)參千八百七拾七圓四拾七錢參厘

(修正理由) 全體ニ涉リ適當ニ削減ヲ加フルニ由ル(常置委員會意見)

一金壹萬六千五百八拾六圓

教育費

(修正)金壹萬四千五百拾九圓拾八錢四厘

内

金八千七百拾貳圓

師範學校費

俸給四千七百六拾壹圓備給參百五圓貳拾五錢諸手当貳百貳拾九圓備品並
消耗品費千貳百八拾參圓貳拾七錢生徒費千五百貳拾七圓賄料旅費郵便稅
雜費營繕費六百六圓四拾八錢

(最初ノ議決)金六千五百九拾五圓八拾參錢

(再議)金七千五百六拾六圓四拾參錢

(修正理由) 俸給ヲ校長兼教員月給四拾圓一名教員月給參拾五圓二名參拾圓一名貳拾圓
四名小學督業月給參拾圓二名トシテ參千六百八拾壹圓ニ減シ諸手当ヲ俸給ノ減額ニ割
合ヒ高等中等師範生ノ内入學生徒乏シキ爲五十五名ニ對シ金員ヲ給與シ來レルモ今日
ニ至テハ入學志願者續出シ且昨年來獎勵ノ爲メ學力優等ノ者ヲ選ミ之ニ支給スルコト
トナリタルヲ以テ多數ニ給與スルハ却テ其ノ效用少カルヘキニ依リ之ヲ三十名ニ減員
ノ結果八百五拾圓貳拾錢ニ減シ其他備給寄宿舍取締手当旅費備品並消耗品費營繕費卒
業式費等ニ於テモ削減シ合計六千五百九拾五圓八拾參錢ニ修正(常置委員會意見)並議員
芳野世經動議セシニ知事ヨリ再議ニ付セラレタルヲ以テ再議ノ結果俸給ヲ四千參百五
拾六圓ニ諸手当ヲ俸給額ニ比例修正スルト寄宿舍取締ノ手当ヲ前會決議通りトシテ百

七拾七圓ニ生徒費ヲ高等中等師範生ノ内四十名ニ給スルモノトシ且卒業式費ヲ教員數
ニ應シテ減少シ千百貳拾圓八拾錢ト爲スニ由ル(常置委員會意見)

金七千八百七拾四圓

中學校費

俸給六千六百六拾貳圓備給貳百九拾七圓勉勵手当貳百七拾參圓賄料五拾壹
圓五拾八錢備品並消耗品費八百六拾八圓四拾貳錢郵便稅六圓雜費參拾圓
生徒費五拾壹圓營繕費百參拾五圓

(修正)金六千九百五拾貳圓七拾五錢四厘

(修正理由) 俸給ニ於テ校長ヲシテ教員ヲ兼ネシメ教員月給五拾圓ヲ削リ同參拾五圓ヲ
三名參拾圓ヲ四名貳拾五圓ヲ三名トシテ五千參百五拾貳圓ニ勉勵手当ヲ俸給ノ減額ニ
割合貳百四拾參圓ニ備品並消耗品費ヲ八百貳拾參圓參拾七錢四厘ニ生徒費ヲ職員減員
ノ結果四拾九圓八拾錢ニ營繕費ヲ百圓ニ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金壹萬七千六百八拾壹圓

救育費

但癩狂院費

(修正)金壹萬六千九百拾七圓九拾貳錢參厘

(修正理由) 營繕費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金百拾壹圓

浦役場及難破船諸費

一金貳千九圓

府廳舍修繕費

(修正)金千六百五拾五圓 (常置委員會意見 議員角田眞平動議)

一金拾四萬參千四百九拾七圓

監獄費

(修正)金拾四萬四千五百貳拾八圓六拾四錢六厘

內

金壹萬八千四百參拾貳圓

俸給

看守二百五十六名平均月給八圓

金參萬千貳百七圓

雜給

看守給助資金、備給、勉勵手當、被服帶具費、弔祭扶助療治料

(修正)金參萬五百貳拾七圓四拾五錢四厘

(修正理由) 雇夫及雇女ノ單價ニ於テ減スルト被服帶具費弔祭扶助療治料等ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見 議員橋本省吾外一名動議)

金壹萬四百貳拾貳圓

廳費

(修正)金壹萬參百五圓九錢壹厘 (常置委員會意見)

未決囚諸費

金六千八百八拾四圓

(修正)金七千貳拾六圓七拾參錢四厘 (常置委員會意見)

金七萬六千五百五拾貳圓

已決囚諸費

(修正)金七萬八千貳百參拾七圓參拾六錢七厘 (常置委員會意見 議員山中隣之助動議)

監獄建築修繕費

一金九千四百圓

(修正)金八千九百五拾六圓八拾參錢 (常置委員會意見)

總計金六拾六萬五千五百七拾八圓

(修正)金六拾五萬貳百八拾圓貳錢六厘

內

金參拾九萬貳千四百七拾壹圓

地方稅

(修正)金參拾八萬四千參百七拾參圓六拾錢六厘

金參拾四萬七千六百參圓參錢七厘

區部支辨

(修正)金參拾四萬千參百拾貳圓八拾參錢

內

金四萬四千八百六拾七圓九拾六錢參厘

郡部支辨

(修正)金四萬參千六拾圓七拾七錢六厘

金貳拾六萬八千百七圓

國庫下渡金

(修正)金貳拾六萬五千九百六圓四拾貳錢

無 號 明治十八年度地方稅支出豫算追加……………修正

一金八千七百七拾貳圓 土 木 費

(修正)金六千九百七拾貳圓

金七千八百拾九圓七拾四錢八厘 區 部 支 辨

內 (修正)金五千九百拾四圓七拾七錢四厘

金參百五拾貳圓貳拾五錢貳厘 郡 部 支 辨

(修正)金千五拾七圓貳拾貳錢六厘

內

金八千七百七拾貳圓 港 灣 費

但佃島附近濬浚費

(修正)金六千九百七拾貳圓

(修正理由) 千貳百圓ノ寄附金アル見込ニ付削減スルニ由ル(常置委員會意見)

無 號 郡區聯帶經費負擔割合追加議案……………可 決

府會ト區郡部會トニ於テ議定スヘキ事件ノ區別及聯帶支辨ノ經費郡區負擔ノ割合

第三條中追加

中學校費ノ次へ

東京灣濬浚費

郡區ノ戶數ヲ準トシ區ハ郡ノ五倍ヲ負擔ス

明治十六年度郡區地方費收支精算報告……………承認

松南宏祚佐藤正興、橋本省吾ノ三名ヲ調査委員トシテ附託調査セシメ其ノ報告ニ基キ承認ニ決ス

明治十六年度巡查看守給助資金精算報告……………承認

通常區部會

本會は明治十八年四月一日午後四時三十五分を以て開議し、會議を重ねることが十五日間で、四月十八日午後四時五十分議事の終了を告げた。

通常府會に於ける答辯委員の外に、消防中司令勝山義雅が答辯囑託委員として

五等屬牟田口宗六收稅屬村上忠直が答辯委員として加はり、分擔事項に關して會議に參與した。

この區部會で特筆する事項は、營業稅雜種稅課目課額の營業稅中で、商業の項を再議に付したことである。商業には、些少の修正があつたが、鐵軌軌道を使用する營業會社に對し、鐵道馬車の如きは、營業馬車の業を奪ひ道路を専用破壊する等種の弊害を認むるので、鐵軌延長一丁に付一ヶ月拾錢の割合を以て、新に府稅を賦課するのを相當として追加決議した。然るに知事は、鐵道馬車は道路を占用し交通を妨害する觀があるけれども、他に敷設の場所がない爲め、大通りに敷設を特許したもので、鐵軌の内外相當幅員の道路修繕費を會社に負擔せしむるのみでなく、會社には、建物を標準とする會社稅(商業稅)の外に雜種稅である馬車稅も納付させ、相當多額の地方稅を負擔させて居り、又日本鐵道會社は、區部に敷設してある鐵軌が、僅かに八百間に過ぎないから、この決議に基く課稅額は僅少であるが、他の府縣に對して新例を開くこととなつて、會社の經營を困難に陥らしむる虞がある。元來政府の保護を受けて成立した至難の事業であるから、小政府(今日の地方廳をいふ)に於て、之に苛稅を賦課することは政治上好ましいことではなく、況んや多數の

會社が他に存するのに、たゞこの二會社に限つて苛稅を賦課するのは穩當でないとの理由を以て再議に付した。再議の結果は、結局曩に決議した事項を削除したのである。即ち嚴格に言へば、再議では、鐵軌使用の會社に課稅する決議をしなかつたこととなつたのである。

議案 附建議案

無	號	明治十八年度區部地方稅支出豫算……………	修正
同		明治十八年度區部營業稅雜種稅課目課額……………	修正
同		明治十八年度區部地方稅收入豫算……………	修正
同		明治十八年度區部共有金收入支出豫算……………	修正
同		明治十八年度瓦斯局收入支出豫算……………	修正
同		明治十八年度區部備荒儲蓄金收入豫算……………	可決
同		明治十六年度區部地方稅收支精算報告……………	承認
同		明治十六年度區部備荒儲蓄金收支精算報告……………	承認
同		明治十六年度瓦斯局收支精算報告……………	承認
		神田多摩川兩上水經費ヲ地方稅支辨トセラレンコト……………	承認

議決摘要

ヲ望ムノ建議……………可決

無 號 明治十八年度區部地方稅支出豫算……………修正

一金五萬四千七百八拾圓

警 察 費

(修正)金六萬參百參拾六圓五拾錢七厘

內

金四萬參千八百圓

雜 給

消防夫二千人足留給、本分署分遣所當直手當、非番ノ者火掛リ手當、半鐘打人給、人足賃、勉勵退職及死傷手當、被服費、四大橋水防費

(修正)金四萬參千五百七拾六圓拾九錢

(修正理由) 分遣所數ヲ減シ萬世橋ト淺草橋ヘ蒸汽唧筒ヲ備ヘ常備分遣所トナシ宿直員手當ニ於テ減シ機關手手當ヲ増スト被服費ニ於テ減スルニ由ル(議員須藤時一郎動議)

金壹萬九百八拾圓

應 費

(修正)金壹萬六千七百六拾圓參拾壹錢七厘

(議員須藤時一郎動議)

一金九百圓

警察廳舍建築修繕費

(修正)金千六百貳拾圓

(議員須藤時一郎動議)

一金拾五萬六千九百六圓

土 木 費

(修正)金拾壹萬七百六拾四圓七拾五錢

內

金拾萬參千貳百參圓

道 路 橋 梁 費

(修正)金七萬七千貳百七拾參圓貳拾貳錢壹厘

(常置委員會意見)

金五萬參千七百參圓

治 水 費

(修正)金參萬參千四百九拾壹圓五拾貳錢九厘

(常置委員會意見)

一金貳千四百五拾七圓

區 部 會 議 諸 費

一金千百貳拾五圓

衛 生 及 病 院 費

一金貳萬四千六百參拾四圓

區廳舍建築修繕費

(修正)金四百八拾七圓

(修正理由) 芝牛込込兩區役所建築費ハ時節柄見合スルコト、シテ削除シ修繕費ノミヲ可決セルニ由ル(常置委員會意見)

一金七萬八千七百七拾壹圓

區吏員給料旅費及廳中諸費

(修正)金七萬六千五百五拾五圓五拾錢

内

金五萬貳千八百八拾四圓

俸

給

(修正)金五萬千八百參拾壹圓 (常置委員會意見)

金壹萬八百八拾壹圓

雜

給

(修正)金九千六百拾八圓五拾錢 (議員須藤時一郎動議)

金壹萬五千六百圓

廳

費

一金四千五百參拾七圓

救

育

費

(修正)金四千參百貳拾五圓六拾六錢八厘 (常置委員會意見)

一金百四拾壹圓

諸達書及揭示諸費

一金壹萬貳千七百九拾八圓

瓦

斯

燈

費

一金八千四百四拾七圓四拾九錢貳厘

豫

備

費

(修正)金九千六百四拾壹圓參錢六厘

總計金參拾四萬四千八百九拾六圓四拾九錢貳厘

(修正)金貳拾八萬貳百五拾壹圓四拾六錢壹厘

内

金參拾壹萬千四百八拾八圓四拾九錢貳厘

地

方

稅

(修正)金貳拾四萬參千七拾七圓五拾五錢七厘

金參萬參千四百八圓

國

庫

下

渡

金

(修正)金參萬七千七百七拾參圓九拾錢四厘

無 號 明治十八年度區部營業稅雜種稅課目課額……………修正

營業稅

一 商業

一個ニ付

〔金壹錢五厘〕
〔金壹錢參厘〕ト修正

(修正理由) 苛重ト認ムルニ由ル(常置委員會意見)

(修正追加) 鐵軌ヲ使用スル營業會社 鐵軌延一丁ニ付 月稅 金拾錢

(再議) 削除

(修正理由) 鐵軌ヲ使用スル營業會社ニ對シ從來賦課セル營業稅個數ニ賦課ノ外鐵軌延一丁ニ付一ヶ月拾錢ノ割合ヲ以テ賦課スルノ一項ヲ加ヘシニ議員高梨哲四郎動議知事ヨリ之ヲ再議ニ付セラレ再議ノ結果右ノ一項ヲ削除セリ(常置委員會意見)

一工業

(修正理由) 苛重ト認ムルニ由ル(常置委員會意見)

一個ニ付 「金壹錢五錢」
〔金壹錢參厘〕ト修正〕

雜種稅

一料理屋

(修正理由) 前ニ同シ(常置委員會意見)

一個ニ付 「金壹錢五厘」
〔金壹錢參厘〕ト修正〕

一飲食店

(修正理由) 前ニ同シ(常置委員會意見)

同 「金壹錢五厘」
〔金壹錢參厘〕ト修正〕

一湯屋

午後三時以前開場ノモノ

本年度中即九ヶ月ニ付 「税金壹圓五拾錢」〔金參圓〕ト修正〕

午後三時ヨリ開場ノモノ

同 「金七拾五錢」〔金壹圓五拾錢〕ト修正〕

(修正理由) 他ノ稅ニ比シ低キニ由ル(常置委員會意見)

一雇人請宿

(修正理由) 苛重ト認ムルニ由ル(常置委員會意見)

一個ニ付 「金貳錢四厘」
〔金貳錢貳厘〕ト修正〕

一演劇

(二等) 興行中一桝ニ付

「上リ高百分ノ八」
月稅 金六錢

二等

同 金四錢

三等

(修正理由) 年々稅額減少ノ傾アリ是レ其ノ實收入ヲ隱匿スルカ爲メナルヘシト考フルヲ以テ其ノ桝數ヲ目安トシ課稅セハ一目ニシテ調査行届クヘシトスルニ由ル(常置委員會意見)

同

同 金貳錢ト修正)

一人寄席

(修正理由) 苛重ナリトスルニ由ル(常置委員會意見)

一個ニ付 「金壹錢五厘」
〔金壹錢參厘〕ト修正〕

一船

川蒸汽船及五十石未滿蒸汽海船

本年中九ヶ月ニ付税金國稅 金壹圓ニ付金七拾五錢〔修正追加〕

(修正理由) 制限額マテ賦課スルニ由ル(常置委員會意見)

一車

營業馬車

(修正理由) 制限額マテ賦課スルニ由ル(常置委員會意見)

本年度中即九ヶ月ニ付税金國稅 金壹圓ニ付「金參拾七錢五厘」
〔金七拾五錢〕ト修正)

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スヘキモノ左ノ如シ

飲水商〔下肥商〕(修正削除)(以下業目省略)

(修正理由) 此ノ營業者ハ府下ニ唯四軒アルノミ而シテ皆盛大ナルモノナレハ課稅スヘシトスルニ由ル(常置委員會意見)

無 號 明治十八年度區部地方稅收入豫算……………修正

一金五萬參千參百參拾六圓六拾九錢八厘
(地租壹圓ニ付貳拾錢)
(地租壹圓ニ付拾八錢五厘トス)
 (修正)金四萬九千參百參拾六圓四拾四錢五厘
 一金拾貳萬千七百五拾四圓七拾七錢五厘
 (修正)金拾萬五千九百貳拾五圓七拾四錢五厘

內

金拾壹萬七千貳百拾四圓五拾七錢五厘 商 業 稅
 (修正)金拾萬千九百九拾圓九拾錢五厘
 金四千五百四拾圓貳拾錢 工 業 稅
 (修正)金參千九百參拾四圓八拾四錢 雜 種 稅
 一金五萬貳千四百九拾四圓五拾九錢七厘
 (修正)金五萬五千七百四拾六圓八拾七錢貳厘
 一金參拾四萬參千九拾圓八錢
(一個當リチ壹錢九厘五毛トス)
(地租壹圓ニ付貳錢參厘)
 家 個ニ付 屋 稅

(修正)金貳拾九萬八百八拾圓七拾貳錢
 一金四萬六千九百八拾九圓八拾五錢四厘 雜 收 入
 一金四萬千四百貳拾五圓五拾貳錢五厘 前々年度ヨリ繰越金
 一金貳拾七萬四千參百七拾七圓九拾貳錢 國 庫 下 渡 金
 (修正)金貳拾七萬六千六百六拾五圓九拾八錢壹厘
 總計金九拾參萬參千四百六拾九圓四拾四錢九厘
 (修正)金八拾六萬六千四百七拾壹圓拾四錢貳厘

無 號 明治十八年度區部共有金收入支出豫算……………修正

收 入 原 資 收 入

一金貳萬四千九百五拾貳圓四拾錢
 (修正)金貳萬五千百拾四圓四拾錢

內

金貳千貳百四拾四圓五拾錢 舊公債證書賦金
 金貳萬貳千六百八拾五圓四拾錢 瓦斯局ヨリ償却金

(修正)金貳萬貳千八百四拾七圓四拾錢 (常置委員會意見)

金貳拾貳圓五拾錢

根岸小學校外一校貸付償却金

一金參萬貳千四百貳拾四圓五拾參錢九厘

利 益 收 入

(修正)金參萬貳千七百九拾九圓參錢九厘

內

金壹萬八千參百四拾壹圓五拾五錢

公債證書利子及預金利子

(修正)金壹萬八千七百拾六圓五錢

(修正理由) 瓦斯局へノ繰替金返納分六月迄ニ納入ノ見込ニ付之ヲ以テ七分利附公債證

書ヲ購入セントスルニ由ル(常置委員會意見)

金千九百五拾圓

貸 地 料

金壹萬貳千百參拾貳圓九拾八錢九厘

家内引用瓦斯器械取付費益金

一金參萬八千七百貳拾九圓拾參錢八厘

繰 越 金

合計金九萬六千六百四拾貳圓七錢七厘

(修正)金九萬六千六百四拾貳圓五拾七錢七厘

支 出

一金八萬千五百四拾參圓六拾五錢壹厘

(修正)金七萬七千六百六拾八圓六拾五錢壹厘

內

金四千參百八拾圓

備荒儲蓄公儲金

金六百八拾圓六拾六錢貳厘

共 有 地 諸 費

金五萬六千七百七拾八圓

新 川 開 鑿 費

今川橋通開鑿費九千六百四拾圓四拾參錢五厘濱町川通開鑿費四萬六千五

百參拾七圓五拾六錢五厘

(修正)金五萬五百七拾五圓

(修正理由) 今川橋通ヲ八千六百七拾五圓濱町川通ヲ四萬千九百圓ニ減スルニ由ル(常置

委員會意見)

金八千七百七拾貳圓

東 京 灣 浚 浚 費

(修正)削除

(修正理由) 郡區聯帶ノ支辨ニ屬スヘキモノニシテ共有金ヲ以テ支辨スルハ不可ナリト
スルニ由ル(常置委員會意見)

(修正追加)金九千九百圓

道路改修費

(修正理由) 地方税中土木費ニアリタルモノヲ此ニ移シテ試験セントシ淺草藏前通金六千參百圓及ローラル購求代金參千六百圓ヲ見込タルニ由ル(常置委員會意見)

金壹萬貳千百參拾貳圓九拾八錢九厘 家内引用瓦斯器械取付資金

收支差引

一金壹萬四千五百六拾貳圓四拾貳錢六厘 殘 餘

(修正)金壹萬八千九百七拾參圓九拾貳錢六厘

無 號 明治十八年度瓦斯局收入支出豫算……………修正

收入

一金五萬七千九百七拾五圓七拾六錢

内

金壹萬貳千七百九拾八圓 街燈點火料

金四萬四千四百圓 各家引用瓦斯代

金參千七百七拾七圓七拾六錢 コークス並タール賣却代

支出

一金參萬五千貳百九拾圓參拾六錢

(修正)金參萬五千百貳拾八圓參拾六錢

内

金貳千百六拾圓 俸 給

(修正)金千九百八拾圓

(修正理由) 瓦斯局ハ追々會社等ニ倣ヒ賞與ノ制ヲ設ケ利益ノ多少ニ由リ配當スルヲ以テ給料ヲ増スノ必要少ナントシ削減スルニ由ル(常置委員會意見)

金七千貳百八拾五圓六錢 雜 給

備給、臨時備給、副長慰勞金、賞與

(修正)金七千參百參圓六錢

(修正理由) 俸給削減ニ伴ヒ賞與ヲ減スルト副長慰勞金ヲ月手當トスルニ由ル(常置委員會意見 見 議員藤田 茂吉動議)

金貳萬千五百六拾九圓七拾六錢 製 造 費

金五百九拾九圓五拾四錢 局 費

金參千四百貳拾六圓
金貳百五拾圓

器械並家屋修繕費
家内引用瓦斯枝管取付費

無 號 明治十八年度區部備荒儲蓄金收入豫算……………可 決

一金壹萬千參百五拾七圓九拾九錢八厘 備 荒 儲 蓄 金

内

金四千參百八拾圓 公 儲 金

金四千參百七拾參圓四拾七錢參厘 配 付 金

金貳千六百四圓八拾貳錢五厘 公債證書及預ヶ金利子

明治十六年度區部地方稅收支精算報告……………承 認

明治十六年度區部備荒儲蓄金收支精算報告……………承 認

明治十六年度共有金收支精算報告……………承 認

明治十六年度瓦斯局收支精算報告……………承 認

神田多摩川兩上水經費ヲ地方稅支辨トセラレンコトヲ望ム
ノ建議……………可 決

(建議の大要) 神田多摩川兩上水(上水を井戸に引用したるもので、通常之を水道と稱したが、現在の水道の如く完備した設備でない)は、府民の大多數が飲料とする重要なものであるが、其の管理は府に屬し、其の費用は、水賦金と稱して使用者に賦課し、府會は毫も關與しないけれど、該上水事務は區部全般に渉る公共事業であるから、將來は之を地方稅支辨に移し、區部會の議決を経るよう改正されんことを知事に希望する建議であつて大多數を以て可決した。

通常郡部會

本會は、明治十八年四月十日午前十時四十分を以て開議し、議事を重ねることが七日間で、四月十八日午後五時十分を以て終了を告げた。

府會に於ての答辯委員の外に、更に御用掛長谷川泰收稅屬村上忠直の二名が、答

辯委員として、分擔事項に關し會議に參與した。

この郡部會に於て特筆する事項は、衛生及病院費を再議に付したることである。該豫算金參百圓は、郡醫五名の手當として提案したのに、會議では、土地の狀況に依つて無給で奉職する者もあらうから、給與の取捨は理事者に一任することとし、豫算を半減して百五拾圓と修正した。然るに知事は、之を認めず再議に付したので、再議の結果、原案金額の參百圓を可決した。其の内譯を郡醫十名一名手當參拾圓と修正した。

議案 附建議案

無 號	明治十八年度郡部地方稅支出豫算……………	修正
無 號	明治十八年度郡部營業稅雜種稅課目課額……………	修正
無 號	明治十八年度郡部地方稅收入豫算……………	修正
無 號	明治十八年度郡部備荒儲蓄金收入豫算……………	可決
無 號	明治十六年度郡部地方稅收支精算報告……………	承認
無 號	明治十六年度郡部備荒儲蓄金收支精算報告……………	承認
無 號	以樋ニ土管使用ノ件外ニ關スル建議……………	可決

議決摘要

無 號 明治十八年度郡部地方稅支出豫算……………修正

一金貳百四拾四圓

警察費

但千住大橋水防費

土木費

一金參萬參千五百七拾四圓

(修正)金貳萬九千九百參拾四圓五拾四錢壹厘

内

金參萬貳千八百八圓

道路橋梁費

道路改築費八千四百七拾六圓道路修繕費壹萬六千五百四拾六圓橋梁架換費五千九百貳拾五圓貳拾七錢八厘橋梁修繕費千八百六拾圓七拾貳錢貳厘

(修正)金貳萬九千百六拾八圓五拾四錢壹厘

(修正理由) 道路改築費ヲ五千百參拾九圓貳拾九錢ニ減シ道路修繕費ヲ壹萬七千貳百八拾六圓八錢七厘ニ増シ橋梁架換費中下馬木橋澁谷橋ノ仕様ヲ改メ出口橋庚申橋藤三郎脇橋ヲ削除シ西中堀橋及水戸橋ヲ減額シテ五千貳百九拾圓ニ修正シ橋梁修繕費ヲ千四

百五拾參圓ニ減額スルニ由ル(常置委員會意見 調査委員意見)

金七百六拾六圓

治水堤防費

一金六千七百壹圓

町村土木補助費

(修正)金六千八拾參圓拾貳錢參厘

(議員長谷官造外二名動議)

一金千八百參圓

郡部會議諸費

一金參百圓

衛生及病院費

(最初ノ議決)金百五拾圓

(再議)金參百圓

(修正理由) 郡醫手當ヲ廢シ郡醫ヲシテ名譽ノ責任タラシメンコトヲ望ムモ郡ニ依リ繁閑アルヲ以テ其ノ給與ノ取捨ハ理事者ニ一任スルモノトシ豫算額ヲ半減シテ百五拾圓ニ修正シタルニ知事ヨリ實行上差支アリトシテ再議ニ付セラレ其ノ結果今後ハ郡醫ヲシテ種痘事務ヲモ擔當セシムルコトトシ人員ハ五名ニテハ不足ト認メ十名トシ金額ハ原案金參百圓ニ可決セリ(常置委員會意見)

一金七千七拾參圓

郡廳舍建築修繕費

(修正)金百圓

(修正理由) 北豐島郡役所建築費計上ノ處本年度ノ如キ不景氣ノ際ハ見合ハスヘントシテ削

除シ修繕費ノミヲ認ムルニ依ル(常置委員會意見)

一金壹萬八百參拾五圓

郡吏員給料旅費及廳中諸費

内

金六千九拾六圓五拾錢

俸給

金貳千五百拾參圓

雜給

金貳千百貳拾五圓五拾錢

廳費

一金七百九拾七圓

救育費

(修正)金七百參拾七圓七錢貳厘

(常置委員會意見)

一金六百七拾六圓

諸達書及揭示諸費

一金拾八圓

勸業費

但種物交換費

一金壹萬九千六百六拾九圓

戶長以下給料旅費

一金千八百九圓八拾四錢四厘

豫備費

(修正)金貳千百拾七圓拾五錢七厘

(常置委員會意見)

總計金八萬參千四百九拾九圓八拾四錢四厘

(修正)金七萬貳千五百拾六圓八拾九錢參厘

内

金八萬參千參百五拾參圓四拾四錢四厘

地方稅

(修正)金七萬貳千參百七拾圓四拾九錢參厘

金百四拾六圓四拾錢

國庫下渡金

無 號 明治十八年度郡部營業稅雜種稅課目課額……………修正

營業稅

一 商業

會社、(以下業目省略)

一個ニ付

〔金貳錢壹厘〕
〔金貳錢參厘〕ト修正

(修正理由) 商ト農トハ今日ノ場合ニ於テハ餘程ノ違アルモノト認ムルニ付増稅スルモ
差支ナキニ由ル議員本橋勝右衛門動議

一 工業

(修正理由) 前ニ同シ(議員鳩山和夫動議)

同

〔金貳錢壹厘〕
〔金貳錢參厘〕ト修正

雜種稅

一 料理屋

(修正理由) 前ニ同シ(議員小澤喜之藏動議)

同

〔金貳錢壹厘〕
〔金貳錢參厘〕ト修正

一 飲食店

(修正理由) 前ニ同シ(議員長谷官造動議)

同

〔金貳錢壹厘〕
〔金貳錢參厘〕ト修正

一 人寄席

(修正理由) 前ニ同シ(議員小澤喜之藏動議)

同

〔金貳錢壹厘〕
〔金貳錢參厘〕ト修正

一 水車

紡織製作等機關ヲ運轉スルモノ

本年度中即九ヶ月ニ付〔金參圓七拾五錢〕〔金四圓五拾錢〕ト修正

(修正理由) 紡織製作ハ大ニ利益アルモノナルニ由ル議員宮本頼三動議

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スルモノ左ノ如シ

炭團商、飲水商、豆腐請賣(修正追加)商、紙屑買(以下業目省略)

(修正理由) 豆腐商ノ内ニハ資産ノ立派ナルモノ多キニ因リ之ニ課稅シ豆腐請賣商ヲ免稅トスルニ由ル議員本橋勝右衛門動議

無 號 明治十八年度郡部地方稅收入豫算……………修正

一金六萬壹千六拾七圓拾八錢壹厘

(修正)金五萬五千五百拾五圓六拾壹錢九厘

一金四千貳百拾壹圓拾參錢

(修正)金四千五百九拾六圓六拾九錢

內

金參千八百九拾六圓拾參錢

(修正)金四千貳百五拾壹圓六拾九錢

金參百拾五圓

(修正)金參百四拾五圓

一金七千八百四拾九圓六拾六錢壹厘

(修正)金七千八百六拾六圓四拾六錢壹厘

一金四萬貳千七百九拾四圓拾壹錢五厘

(修正)金參萬六千貳百拾圓四拾錢五厘

一金四千參百九拾四圓貳拾八錢參厘

一金七千九百五圓參錢七厘

地租
(地租壹圓ニ付貳拾貳錢)
(地租壹圓ニ付貳拾錢)

商業稅

工業稅

雜種稅

戶數割
(個數一個ニ付參錢九厘)
(個數一個ニ付參錢參厘)

雜收入
前々年度ヨリ繰越金

國庫下渡金

一金貳萬七千貳百八拾參圓四拾八錢

(修正)金貳萬七千六拾圓七拾四錢參厘

總計金拾五萬五千五百四圓八拾八錢七厘

(修正)金拾四萬參千五百四拾九圓貳拾參錢八厘

無 號 明治十八年度郡部備荒儲蓄金收入豫算……………可決

一金壹萬貳千貳拾六圓七拾參錢

備荒儲蓄金

內

金四千七百拾八圓八拾貳錢八厘

公儲金

金四千五百五拾壹圓八拾貳錢七厘

配付金

金貳千七百五拾六圓七錢五厘

公債證書及預金利子

明治十六年度郡部地方稅收支精算報告……………承認

明治十六年度郡部備荒儲蓄金收支精算報告……………承認

以樋ニ土管使用ノ件外二項ニ關スル建議……………可決

(建議の大要) 金額貳百圓以上の郡部土木工事は、施工の都度常置委員會へ諮問あるよう、又北豊島郡清土道は従來府費補助道であつたが、利害關係の區域が十六箇村に渉る樞要の道路であるから、將來は府費支辨道に編入するよう、又町村土木補助費の中、元以樋道路下埋樋修繕補助費に係る工事は、成るべく陶管を使用することを勧誘するよう知事に建議するもので、多數を以て可決した。

第一臨時區部會

本會は、明治十八年六月二十二日午後四時三十五分を以て開會し、會議三日間で、二十四日午後六時閉會した。

開會の當初、知事渡邊洪基は臨場して、臨時區部會を開會する旨を告げた。

大書記官銀林綱男、一等屬荒木功、同田中直達、三等屬大胡純は答辯委員として會議に參與した。

議長沼間守一が、議員として議事に參與した爲めに、副議長芳野世經が、會議の終了に至る迄議長の職務を執つた。

この臨時區部會は、瓦斯局賣却の件と、府廳舎新築に關する件との二項目を議定する爲めに、招集せられたものである。孰れも重要な案件であつたので、論議は眞摯熱烈を極めた。

一 瓦斯局賣却の件

本案は、去る明治十五年の通常區部會で議決された、瓦斯局賣却處分案の實行案で、自明治十八年度至明治二十年年度區部共有金收入豫算議案として提出せられた。其の内容は、瓦斯局賣却代が金貳拾四萬圓、賣却代を三ヶ年賦六回分納として、第二回以後の年賦金に對する年七分の利子が金貳萬千圓、合計金貳拾六萬千圓であつた。提案の理由は、瓦斯局の賣却が先年來の懸案であり、殊に其の後瓦斯需用者も漸次増加し、加ふるに當時御造營中の皇居にも、多量の瓦斯を引用される設計があるので、近い將來には、規模の擴張を必要とし、巨額の資金を要するのは免れ難いことであつて、官業として繼續維持するのが不適當であるから、此際賣却處分するといふのであつた。之に反對意見として、高梨哲四郎は、從來共有金の支出を見ると、兎角放漫の嫌があ

つたが、瓦斯局も其の共有金に依つて經營したものであるので、處分は充分慎重に取扱ふことを要する。然るに瓦斯事業は、現に一割餘の利益を擧げて居るにも拘はず、年賦を以て拂下げ、且つ其の年賦金の利子を、七分の低利とするに至つては、其の理由を解するのに苦しむ。將來擴張費を必要とすれば、之を支出するのを吝まない、兎に角現に業績佳良である事業を、不利益な條件を以て拂下ぐることは、共有金の取扱として不親切な原案であるから、之に反對すると述べ、尾崎行雄は高梨議員と大體同意見であつたが、皇居御造營に伴つて、瓦斯擴張資金を要すれば、下付金を願ふ途もあるから、之が爲めに瓦斯局を拂下ぐる必要は絶対に認められないと稱へた。木寺安敦は、拂下價格が低廉であるから、原案に反對であるといふにあつた。又原案賛成意見として、角田眞平は、元來この事業が官營に適しないから、強いて利益の有無に拘泥しないで、賣却するのを至當と信ずる。瓦斯の効用が未だ廣く知られないで、需用の少なかつた時代では、官營も已むを得ないが、今日の場合では、宜しく民營に委ぬるのを適當と認むると述べた。田口卯吉は、修正する權能があるのに、拂下げの價格や利子の低廉なことを理由として反對するのは、不當である。要するに、事業の性質上から拂下ぐるを相當と信ずると述べた。松田秀雄

と佐藤正興とは孰れも角田議員と同一趣旨の意見を述べた。藤田茂吉は、瓦斯事業が、現在相當の利益があるにしても、經濟界の變動に因つて、何時不況に陥ることがあるかも知れぬ。斯る場合に處するのには、官業は頗る不適當であるから、原案に賛成するといふにあつた。其の他にも賛否の意見はあつたが、理事者としては、銀林大書記官が、原案維持に努め詳細に涉つて反對意見を論駁した。しかし結局原案に對して、瓦斯器械賣却代の八千圓を修正追加して可決した。

ニ府廳舎新築に關する件

府廳舎は、舊郡山藩邸を假用したもので、官廳には適しない。殊に腐朽に傾いて、其の位置も南方に偏して居るので、金貳拾貳萬五千餘圓の費用を以て、十九年度から二十二年度の繼續事業として新築する原案である。其の財源としては、先年來外堀浚並四大橋修繕費に充てるものとして、屢々其の下付を申請したが、未だに允許せられずに、政府に於て管理の金貳拾七萬四千五百餘圓がある。仍て此際更に其の下付を申請し、幸に允許を得たならば、之を新築費に充てることとし、敷地買入代は豫算に計上しないが、他日郭内(丸の内)に於て適當の地を卜し、交換若くは買入等、何れかに定むるとの趣旨であつた。會議では、賛否の論議が熾んで、其の主なもの

のは次の通りであつた。角田眞平は、外堀浚並四大橋修繕費に充つる金員が、從來屢々下付を申請しても許されないのに、府廳舎建築の爲めならば、允許せらるゝといふのは不可解のことである。廳舎の建築を必要とするなれば、正當の費途に向つて支辨を求むべきで、性質曖昧な金員の下付を請ふ必要を認めない。本年の通常會で、碎石道路費及區役所新築費等の必要費額を削除したのは、經濟界の不況に鑑みて不急の事業は忍ぶがよとの理由からであつた。この府廳舎も猶數年間は忍べない程に頽廢して居らぬから、貳拾餘萬圓の巨費を投じて此際新築する必要を認めない。假に新築するとしても、巨費を以て堂々とした大厦を建築するには及ばない。殊に東京府は、郡區の聯合に成るものであるから、府廳舎の建築を獨り區部會のみで議決するのは適當でないとの理由に依つて、本案を廢棄すると述べ、關直彦は原案が適當であると共に、財源に關しても、理事者が茲に提案したのには、相當の確信あるものと思ふし、旁々此際建築するのを可とする賛成し、須藤時一郎は、關議員と同じく原案に賛成するといひ、高梨哲四郎は、本案が、郡區聯帶の性質に屬するから府會で議決するものであると廢棄を主張した。尾崎行雄は、府廳舎建築の爲めならば下付するし、若しそうでなければ下付しないといふならば、最早共有金の性質を失つたもので、殊に、府廳舎建築費であるから、宜しく府會に於て處分し、決して區部會のみで取扱ふものでないと述べた。其の他にも、賛否の意見はあつたが、銀林大書記官は、共有金といふのではないが、當初に此金を下付せられた爲めに共有金を費消したから、其の後政府に引上げられた後も、當初の關係上自然共有金の如く看做したのみである。府廳舎の建築であるから、府會で議決するのが至當のようであるが、金の性質は、共有金と縁故のあるものであつて、別に地方税から支辨するものではないから、府會の議決に付するものでない。元來共有金に胚胎したもので、下付を受けたら共有金に屬するのは當然であつて、共有金は區部會で議決し、郡部會の關與するものでないと原案の維持に努めた。結局原案の通可決した。

早共有金の性質を失つたもので、殊に、府廳舎建築費であるから、宜しく府會に於て處分し、決して區部會のみで取扱ふものでないと述べた。其の他にも、賛否の意見はあつたが、銀林大書記官は、共有金といふのではないが、當初に此金を下付せられた爲めに共有金を費消したから、其の後政府に引上げられた後も、當初の關係上自然共有金の如く看做したのみである。府廳舎の建築であるから、府會で議決するのが至當のようであるが、金の性質は、共有金と縁故のあるものであつて、別に地方税から支辨するものではないから、府會の議決に付するものでない。元來共有金に胚胎したもので、下付を受けたら共有金に屬するのは當然であつて、共有金は區部會で議決し、郡部會の關與するものでないと原案の維持に努めた。結局原案の通可決した。

議案	修正
無號	自明治二十八年 至明治二十年 區部共有金收入豫算
同	府廳舎建築費
議決摘要	可決

無 號

〔自明治十八年度
至明治二十一年度〕
〔修正〕

區部共有金收入豫算……………修正

一金貳拾六萬千圓

瓦斯局賣却代

(修正)金貳拾六萬九千圓

內

金貳拾四萬圓

賣 却 代

金貳萬千圓

同 上 年 賦 金 利 子

(修正追加)金八千圓

家内引用瓦斯小器械賣却代

內 譯

金八萬七千圓

十八年度收入額

金八萬九千八百圓

十九年度收入額

金八萬四千貳百圓

二十年度收入額

(修正追加)金八千圓

二十一年度收入額

(原案説明) 瓦斯局賣却ノ儀ニ付テハ先年來既ニ其議アリシト雖モ未タ之ヲ舉行スルノ場合ニ

至ラス延テ今日ニ至レリ然ルニ該局ノ事業ハ漸次伸張シ需給者陸續絶ヘス業已ニ最初豫期ノ
 事業極度ニ達セシノミナラス殊ニ現今御造營ノ 皇居ニ許多瓦斯引用ノ設計アルニ遭遇セリ
 (中略)之ニ應スルニ付テハ更ニ瓦斯製造所ヲ増築シ諸器械類ヲ辨置シ以テ其供給ヲナササルヘ
 カラス其費額凡金拾數萬圓ヲ要スヘシ加之瓦斯引用者ノ數逐日増加スルノ勢ナレハ其途ニ之
 ヲ全府内ニ普及スルニ至ル迄ハ屢々増費ヲ要スルコト是亦必然ナリトス(中略)府廳ニ於テ管理
 スルトキハ制規ニ拘束セラレ諸事官廳ノ體裁ニ準シ之ヲ處理セサルヲ得ス隨テ多費且不便ノ
 憾ナキニアラス之ヲ私會社ニ委スルトキハ會社ノ例習ニ依リ便宜ノ方法ヲ設ケ處理スルヲ得
 自ラ多少ノ費用ヲ減省シ業務暢達スルノ利益亦誠ニ少々ナラサルヘシ蓋シ該局ノ業務タル一
 般ノ工業ト異ナルニアラス固ヨリ私會社ノ性質ニ適スルモノナレトモ曩時瓦斯ノ効用ヲ知ル
 者少ク其得失相償ハス私會社ノ能ク維持スヘキニアラサルヲ以テ創業ヨリ以還今日ニ至ル迄
 區部共有金ニテ其經濟ヲ維持セント雖モ現時瓦斯局ノ收支ヲ比較スルニ既ニ拂出シタル金額
 ニ對シ稍々相當ノ利益ヲ見ルニ至リ且前述ノ如ク瓦斯供給ノ爲メ目前製造所増築等ヲ要スル
 ニ際シタレハ該局ヲ舉ケテ私會社ニ委スヘキノ時機到來セリト謂フヘシ今該局創設以來區部
 共有金ヨリ支出ノ金額ヲ計算スレハ金六拾貳萬五千百餘圓ニシテ其内同局ヨリ返戻ノ金參拾
 六萬九千參百餘圓竝ニ明治七年十二月ヨリ同十年二月マテ街燈點火料收入未濟金參萬六千九
 百餘圓ヲ控除スレハ共有金へ返戻未濟金貳拾壹萬八千九百餘圓ニ過キス而シテ該局賣却代價
 ヲ案スルニ現今一ケ年ノ收入金凡七萬八千貳百餘圓ニ上リ其内經費金四萬千六百餘圓竝積立
 金賞與金營業資金利子合テ金壹萬千六百餘圓ヲ控除スルモ尙純益金貳萬四千餘圓アリ此純益

金ヲ一ケ年壹割強ノ利益ト看做ストキハ即チ元金貳拾四萬餘圓ヲ得之ニ基キ以テ賣却代價ヲ算出セハ其當ヲ得ルニ庶幾カルヘシ依テ瓦斯局賣却ノ事ヲ廣ク公衆ニ示シ金貳拾四萬圓ヲ以テ該局ヲ賣却セントス果シテ此代價ヲ以テ賣却スルヲ得ハ其金員ニテ彼ノ共有金返戻未濟金ヲ清償シタル上尙且金貳萬千餘圓ノ過剩ヲ生スルナリ而シテ該賣却代價納期ハ之ヲ六回ニ分チ明治十八年度ヨリ同二十年度迄ニ還納セシムルモノトシ其第一回分ハ賣却ノ際納付セシメ第二回ヨリ第六回ニ至ル迄ハ一ケ年七分ノ割合ヲ以テ利子ヲ徵シ元金拂込ノ都度之ヲ納付セシム若シ又拂下ヲ望ムモノ其金額賣却金高ノ半數以上ニ至ルモ全額ニ充タサルコトアルトキハ其不足金ハ相當ノ利子ヲ徵シ且ツ抵當ヲ要シ區部共有金ヨリ拂受人ヘ貸與スルコトアルヘシ但石炭又ハ「レトルト」耐火煉瓦又ハ「コークス」タールノ類ハ其時ノ現存高ニ應シ相當代價ヲ以テ別ニ拂下ケ其代金ハ該局引渡ノ際即納セシムルモノトス

(修正理由) 是ハ本年通常會議案ニ家内引用瓦斯器械取付資金壹萬貳千百參拾貳圓九拾八錢九厘トアル器械類ナレハ瓦斯局拂下希望者ヘ添テ拂下ケントス而シテ壹萬貳千餘圓トアルハ銀貨壹圓貳拾錢ノ見積ナレハ之ヲ壹圓トシ且器械中ノ賣品トスル價値ナキモノ買入價格ノ過當ナルモノヲ改算シ八千圓ヲ以テ相當トスルニ由ル(常置委員會意見)

無 號 府廳舍建築費……………可 決

一金貳拾貳萬五千四百七圓四拾九錢七厘

府廳舍建築費

此 譯

金五萬六千參百五拾壹圓八拾七錢四厘	十九年度支出額
金五萬六千參百五拾壹圓八拾七錢四厘	二十年度支出額
金五萬六千參百五拾壹圓八拾七錢四厘	二十一年度支出額
金五萬六千參百五拾壹圓八拾七錢四厘	二十二年度支出額

(原案説明) 爰ニ外堀浚竝ニ四大橋修繕費充テノ金員トシテ政府ニ於テ管理セラルル所ノ金種アリ其額凡金貳拾七萬四千五百圓餘ナリトス去十五年以來數々其下付ヲ政府ニ請ヒシモ今ニ其允許ヲ得ス是ヲ以テ今又其金員下付ヲ政府ニ請ヒ幸ニシテ其允許ヲ得ハ右金員ノ中金貳拾貳萬五千四百七圓四拾九錢七厘ヲ以テ本案ノ經費ニ充用セント欲ス而シテ廳舍敷地買上代ハ本案豫算中ニ包含セサルニヨリ右ハ郭内ニ付恰當ノ地ヲトシ購入若ハ交換等他日ヲ俟テ之ヲ定メン四大橋修築等ニ關スルノ費用ハ地方稅ノ負擔タルヘキ素ヨリ論ヲ俟タサル所トス

第一臨時府會

本會は明治十八年七月十六日午後五時を以て開會し開議二日間で七月十八日午後六時二十分閉會した。

開會の初め知事渡邊洪基は、臨場して次の開會の辭を述べた。

「諸君 本日諸君ヲ勞シテ臨時府會ヲ開クノ不幸ニ遭遇スルモノハ去月以來ノ霖雨ニ加ヘテ本月一日以後ノ強雨アリ府下諸川俄ニ漲溢シ堤防ヲ破壊シ橋梁ヲ流失セシニヨレリ實ニ本年ノ水害タル稀有ノ事ニシテ天和年間改築ノ千住大橋初メテ落テ其餘勢ノ助ルアリテ明治八年ニ新築セル吾妻橋ヲ流シタリ幸ニシテ其斷片ヲ中流ニ挽止メタルニヨリ既橋ハ氣息ヲ將ニ斷セントスルニ止メタリト雖モ中央ハ正ニ弓形ヲ爲シ其損傷ヲ免レス兩國以下幸ニ流失ヲ免カレシト雖モ當時之ヲ實檢シタルニ其甚タ危殆ナルニ驚ケリ他ノ三橋累々流失シナハ其災害底止スル所ヲ知ラサラン本月二日ノ曉天ヲ顧ミレハ今尙戰慄スルヲ覺ユルナリ其他各地堤防田宅ノ破損當時人民ノ死力ヲ盡シテ防禦シタルモ遂ニ不幸ノ結果ヲ免ルル能ハサリシモノ數多アリ今其補理ニ係ル工事ヲ案スルニ千住大橋ハ奥州街道ニ架スルモノナリト雖モ既ニ近ク鐵道線路ノ布設アルニ由リ幾分カ其往來ヲ減シタルノミナラス之レニ架セル堅牢ナル鐵橋アリテ流勢ヲ殺クコト多ク故ニ從來ノ橋梁ヲ補綴シテ通常ノ木橋ヲ架設スルニ止メ其建築ノ間ハ渡船ヲ以テ交通ヲ辨シ吾妻橋ハ府下四大橋ノ一ニシテ車馬絡繹ノ地ニ架セルノミナラス荒川綾瀬ノ兩流ヲ受ケ水勢最モ劇ク尋常ノ橋梁ヲ以テ之レヲ支ユヘカラス況ンヤ其下流兩國以下ノ三大橋ヲ防クノ關鑰ニ屬ス故ニ堅牢ヲ主トシテ之レニ鐵橋ヲ架設シ建築ノ間ハ假橋ヲ以テ人ノ往來ヲ通ス既橋ノ損害ハ他ニ依ルヘキノ資アリテ其復舊ヲ圖ルヘシ堤防川除ニ至テハ破損ノ箇所枚舉ニ違アラスト雖モ羽田村石梓ノ如キハ昨年建設シタル頗ル堅牢ノ川除ヲ破壊セルヲ以テ更ニ計畫

ヲ加ヘケレツプヲ設ケントセリ
以上ノ計畫極テ費用ヲ節減シ其工事ノ苟且ニ亘ラサルヲ期ス而シテ今新ニ其費用ヲ賦課ス困難想フヘシ故ニ千萬考慮ヲ加ヘ負擔ノ輕カラントヲ謀レリ
此般ノ落橋木材ノ流失ニ因スル亦少カラサルカ如シ此事ニ至テハ其事實ヲ詳悉シ將來之レヲ避ルノ方法ヲ講定スヘシ
過般區部會ヲ開キ未タ一月ナラサルニ再ヒ此會ヲ開ク實ニ已ムヲ得サルニ出ツ諸君宜シク其實況ヲ察シ且ツ將來ヲ慮リ反復討議公益ノアル所ニ歸セヨ本官ノ此案ヲ發スル亦他ニ企圖スル所アラサルナリ聊カ本案ノ主旨ヲ演述シテ諸君ノ參考ニ供ス(明治十八年府會議事錄)大書記官銀林綱男三等屬大胡純は、答辯委員として會議に參與した。
沼間議長が故障の爲め、副議長芳野世經が議長の職務を執つた。
議長は、鳩山議員が任官したので、増島六一郎が補闕として當選した旨を報告した。

議案	附建議案
無	號
	自明治十八年度
	至明治十九年度
	地方稅支出豫算
	對岸飛地堤防修繕ノ儀ニ付建議
	修正
	可決

議決摘要

無 號 自明治十八年度地方稅支出豫算……………修正

一金壹萬貳千百九拾五圓

土木費中治水堤防費

堤防川除修繕費多摩川筋八千四百參拾五圓荒川筋參百圓江戸川筋千貳百參拾五圓新川筋九百圓綾瀨川筋七百貳拾五圓中川筋六百圓

(修正)金壹萬貳千百參拾五圓

此 譯

金六千百九拾五圓

明治十八年度支出額

(修正)金六千百參拾五圓

(修正理由) 中川筋堤防川除修繕費ノ内中平井村外一ヶ所ノ破堤ハ其土地ノ人民カ水吐ノ爲堤ヲ切下ケシモノナレハ其土地ニ於テ修覆ヲ加フルトノコトニ依リ六拾圓ヲ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金貳千四百七拾八圓

區 部 支 辨

内 (修正)金貳千四百五拾四圓

金參千七百拾七圓

郡 部 支 辨

(修正)金參千六百八拾壹圓

金六千圓

明治十九年度支出額

内 金貳千四百圓

區 部 支 辨

内 金參千六百圓

郡 部 支 辨

對岸飛地堤防修繕ノ儀ニ付建議……………可 決

(建議の大要) 從來本府と隣接縣との間に、管轄の飛地が錯雜して居た爲、飛地に係る堤防工事は、兎角閑却せらるゝ傾があつて、出水の際には、特に被害が劇甚の憾があつたから、隣接縣と飛地組替を行つて、堤防工事を一手に歸屬せしむるよう、若し組替を行ひ難い事情があるときは、隣接縣と協議を遂げて、相互に其の管轄内に在る他府縣の飛地をも、其の府縣の地方費で修繕工事を施行して、堤防の効果を收むるよう知事に建議するもので、多數を以て可決した(議員藤田茂吉發議)。

第二臨時區部會

本會は、明治十八年七月十六日午後七時二十分を以て開議し、會議を重ねること三日間で、七月十八日午後五時四十分議事の終了を告げた。

議案 附建議案

無 號	自明治十八年度區部地方稅支出豫算………修正	至同 二十二年	廢案
同	明治十八年度區部地方稅臨時收入豫算………廢案		
同	自明治十八年度區部共有金支出豫算………修正		
同	至同 十九年度	廢棄	
同	明治十八年度區部共有金收入豫算………廢棄		
同	明治十八年度區部營業稅雜種稅課目課額改正………修正		
同	吾妻橋々臺除地敷使用者へ移轉料給與ノ議建議………可決		

議決摘要

無 號 「自明治十八年度」
〔自明治十九年度下修正〕
至同 二十二年 區部地方稅支出豫算………修正

一金拾七萬五千六百四圓

土木費中道路橋梁費

橋梁費吾妻橋架換費拾六萬八千四百四拾四圓假橋架設費五千九百四拾圓渡船費千貳百貳拾圓

(修正)金拾七萬四千四百六拾七圓參拾八錢

(修正理由) 流失木材約千百餘圓分アルヲ以テ假橋架設費ヲ四千八百參圓參拾八錢ニ減ス

ルニ由ル(常置委員會意見)

内

金四萬八百四圓

明治十八年度支出額

(修正)削除

(修正理由) 吾妻橋架換ノ費用ハ一時區部共有金ヨリ借入ル、モノニテ本項ハ之カ償却ニ充ツルモノナルモ償却ノ初年度ヲ繰下ケ十九年度乃至二十二年ノ四ケ年ニ割合償却スルモノトシタルヲ以テ本項金額ヲ削除スルニ由ル(常置委員會意見)

金參萬參千七百圓

同 十九年度支出額

(修正)金四萬參千六百拾六圓參拾八錢

金參萬參千七百圓

同 二十年度支出額

(修正)金四萬參千六百拾七圓

金參萬參千七百圓

同 二十一年度支出額

(修正)金四萬參千六百拾七圓

金參萬參千七百圓

同 二十二年度支出額

(修正)金四萬參千六百拾七圓

(原案說明) 頃日ノ強雨ニテ府下諸川俄ニ漲溢シ荒川筋ノ如キハ水勢殊ニ激烈ヲ極メ竟ニ吾妻

橋ヲ流失セリ依テ速ニ本橋ヲ架設シ且其工事中一時渡船及假橋ヲ以テ通行ノ方法ヲ計畫セサルヘカラス今其費用ヲ積算スルニ本項ノ金額ヲ要ス

無 號 明治十八年度區部地方稅臨時收入豫算……………廢案

一金四萬參千貳百八拾九圓壹錢八厘 家 屋 稅

(議決)廢案

(廢案理由) 支出豫算ノ修正ニ伴ヒ不要トナリタルニ由ル但内金參千圓連帶支辨ニ係ルモノナルモ之ヲ豫備費ニ要ムル見込ナリトス(常置委員會意見)

無 號 自明治十八年度 至同 十九年度 區部共有金支出豫算……………修正

一金拾七萬五千六百四圓 吾妻橋架換費繰替

(修正)金拾七萬四千四百六拾七圓參拾八錢

內 譯

金七萬五千六百四圓 明治十八年度支出額

(修正)金七萬四千四百六拾七圓參拾八錢

(修正理由) 地方稅議案ノ支出豫算修正ニ伴フニ由ル(常置委員會意見)

金拾萬圓 同 十九年度支出額

無 號 明治十八年度區部共有金收入豫算……………廢棄

一金四萬八百四圓 吾妻橋架換費繰替償却

(議決)廢棄

(廢棄理由) 十八年度ニ於テハ償却セサルニ由ル(常置委員會意見)

無 號 明治十八年度區部營業稅雜種稅課目課額改正……………修正

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スルモノ、内雜菓子ヲ削除シ(スト修正)餅強飯小賣商ヲ加フ(修正削除)

(修正理由) 營業稅ハ其營業ニ課稅セスシテ家屋ヲ標準トシ其實人ノ財産ヲ目途ニ課稅シ來レリ左レハ今般政府ニ於テ菓子ニ課稅サレタリトテ其財産ヲ失フモノニアラス己ニ財産ヲ減セサル限リハ之ヲ免除スルニ及ハス唯法律上國稅アルモノハ地方稅ヲ賦課シ得スト雖モ幸ニ菓子屋ニ於テ餅強飯ヲ賣リ其餅強飯ニハ國稅ヲ課セラレサレハ之ヲ機會トシテ菓子商ニハ依然課稅シテ可ナルニ由ル(議員沼間守一動議)

吾妻橋々臺除地敷使用者へ移轉料給與ノ儀建議……………可決

(建議の大要) 此の度の出水に流失した吾妻橋は、更に幅員を擴めて鐵橋に架換へらるゝ爲め、其の橋臺の除地敷になる河岸地の使用者に返地を命ぜらるゝことは、公共の爲め己むを得ないことではあるが、借地人が迷惑することも察し相當の移轉料を給與することゝし、河岸地借地料収入金で支辨せらるゝよう、知事に建議するもので多數を以て可決した議員沼間守一外一名發議。

第一臨時郡部會

本會は、明治十八年七月十七日午前十一時十分を以て開議し、翌十八日午後一時三十分議事の終了を告げた。

副議長鳥山貞利は、議長の職務を執り、鳩山議長が任官の爲め退職したので、其の補闕選舉を行つて、同人が多數を以て當選した。其の爲めに、副議長が復闕員となつたので、更に補闕選舉を行ひ、増島六一郎が得票多數で當選した。

議案

附建議案

無 號 明治十八年度郡部地方稅支出豫算……………修正
同 明治十八年度郡部地方稅臨時收入豫算……………修正

同 明治十八年度郡部營業稅雜種稅課目課額改正……………可決
千住大橋架換に付區部共有金借入レノ儀建議……………可決

議決摘要

無 號 明治十八年度地方稅支出豫算……………修正

一金貳百貳拾九圓

警察費

内

金百八圓六拾五錢

雜給

金百貳拾圓參拾五錢

廳費

一金壹萬六千六百五圓

土木費

(修正)金壹萬七千七百拾四圓

内

金壹萬六千六百五圓

道路橋梁費

道路修繕費貳百圓橋梁費千住大橋架換費壹萬參千參百四拾九圓渡船費參千五拾六圓

(修正)金壹萬七千七百拾四圓

(修正理由) 千住大橋架換費ヲ壹萬參千圓ニ減シ(常置委員會意見渡船費ハ一人貳厘ヲ參厘トシテ四千參百七拾四圓ニ修正スルニ由ル(議員淺香克孝動議)

一金六百九拾七圓

町村土木補助費

合計金壹萬七千五百參拾壹圓

(修正)金壹萬八千六百四拾圓

内

金壹萬七千參百九拾參圓六拾錢

地方稅

(修正)金壹萬八千五百貳圓六拾錢

金百參拾七圓四拾錢

國庫下渡金

無 號 明治十八年度郡部地方稅臨時收入豫算……………修正

一金壹萬千百參圓拾貳錢四厘

地租割

(修正)金九千貳拾壹圓貳拾八錢八厘

(修正理由) 前年度ノ餘裕金ヲ加ヘテ課稅額ヲ減スルニ由ル(議員相澤喜兵衛動議)

一金七千九拾九圓四拾參錢四厘

戶數割

(修正追加) 一金千七百貳拾貳圓四拾八錢七厘

十七年度收支餘贏

合計金壹萬八千貳百貳圓五拾五錢八厘

(修正)金壹萬七千八百四拾參圓貳拾錢九厘

外

一金貳千九百拾六圓

雜收入

(修正)金四千參百七拾四圓

内

金貳千九百拾六圓

土木費雜入

(修正)金四千參百七拾四圓

(修正理由) 支出豫算中渡船賃ノ修正アリシニ由ル

一金百參拾七圓四拾錢

國庫下渡金

總計金貳萬千貳百五拾五圓九拾五錢八厘

(修正)金貳萬貳千參百五拾四圓六拾錢九厘

無 號 明治十八年度郡部營業稅雜種稅課目課額改正……………可 決

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スルモノノ内雜菓子ヲ削除シ餅強飯小賣商ヲ加フ

千住大橋架換ニ付區部共有金借入レノ儀建議……………可 決

(建議の大要) 千住大橋が、過般の洪水で流失した爲、其の架換費豫算を提案せられたが、この橋は、樞要な國道に架設せられ、殊に區部にある四大橋の上流に在るので、一朝流失する時は、被害を他橋に及ぼす虞があるから、鐵橋を架設して堅牢を期し、其の禍害を未前に防止するのが得策である。然るに郡部では、目下財政が逼迫して居る折柄であるから、區部共有金から、無利息十箇年賦を以て、金六萬五千圓の貸付をせらるゝよう適當の措置を講せられたいと、知事に建議するので、多數を以て可決した(議員橋本省吾發議)。

通常府會

本會は、明治十八年十一月十一日午後四時二十分を以て開會し、議事を重ぬること

と十五日間で、十二月十日午後五時二十分閉會した。

開會の劈頭に、知事渡邊洪基は、次の開會の辭を述べた。

〔諸君 茲ニ本日ヲトシ第八回通常府會ヲ開キ以テ明治十九年度地方費出入豫算議案ヲ頒付ス本案ヲ調製スル專ラ前年度ノ事業ニ沿因スト雖モ其一ニ創始ニ係ルモノヲ擧クレハ先ツ小笠原島監獄ニ指ヲ屈ス近來不幸ニシテ囚徒年々增多シ監獄ノ建設變更ヲ要スルニ當リ從來監獄ニ別房留置ナル者アリ本刑ヲ了リテ監視ニ付シタル者ニシテ其引受人ナキ者ヲ置キ囚徒ト共ニ之ヲ看守ス然ルニ此徒監視期滿テ朝ニ出監スレハ夕ニ復タ入獄セサルヲ得サルノ状態ニ居ル者ニシテ府下ニアリテハ到底改良ノ目途ナク日ニ月ニ其數ヲ増シテ地方ノ費用ヲ消糜シ其措置ニ苦シム者久シク但之レヲ絶海ノ孤島ニ放チ繁華ノ社會ニ遠サカラシメ其罪惡ヲ行フノ途ヲ絶チテ一ハ看守ノ冗費ヲ省キ一ハ不毛ノ地ヲ墾拓シテ其費ヲ償ハシメ并セテ良民ニ歸スルノ方ヲ立テントスルニ在リ之レ我カ警視官ノ最モ熱心スル所ニシテ亦本官ノ嘉スル所以ナリ其他區部ニ在テ二鐵橋架設費ノ如キ計算上ノ得失ヲ考ヘテ之レヲ計畫センナリ次テ砂利置場建設費區廳舎建築費ノ如キ郡部ニ在テ郡廳舎建築費ノ如キハ皆已ムヲ得サルノ費用ニ屬ス陸前街道改築費ノ如キハ人民行通ノ便ヲ謀リテ之レヲ興スモノナリ其他詳細ノ事參考書ニ之ヲ悉シ又其所ニイタリ説明セシムヘシ諸君本案ニ就キ精査熟議シ以テ幸ニ府政ノ目的ヲ共ニシ願ハクハ好結果ヲ得ンコトヲ(明治十八年府會議事錄)〕

大書記官銀林綱男・三等屬大胡純・同庵地保・四等屬安藤俊明・同矢野湛六等屬川崎

實は答辯委員として、二等警視小野田元熙、警視屬水谷吉徳、同松崎政行、副典獄杉本壽幸は答辯囑託委員として、分擔事項に關して會議に參與した。

この府會に於て特筆する事項は、小笠原島監獄費並建築修繕費に關する討議の狀況である。この提案は、主刑滿期監視ニ付セラレ居宅又ハ引取人ナキ者ハ監獄ノ別房ニ留置スル規則ナルヲ以テ現今在房者ノ數殆ト四百餘名ノ多キニ至レリ而シテ此徒ヤ概ネ再犯以上ノ者ニシテ一定ノ住所ナク朝ニ之ヲ放テハ夕ニ入監スル如キ無賴ノ徒ニシテ毫モ改悛ノ念アルモノニアラス且今日ノ如キ日ニ月ニ罪囚ノ増殖シ監獄費ノ年々増加スルヲ以テ本年度ニ於テ別房留置人三百名ヲ小笠原島ニ移シ開墾ノ役ニ就カシメントス該島ハ絶海ノ孤島ニシテ季候暖温綿糖製造ノ業ニ適スルヲ以テ頗ル囚徒ヲ繋留スルニ足レリ云々」といふ理由であつた。之に對して一次會で、原案の廢棄を主張した主たる議員は、關直彦、角田眞平、青木匡田口卯吉等であつて、各自の論旨が必しも一致しては居ないが、大體に「重罪犯人は北海道の監獄に入れ、罪が軽く殊に刑を終へた監視中の者を、一層酷い絶海の孤島へ送るのは不合理であつて、たとへ名稱は支署又は別房と言ふとも、事實上遠隔の孤島に徒流刑を科すると同様である。監獄則並刑法附則に別房とあるのは、決して

て斯かる遠隔の場所を意味してをらぬ。經濟上將來費用を増すことゝなるので不得策である」との趣旨であつた。又原案に賛成であつた主なる議員は、犬養毅、増島六一郎、須藤時一郎、益田克徳、志摩萬次郎、平林九兵衛等であつて、互に辯論駁し、討議は極めて熾んであつたが、原案廢棄の動議は結局少數で否決となり、原案に多少の修正を加へて可決された。

議案 附建議案

無	號	明治十九年度郡區聯帶地方稅支出豫算……………	修正
同	號	明治十九年度小笠原島監獄費、監獄建築修繕費豫算……………	修正
同	號	明治十八年度地方稅支出豫算追加……………	修正
同	號	明治十七年度郡區地方費精算報告……………	承認
	號	明治十七年度巡查看守給助資金精算報告……………	承認

議決摘要

無	號	明治十九年度郡區聯帶地方稅支出豫算……………	修正
---	---	------------------------	----

一金五拾七萬四千七百拾七圓

警察費

(修正)金五拾六萬九千八百四拾壹圓六拾四錢六厘

內

金參拾壹萬六千百貳拾八圓

俸給

巡查三千二百九十三名平均月俸八圓

金拾六萬千五百拾壹圓

雜給

旅費、巡查給助資金、賞與、巡查下宿料參萬參千七百參拾貳圓、備給壹萬四千六

拾貳圓、勉勵手當、被服帶具費八萬四千七百參拾參圓

(修正)金拾五萬九千五百參拾貳圓六拾錢

(修正理由) 旅費、備給、被服帶具費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金九萬七千七拾八圓

廳費

備品並消耗品費、通信運搬費、賄費、雜費

(修正)金九萬四千八百八拾壹圓四錢六厘

(修正理由) 備品並消耗品費、賄費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金四千六百五拾圓

警察廳舎建築修繕費

(修正)金四千百參圓七拾五錢

(修正理由) 建築費ノ坪當及修繕費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金貳萬四千百拾七圓

土木費

(修正)金貳萬六拾六圓八拾四錢五厘

內

金參千四百貳拾參圓

橋梁費

(修正)金貳百六拾八圓

(修正理由) 宮益橋ハ未タ架換ヲ爲スニ及ハストシ架換費ヲ削除シタルニ由ル(常置委員

會意見)

金貳萬六百九拾四圓

治水堤防費

堤防川除修繕費壹萬八千八百五圓七拾七錢六厘川浚費九百九拾參圓七拾

五錢川岸修繕費八百九拾四圓四拾七錢四厘

(修正)金壹萬九千七百九拾八圓八拾四錢五厘

(修正理由) 堤防川除修繕費ヲ壹萬八千五百參拾八圓八拾四錢五厘ニ川浚費ヲ七百五拾

圓ニ川岸修繕費ヲ五百拾圓ニ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金七百六拾八圓

府會議諸費

(修正)金六百九拾參圓 (常置委員會意見)

一金五千九百四拾參圓

衛生及病院費

(修正)金五千六百參拾參圓七拾錢四厘

内

金貳拾四圓

衛生費

金五千九百拾九圓

傳染病豫防費

(修正)金五千六百九圓七拾錢四厘

(修正理由) 全體ニ涉リ適當ニ削減ヲ加フルニ由ル(常置委員會意見)

一金壹萬八千貳百參拾四圓

教育費

(修正)金壹萬七千七百八拾圓六拾錢九厘

内

金九千九百九拾七圓

師範學校費

俸給五千九百八圓備給四百壹圓貳拾五錢勉勵手当百九拾九圓賄料八拾五

圓參拾錢旅費參百九拾參圓六拾錢備品並消耗品費千四百拾圓生徒費七百

六拾貳圓營繕費貳百五拾圓五拾錢

(修正)金八千八百四拾五圓參拾貳錢七厘

(修正理由) 俸給ヲ師範學校生徒ニハ步兵操練科ハ不必要ナリトシ兵式體操教員年俸百

圓ヲ削リ五千八百八圓ニ議員青木匡動議備品並消耗品費ヲ九百六拾八圓九拾七錢七厘

ニ營繕費ヲ百七拾圓貳拾錢ニ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金九千參拾七圓

中學校費

俸給七千七百七拾貳圓備給參百九拾六圓其他勉勵手当賄料備品並消耗品費、

郵便稅、雜費、生徒費、營繕費等

(修正)金八千九百參拾五圓貳拾八錢貳厘 (常置委員會意見)

一金壹萬五千八百六拾四圓

救育費

但癲狂院費

(修正)金壹萬四千五百七拾壹圓八拾四錢壹厘

(修正理由) 俸給、手当、備品並消耗品費患者費營繕費等ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金百四拾八圓

浦役場及難破船諸費

(修正)金拾六圓

(修正理由) 浦役場費百參拾貳圓ヲ理事者ヨリ撤回シタルニ由ル

一金千九百六圓

府廳舍建築修繕費

(修正)金千六百參拾壹圓九錢六厘 (常置委員會意見)

一金拾九萬參千五百五拾參圓

監獄費

(修正)金拾八萬參千五百拾八圓九拾壹錢

內

金貳萬五千七百貳拾八圓

俸給

看守二百六十八名平均月給八圓

金四萬六百九拾五圓

雜給

看守給助資金、備給、勉勵手當、被服帶具費、弔祭扶助療治料

(修正)金參萬九千七百四拾六圓拾錢八厘

(修正理由) 醫員一名ノ増員ヲ前年通り十三名トシ被服帶具費ニ於テ減シ弔祭扶助療治料ハ傳染病流行ノ際要スルモノニ付必要ノ際ハ豫備費ヨリ支出スルモノトシ削除スルニ由ル(常置委員會意見 議員山中隣之助助議)

應費

金壹萬參千七百拾九圓

未決 囚 諸 費

(修正)金壹萬參千貳百九圓六拾六錢貳厘 (常置委員會意見)

金壹萬參千七百七拾四圓

(修正)金壹萬貳千參百七拾壹圓七拾七錢參厘 (常置委員會意見)

金九萬九千貳百參拾七圓

已決 囚 諸 費

(修正)金九萬貳千四百六拾參圓參拾六錢七厘 (常置委員會意見)

一金壹萬千貳拾六圓

監獄建築修繕費

(修正)金壹萬八拾圓五拾錢 (常置委員會意見 議員須藤時一郎助議)

合計金八拾五萬五百貳拾六圓

(修正)金八拾貳萬七千九百參拾七圓九拾錢壹厘

外

土木費中治水堤防費

一金六千圓

總計金八拾五萬六千五百貳拾六圓

(修正)金八拾參萬參千九百參拾七圓九拾錢壹厘

內

金五拾萬八千九百五圓八拾錢

地方稅

(修正)金四拾八萬九千五百七拾圓六拾六錢參厘

金四拾四萬貳千九百六拾八圓九拾九錢貳厘 區 部 支 辨

内 (修正)金四拾貳萬六千參拾九圓拾六錢五厘

金六萬五千九百參拾六圓八拾錢八厘

郡 部 支 部

(修正)金六萬參千五百參拾六圓四拾九錢八厘

金參拾四萬七千六百貳拾圓貳拾錢

國 庫 下 渡 金

(修正)金參拾四萬四千參百六拾七圓貳拾參錢八厘

無 號 明治十九年度小笠原島監獄費、監獄建築修繕費……修正

一金壹萬六千九百八拾八圓

監 獄 費

(修正)金壹萬四千五拾四圓七拾四錢四厘

内

金千百五拾貳圓

俸 給

看守十二名平均月給八圓

(修正)金九百六拾圓

(修正理由) 看守ハ囚徒三十名ニ一人ノ割合ニテ足レリトシニ名ヲ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金參千九百貳拾五圓

雜 給

旅費、看守給助資金、傭給、勉勵手當、諸手當、被服帶具費

(修正)金參千參百五拾四圓九拾錢四厘 (常置委員會意見)

金八百六拾壹圓

廳 費

(修正)金六百九拾五圓八拾四錢 (常置委員會意見)

金壹萬千五拾圓

已 決 囚 諸 費

(修正)金九千四拾四圓

(修正理由) 島地產馬鈴薯等ヲモ食料ニ用ユルモノトシ又氣候ノ關係上冬服ノ必要ナキニ付夫是ヲ斟酌シテ米麥代菜代被服費雜具費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金千八百八拾圓

監獄建築修繕費

(修正)金千五百壹圓拾五錢

(修正理由) 父島ハ陸揚ノ際物品ヲ貯フル爲倉庫ヲ置キ囚徒ハ惣テ母島ニ收容スルモノトシ修正シタルニ由ル(常置委員會意見)

合計金壹萬八千八百六拾八圓

(修正)金壹萬五千五百五拾五圓八拾九錢四厘

金壹萬六千九百九圓拾七錢六厘

區 部 支 辨

内 (修正)金壹萬參千九百四拾圓九拾貳錢四厘

金千九百五拾八圓八拾貳錢四厘

郡 部 支 辨

(修正)金千六百拾四圓九拾七錢

無 號 明治十八年度地方稅支出豫算追加……………修正

一金五千百拾壹圓

衛生及病院費

(修正)金貳千百參拾八圓參錢五厘

(修正理由) 本費ハ虎列拉病豫防費ナルモ節約ヲ旨トシ見積ヲ減スルニ由ル(常置委員會意見)

明治十七年度郡區地方費精算報告……………承認

明治十七年度巡查看守給助資金精算報告……………承認

通常區部會

本會は、明治十八年十一月二十八日午後六時三十分を以て開議し、議事を重ぬる

こと十一日間で、十二月十日午後三時三十五分議事の終了を告げた。

この通常區部會で、議員高梨哲四郎が「今春の通常會で、課目課額中に鐵軌稅賦課の一項を加へたのに對し、之を再議に付せられ、竟に削除することゝなつたが、併し再議に付せられた主なる理由は、日本鐵道會社に對して、重稅を課せなければならぬ虞が生ずる爲めであつた。然るに、元來自分の主張は、東京市中に敷設する鐵道馬車會社の軌道を目安として課稅するので、市内の道路を專用することの特許を得た軌道に、課稅を免ずるのは決して公平でないから、更めて茲に軌道稅を加ふることを發議するのである」との理由で修正動議を提出した。之に對して續々賛否の意見が出たけれども、動議は結局少數で成立しなかつた。

議案 附建議案

無 號	明治十九年度區部地方稅支出豫算……………修正
無 號	明治十九年度區部營業稅雜種稅課目課額……………修正
無 號	明治十九年度區部地方稅收入豫算……………修正
無 號	明治十八年度區部地方稅收入豫算追加……………修正
無 號	明治十九年度區部共有金收入支出豫算……………修正

無	號	明治十九年度區部備荒儲蓄金收入豫算……………	修正
		明治十七年度區部地方稅收支精算報告……………	承認
		明治十七年度備荒儲蓄金收支精算報告……………	承認
		明治十七年度共有金收支精算報告……………	承認
		明治十七年度瓦斯局收支精算報告……………	承認
		參百圓以上ノ工事ハ入札ニ付セラレンコトヲ望ムノ 建議……………	可決

議決摘要

無	號	明治十九年度區部地方稅支出豫算……………	修正
一金七萬四千九拾六圓		警察費……………	
(修正)金七萬貳千九百八拾四圓八拾九錢參厘		雜給……………	

內

金五萬五千九百五圓

消防二千人足留給、本分署分遣所當直手當、非番ノ者火掛リ手當、半鐘打人給、

人足賃、勉勵退職及死傷手當、被服費、四大橋水防費

(修正)金五萬五千六百八拾七圓

(修正理由) 蒸汽唧筒二臺購入ノ結果消防夫四十人ヲ減シ之ニ伴フ足留給竝被服費ヲ減スルニ由ル(議員沼間守一動議)

金壹萬八千九拾壹圓

廳費

(修正)金壹萬七千貳百九拾七圓八拾九錢參厘

警察廳舍建築修繕費

一金貳千百圓

(修正)金貳千百拾五圓

(常置委員會意見
議員山中隣之助動議)

土木費

一金拾八萬參千參百八拾八圓

(修正)金拾壹萬六千參百七拾貳圓拾八錢七厘

內

金拾貳萬四千九百四圓

道路橋梁費

(修正)金七萬六千貳百拾九圓五拾九錢壹厘

(常置委員會意見)

金五萬八千四百八拾四圓

治水費

(修正)金四萬百五拾貳圓五拾九錢六厘

(常置委員會意見)

一金參千拾貳圓
一金千五百圓

區部會議諸費
衛生及病院費

(修正)金七百五十圓

(修正理由) 區醫ハ一區一名ニテ充分ト認メ半減スルニ由ル(議員沼間守一動議)

一金七千百參拾四圓

區廳舍建築修繕費

(修正)金五千四百七拾八圓八拾參錢壹厘

(常置委員會意見)

一金拾萬千五百六拾五圓

區吏員給料旅費及廳中諸費

(修正)金拾萬千參百六拾參圓

內

金六萬九千八百圓

俸

金壹萬貳千八百參拾四圓

雜

金壹萬九千六百貳拾參圓

應

(修正)金壹萬九千四百貳拾壹圓

(常置委員會意見)

給給費

一金六千九百九拾八圓

救

育

費

(修正)金五千七百八拾八圓五拾八錢

(常置委員會意見)

一金百九拾八圓

諸達書及揭示諸費

一金壹萬七千六拾四圓

瓦斯燈費

一金壹萬參千九百圓九拾參錢九厘

豫備費

(修正)金壹萬五千貳百八拾六圓七拾八錢參厘

合計金四拾壹萬百五拾五圓九拾參錢九厘

(修正)金參拾四萬四百拾參圓貳拾七錢四厘

外

土木費中道路橋梁費

一金四萬參千六百拾六圓參拾八錢

總計金四拾五萬參千七百七拾貳圓參拾壹錢九厘

(修正)金參拾八萬四千貳拾九圓六拾五錢四厘

內

金四拾萬八千五拾四圓七拾壹錢九厘

地方稅

(修正)金參拾參萬八千九百六拾九圓七拾壹錢八厘

金四萬五千七百拾七圓六拾錢 國庫下渡金

(修正)金四萬五千五拾九圓九拾參錢六厘

無 號 明治十九年度區部營業稅雜種稅課目課額……………修正

營業稅

一 商業

一個ニ付 「金壹錢七厘」
〔金壹錢四厘〕ト修正〕

(修正理由) 支出減額ニ伴フニ由ル(以下一個當ノ修正皆同シ)常置委員會意見

一 工業

一個ニ付 「金壹錢七厘」
〔金壹錢四厘〕ト修正〕

雜種稅

一 料理屋

同 「金壹錢七厘」
〔金壹錢四厘〕ト修正〕

一 飲食店

同 「金壹錢七厘」
〔金壹錢四厘〕ト修正〕

一 湯屋

年稅 金四圓

〔午後三時以前開場ノモノ
午後三時以後開場ノモノ〕

同 金貳圓

(右ニ課スル稅額ハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數二十
五萬個一個ニ付金壹錢四厘ト修正)

(修正理由) 山ノ手ト下町ト其盛衰ノ異ナルニモ拘ラス同一ノ課稅ヲ爲シ且他ノ營業稅
ニアリテハ相當ノ重稅ヲ課セラルルニ獨リ湯屋ノミ年稅トナリ幸福ヲ享クルハ頗ル不
公平ナルニ由ル(議員田口卯吉動議)

一 理髮人

〔年稅 金壹圓〕

理髮床開場ノ營業人

(右ニ課スル稅額ハ會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數七萬個一個
ニ付年稅金壹錢四厘ト修正)

(修正理由) 同上(議員田口卯吉動議)

一個ニ付 「金貳錢九厘」
〔金貳錢〕ト修正〕

一 雇人請宿

一 遊藝稼人

月稅 「金貳圓」
〔金壹圓五拾錢〕ト修正〕

上 等

同 「金七拾五錢」ト修正〕

中 等

(修正理由) 連年ノ不景氣ノ爲メ收入減少セルニ由ル(常置委員會意見)

一 俳優

月稅 「金四圓五」
〔金四圓〕ト修正〕

上 等

中等

(修正理由) 同上(議員藤田茂吉勸議)

同 [金參圓]ト修正

一藝妓

藝妓

小藝妓 俗ニオ酌ト稱シ三味線ヲ携ヘサル者ヲ云フ

同 [金七拾五錢]ト修正

(修正理由) 相撲ノ如キ大ノ男スラ月稅壹圓ヲ超ヘサルニ賤業ノ婦女子ニ重稅ヲ課スルハ權衡ヲ失スルニ由ル議員松田秀雄勸議

一個ニ付 [金貳圓]ト修正

一興行

建物アルモノ

同 [金壹圓五毛]ト修正

一遊覽所

建物アルモノ

同 [金壹圓]ト修正

但一ケ年ヲ通算シテ金八拾圓ニ止ムルモノトス(修正追加)

(修正理由) 年中設ケアルモノニハ苛酷ニ失スルノ嫌アルニ由ル議員芳野世經勸議

一人寄席

一個ニ付 [金壹圓四毛]ト修正

一乘馬

自用乘馬 壹頭ニ付

年稅 [金五圓]ト修正

(修正理由) 増額スルモ差支ナシトスルニ由ル議員高梨哲四郎勸議

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スルモノ左ノ如シ

飲水商、氷小賣商、煎豆小賣商、鹽煎餅小賣商、飴小賣商、燒芋商(修正) 紙屑買、佛花商、諸飲食物行商、葭簣張飲食店、營業人力車、遊藝師匠、職工工場ナキ者、理髮人理髮モ床居、風呂湯屋、漁業、採藻、遊藝稼人下等、俳優下ノ下等、相撲下等、市場魚市場ナク、餅強飯小賣商(修正) 削除)

(修正理由) 燒芋及餅強飯ヲ商フモノハ多クハ盛大ナルモノニシテ免除スルニ及ハサルニ由ル(常置委員會意見)

無 號 明治十九年度區部地方稅收入豫算.....修正

一金七萬參千八百九拾圓拾九錢九厘

一金拾四萬百六拾貳圓五拾五錢貳厘

(修正) 金拾壹萬六千六百貳拾參圓六拾八錢壹厘

地租 壹圓ニ付貳拾八錢割
營業稅

内

金拾參萬四千七百拾貳圓貳錢九厘

商 業 稅

(修正)金拾壹萬貳千五百參拾五圓壹錢五厘

金五千四百五拾圓五拾貳錢參厘

工 業 稅

(修正)金四千四百八拾八圓六拾六錢六厘

一金八萬四千貳百四拾五圓貳拾九錢六厘

雜 種 稅

(修正)金七萬六百拾五圓五錢七厘

一金四拾五萬參千五百四拾八圓參錢五厘

(修正)金四拾萬千五百五拾七圓九拾九錢八厘

家 屋 稅
（二）個ニ付參錢參毛
（一）個當リチ貳錢六厘八毛トス

合計金七拾五萬千八百四拾六圓八錢貳厘

(修正)金六拾六萬貳千貳百八拾六圓九拾參錢五厘

外
一金四萬九千參百六拾四圓八拾六錢參厘

雜 收 入

(修正)金五萬貳千參拾貳圓參拾七錢八厘

一金六萬四千六百貳拾五圓四拾九錢四厘

前々年度ヨリ繰越高

一金參拾五萬七千貳百四拾八圓八拾貳錢

國 庫 下 渡 金

(修正)金參拾五萬參千六百七拾五圓九拾錢八厘

總計金百貳拾貳萬參千八百五拾五圓貳拾五錢九厘

(修正)金百拾參萬貳千六百貳拾圓七拾壹錢五厘

無 號 明治十八年度區部地方稅收入豫算追加……………修正

一金四千八百四拾八圓壹錢貳厘

家 屋 稅

(修正)金貳千九百八拾參圓貳厘

(修正理由) 聯帶ノ傳染病豫防費支出追加豫算修正減ニ伴フニ由ル(常置委員會意見)

無 號 明治十九年度區部共有金收入支出豫算……………修正

收 入

一金拾貳萬五千八百六拾圓八拾八錢

原 資 收 入

内

金貳千貳百四拾四圓五拾錢

舊公債證書賦金

金八萬圓

瓦斯局拂下代(年賦拂下代金ノ内)

金四萬參千六百拾六圓參拾八錢
一金五萬貳千六百五拾四圓七錢六厘

吾妻橋架換費繰替償却金
利益收入

内

金參萬九千八百九拾七圓六拾錢
金貳千九百五拾六圓四拾七錢六厘
金九千八百圓

公債證書利子及預ケ金利子
貸地料
瓦斯局拂下代金利子

一金五萬千貳百六拾參圓五拾九錢

繰越金

(修正)金壹萬貳千五百參拾四圓四拾五錢貳厘

(修正理由) 十七年度ノ決算未濟金額ノ内十八年度ニ於テ川浚等ニ支出セルモノアルニ由ル
(常置委員會意見)

合計金貳拾貳萬九千七百七拾八圓五拾四錢六厘

支出

一金六千五百八拾七圓七拾九錢八厘

(修正)金九萬六拾貳圓七拾九錢八厘

内譯

金五千八百五圓

備荒儲蓄公儲金

(修正)金五千七百八拾圓

共有地諸費

金七百八拾貳圓七拾九錢八厘

鎧橋架換費

(修正追加)金貳萬七千圓

(修正理由) 土木費ヨリ移入スルニ由ル(常置委員會意見)

柳橋架換費

(修正追加)金壹萬千五百圓

(修正理由) 同上(常置委員會意見)

公債證書購入高

(修正追加)金四萬五千圓

外

一金拾萬圓

吾妻橋架換費繰替金
ノ内本年度支出額

合計金拾萬六千五百八拾七圓七拾九錢八厘

(修正)金拾九萬六拾貳圓七拾九錢八厘

無 號 明治十九年度區部備荒儲蓄金收入豫算……………修正

一金壹萬七千六百六拾參圓參拾錢

備荒儲蓄金

(修正)金壹萬七千百參拾八圓參拾錢

内

金五千八百五圓

公儲金

(修正)金五千七百八拾圓

金五千七百七拾七圓七拾錢

配付金

金五千五百八拾圓六拾錢

公債證書及預ケ金利息

明治十七年度區部地方稅收支精算報告……………承認

明治十七年度備荒儲蓄金收支精算報告……………承認

明治十七年度共有金收支精算報告……………承認

明治十七年度瓦斯局收支精算報告……………承認

參百圓以上ノ工事ハ入札ニ付セラレンコトヲ望ムノ建議……………可決

(建議の大要) 一廉金參百圓以上の區部土木工事は、入札請負に付せられたき旨去

る十七年に區部會から建議したが、其の後一廉金四百圓以上のものは入札に付し、其の他は依然として定請負に委ねられて居る。しかし定請負の請負金額は概して高額であり、聊か壟斷の弊があると思ふから、將來は一廉參百圓以上の工事は、悉く入札請負に付せらるゝよう知事に建議するので、多數を以て可決した(議員松田秀雄發議)。

通常郡部會

本會は、明治十八年十二月一日午前十時十分を以て開議し、議事を重ねることが九日間で、十二月十日午後二時終了を告げた。

議案	附建議案	無號	同	同	同	同	同
明治十九年度郡部地方稅支出豫算……………修正	明治十九年度郡部營業稅雜種稅課目課額……………修正	明治十九年度郡部地方稅收入豫算……………修正	明治十九年度郡部地方稅收入豫算……………修正	明治十八年度郡部地方稅收入豫算追加……………修正	明治十九年度郡部備荒儲蓄金收入豫算……………可決	備荒儲蓄規則改正……………可決	同

明治十七年度郡部地方稅收支精算報告……………承認
 明治十七年度郡部備荒儲蓄金收支精算報告……………承認
 戶長役場合併ノ儀ニ付建議……………承認

議決摘要

無 號 明治十九年度郡部地方稅支出豫算……………修正

一金貳百四拾六圓

警 察 費

但千住大橋水防費

土 木 費

一金參萬五千六百六拾九圓

(修正)金參萬九百參拾六圓參拾四錢五厘

內

金參萬四千五百五圓

道 路 橋 梁 費

道路改築費陸前濱街道四千七百參拾八圓千葉街道七百拾八圓道路修繕費
 貳萬參千四拾八圓橋梁費新架千五百四拾五圓九拾八錢壹厘架換貳千百六
 拾壹圓五拾錢四厘修繕貳千貳百九拾參圓五拾壹錢壹厘

(修正)金貳萬九千七百七拾貳圓參拾四錢五厘

(修正理由) 道路改築費中陸前濱街道並之ニ伴フ橋梁新架費ヲ削除シ橋梁架換費ニ於テ
 架換見合セ若クハ金額ヲ減少シテ千參百參拾八圓ニ修正シ橋梁修繕費ヲ千五百四拾四
 圓ニ減スルニ由ル(常置委員會意見
 議員淺香克孝外五名勸議)

金千百六拾四圓

治 水 堤 防 費

一金五千九百六拾七圓

町 村 土 木 補 助 費

(修正)金參千六百五拾參圓七拾貳錢六厘

(修正理由) 一等二等ノ補助道路ヲ地方稅支辨ノ方ヘ組込ム見込ヲ以テ道路修繕補助費ニ
 於テ貳千餘圓ヲ減シ其他橋梁修繕補助費ニ於テ貳百餘圓ヲ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金貳千九百九拾圓

郡 部 會 議 諸 費

一金四百圓

衛 生 及 病 院 費

郡醫手當

郡 廳 舍 建 築 修 繕 費

一金六千五百九拾貳圓

(修正)金五千九百貳拾壹圓五拾錢

(修正理由) 荏原郡役所建築費參千五拾八圓北豐島郡役所同上參千四百貳拾七圓ヲ二廉合
 セテ五千八百拾四圓五拾錢ニ減シ修繕費百七圓ハ原案ヲ可決スルニ由ル(常置委員會意見
 議員淺香克孝勸議)

一金壹萬五千九百四拾貳圓

郡吏員給料旅費及廳中諸費

(修正)金壹萬五千九百九圓貳拾貳錢

內

金九千六百九拾圓

俸 給

(修正)金九千百貳圓

(修正理由) 備四十六名ヲ三十九名ニ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金參千貳百參拾四圓

雜 給

金參千拾八圓

廳 費

(修正)金貳千七百七拾參圓貳拾貳錢 (議員高木正年動議)

一金千四百六拾四圓

救 育 費

(修正)金千四百貳拾九圓參拾九錢貳厘

(修正理由) 棄兒費百參圓ノ處滿三年以上ノ棄兒ハ養育院へ送ルコトトシ百圓六拾六錢七厘ニ減スルト(議員橋本省吾動議) 旅行病者費千四百拾圓ノ處癲狂病者ハ一人一日貳拾參錢壹厘トシ千七百七拾貳錢五厘ニ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金七百六拾九圓

諸達書及揭示諸費

一金六拾七圓

勸 業 費

(修正)金參拾六圓四拾錢 (議員橋本省吾外一名動議)

一金貳萬六千八拾五圓

戶長以下給料旅費

一金參千百拾七圓壹錢六厘

豫 備 費

(修正)金貳千九百壹圓八拾五錢九錢

總計金九萬八千五百八圓壹錢六厘

(修正)金八萬九千六百七拾八圓四拾四錢貳厘

內

金九萬八千參百六拾圓四拾壹錢六厘

地 方 稅

(修正)金八萬九千五百參拾圓八拾四錢貳厘

金百四拾七圓六拾錢 國 庫 下 渡 金

無 號 明治十九年度郡部營業稅雜種稅課目課額……………修正

營業稅

一 商業

(修正理由) 戶數割地租割ニ於テ成ルヘク減少セントスルニ依リ營業稅ニ於テ勢增加セサルヲ得サルニ由ル(議員平林九兵衛動議)

一個ニ付 [金參錢壹厘] [金參錢五厘]ト修正

一 工業

(修正理由) 同上(議員平林九兵衛動議)

同 [金參錢壹厘]
[金參錢五厘]ト修正)

雜種稅

一 料理屋

客間七十坪以上	月稅	金八圓
同 六十坪以上	同	金六圓五拾錢
同 五十坪以上	同	金五圓
同 四十坪以上	同	金參圓五拾錢(修正追加)
同 三十坪以上	同	[金貳圓五拾錢]ト修正)
同 二十坪以上	同	[金壹圓五拾錢]ト修正)
同 十五坪以上	同	金壹圓
同 十坪以上	同	金五拾錢
同 五坪以上	同	金貳拾五錢
同 五坪未滿	同	金拾錢

但客間ナキモノハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數二百

一 飲食店

六十五個一個ニ付年稅(金參錢壹厘)金參錢五厘]ト修正)
 (修正理由) 客間七十坪以上ヲ有スルモノトノ權衡ヲ保タシムルト營業稅ト同シク個當
 ヲ増ストニ由ル(議員高木正年動議)

客間七十坪以上	月稅	金八圓
同 六十坪以上	月稅	金六圓五拾錢
同 五十坪以上	同	金五圓
同 四十坪以上	同	金參圓五拾錢(修正追加)
同 三十坪以上	同	[金貳圓五拾錢]ト修正)
同 二十坪以上	同	[金壹圓五拾錢]ト修正)
同 十五坪以上	同	金壹圓
同 十坪以上	同	金五拾錢
同 五坪以上	同	金貳拾五錢
同 五坪未滿	同	金拾錢

但客間ナキモノハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數二千

六十個一個ニ付年稅金參錢壹厘(金參錢五厘)ト修正

(修正理由) 料理屋ニ同シ(議員高木正年動議)

一 雇人請宿

一個ニ付 [金五錢]ト修正

(修正理由) 稍ヤ高率ト認ムルニ由ル(常置委員會意見)

一 藝妓

藝妓

月稅 [金壹圓五拾錢]ト修正

小藝妓 俗ニオ酌ト稱シ三味線ヲ携ヘサル者ヲ云フ

同 [金七拾五錢]ト修正

(修正理由) 近時世上不景氣ノ爲衰頹ヲ極メ滯納者多ク殊ニ重稅ヲ課スルハ愍然ナルニ由ル(議員淺香克孝動議)

一人寄席

一個ニ付 [金參錢壹厘]ト修正

(修正理由) 雇人諸宿ニ同シ(常置委員會意見)

一 水車

紡織製作等機關ヲ運轉スルモノ

年稅 [金貳圓五拾錢]ト修正

「挽白五個以上」

同 金五圓(修正削除)

同 「五個未滿」(修正削除)

一個ニ付

同 金壹圓

搦白 [二十個以上]ト修正

[年稅] 金貳拾錢ト修正

同 [二十五個未滿]一個ニ付

[年稅] 金貳拾錢ト修正

(修正理由) 課稅ノ公平ヲ得ントスルニ由ル(議員本橋勝右衛門動議)

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スルモノ左ノ如シ

炭團商、飲水商、豆腐請賣商、紙屑買、煎豆小賣商、氷小賣商、鹽煎餅小賣商、燒芋商、飴小賣商、下肥商、佛花商、市場、諸飲食物行商、葭張、飲食店、草鞋小賣商、營業人力車、遊藝師匠、職工工場ナキ者、理髮人理髮床ナキ者、居風呂湯屋、漁業、餅強飯小賣商、附木請賣商、木灰小賣商(修正追加)

無 號 明治十九年度郡部地方稅收入豫算……………修正

一金八萬參千參百六拾九圓貳拾錢七厘

地租 壹圓ニ付參拾錢

(修正) 金八萬五百九拾圓貳拾參錢四厘

(地租) 壹圓ニ付貳拾九錢

(修正理由) 農家ハ非常ニ疲弊ノ際ナレハ課率ヲ輕減スルニ由ル(議員平林九兵衛動議)

一金六千貳百八拾貳圓五拾六錢壹厘

營業稅

(修正) 金七千六拾四圓貳拾八錢五厘

內

金五千七百五拾六圓九拾五錢六厘

商業稅

(修正)金六千四百七拾圓八拾六錢

金五百貳拾五圓六拾錢五厘

工業稅

(修正)金五百九拾參圓四拾貳錢五厘

一金壹萬七百九拾七圓五錢七厘

雜種稅

(修正)金壹萬六千九拾壹圓八拾七錢壹厘

一金五萬七千九拾七圓五拾錢八厘

戶數割
(個數一個ニ付五錢貳厘)
(個數一個ニ付金四錢參厘)

(修正)金四萬七千貳百拾五圓貳拾四錢七厘

個數算出方法中

一 建物ノ調査ニ於テ除去スヘキモノノ左ノ如シ

一 算出法第一項ニ由リ調査シ「八坪」「七坪」ト修正未滿ノ建物

(修正理由) 成ルヘク租稅ノ範圍ヲ擴メントスルニ由ル(議員本橋勝右衛門動議)

合計金拾五萬七千五百四拾六圓參拾參錢參厘

(修正)金拾四萬五千五百六拾壹圓六拾參錢七厘

外

雜收入

一金五千貳百拾壹圓

(修正)金五千五百貳拾七圓五拾壹錢

一金參千五百九拾參圓拾六錢參厘

前々年度繰越金

一金參萬六千貳百參拾六圓五拾八錢

國庫下渡金

(修正)金參萬五千八百九拾八圓八拾六錢六厘

總計金貳拾萬貳千五百八拾七圓七錢六厘

(修正)金拾九萬五百八拾壹圓拾七錢六厘

無 號 明治十八年度郡部地方稅收入豫算追加……………修正

一金八百七拾七圓八拾貳錢八厘

戶數割

(修正)金五百四拾八圓六拾四錢參厘

(修正理由) 聯帶ノ傳染病豫防費支出追加豫算修正ニ伴フニ由ル(常置委員會意見)

無 號 明治十九年度郡部備荒儲蓄金收入豫算……………可決

一金壹萬七千九百八拾壹圓五拾四錢貳厘

備荒儲蓄金

内

金六千百拾參圓七拾四錢貳厘

公 儲 金

金六千八拾四圓參拾錢

配 付 金

金五千七百八拾參圓五拾錢

公債證書及預ケ金利子

無 號 郡部備荒儲蓄規則改正……………可 決

第二條 公儲金ハ毎年配付金高ヨリ尠カラサル額ヲ通常郡部會ニ於テ議定シ地

ニ賦課シ地方稅中地租割ト同時ニ之ヲ徵收スヘシ

明治十七年度郡部地方稅收支精算報告……………承 認

明治十七年度郡部備荒儲蓄金收支精算報告……………承 認

戸長役場合併ノ儀ニ付建議……………可 決

(建議の概要) 現在府下戸長役場の總數は百四十八で、戸長給料總額は、一ヶ年壹萬貳千餘圓、一戸長平均八拾壹圓餘に過ぎない。斯かる少額の給料では、適任者を得ることは、到底望めないことであり、又増給するには、財源がないから此際戸長役場

を合併して、其の管轄區域を擴め役場數を減少したならば、戸長給料も相當増給することが出来るし、諸般の經費を減じて、事務は却て整頓することになるから、此の議を採擇して役場の併合を斷行せらるゝよう知事に建議するので、多數を以て可決した(議員小澤喜之藏發議)。

第二臨時府會

本會は、明治十八年十二月二十八日午後三時二十分を以て開會し、知事渡邊洪基が臨場して、正副議長、常置委員及地方衛生會委員の満期に伴ふ改選の爲め、臨時會を招集した旨を演達した。

書記中野光亨は、府會議員半數改選の當選者、同補闕選舉の當選者議員中死亡者に關する知事の通知並府會正副議長満期に伴つて、改選すべき旨の知事の達書を議場に報告して前例に依り、假議長として議長選舉の投票を行つて、福地源一郎が最高點を以て當選した。

福地議長は、副議長の選舉投票を行つて、芳野世經が最高點を以て當選し、次に左の達書を議場に報告した。

地方衛生會委員滿期ニ付府會議員ヨリ三名醫師ヨリ六名製藥學士ヨリ一名改選スヘシ但補闕豫備員トシ府會議員ヨリ二名醫師ヨリ三名製藥學士ヨリ一名ヲ別ニ選舉スヘシ此旨相達候事

明治十八年十二月二十八日 東京府知事 渡邊 洪 基

選舉の結果は次の通當選した。

東京地方衛生會委員

府會議員より公選した者

藤田 茂吉 沼間 守一(即時辭選) 結村 宗伯

芳野 世經(沼間守一辭選ニ付次點者ヨリ補充)

醫師から公選した者

印東 玄得 高松 凌雲 岡 玄卿

松山 棟庵 樫村 正徳 佐々木 政吉

製藥學士から公選した者

丹羽 藤吉郎

東京地方衛生會委員補闕豫備員(委員選舉ノ次點者ヲ以テ之ニ充ツ)

府會議員から公選した者

福地 源一郎 木寺 安敦

醫師から公選した者

長谷川 泰 隈川 宗悦 伊東 方成

製藥學士から公選した者

田原 良純

最後に議長は「參事院ヲ廢シ内閣ニ法制局ヲ置カレ候ニ付此旨相達候事」といふ知事の通達書を報告した。臨時府會はこれで終了して午後五時二十分に散會した。

本會では、別に閉會式を行はずに、其儘閉會となつた。

第三 臨時區部會

本會は、明治十八年十二月二十八日午後六時二十分を以て開議し、前例に依り、書記中野光亨を假議長として、先づ區部會議長選舉の投票を行つて、沼間守一が最高

點を以て當選した。

沼間議長は、副議長の選舉を行つて、芳野世經が最高點を以て當選し、次に、常置委員七名の選舉の投票を續いて行ひ、次の通り當選した。

區部常置委員

- 沼間 守一
- 藤田 茂吉
- 芳野 世經
- 田口 卯吉
- 須藤 時一郎
- 福地 源一郎(即時辭選)
- 山中 隣之助
- 角田 眞平(福地源一郎辭選ニ付次點者ヨリ補充)

又常置委員補闕豫備員二名の選舉投票で、犬養毅青地四郎左衛門が當選した。午後七時臨時區部會は終了を告げた。

第二臨時郡部會

本會は、明治十八年十二月二十八日午後五時二十分を以て開議し、前例に依り、中野書記が假議長として、直に郡部會議長の選舉投票を行つて、鳥山貞利が最高點を以て當選した。

鳥山議長は、假議長と交代して副議長選舉の投票を行つたが、増島六一郎が最高點を以て當選した。

次に、常置委員五名の選舉投票を行つて、高點者二名と、同點者四名を生じたので、高點者二名は當選とし、不足三名の再投票を行つて、亦復最高點者二名と同點者二名を生じたので、同點者二名に就ては抽籤を以て、一名の當選者を定めた。即ち當選者は次の通りである。

郡部常置委員

- 宮本 頼三
- 名倉 甚右衛門
- 平林 九兵衛

高木正年
淺香克孝

次に、補闕豫備員二名の選舉を行つたが、鳥山貞利と橋本省吾が當選した。これで終了し、午後六時二十分散會した。

第九節 明治十九年の府會

第一臨時區部會

本會は、明治十九年六月二十一日午後四時を以て開會し、引續いて開議すること三日間に涉つて、六月二十三日午後七時四十分議事の終了を告げた。

知事高崎五六の代理として、銀林大書記官が臨場して、開會の旨を告げた。大書記官銀林綱男、二等屬大胡純、三等屬加藤信任は、番外説明委員として、會議に參與した。

この臨時區部會召集の案件は、共有金支出並収入豫算であつて、其の内容は、洲崎海面埋立費と、源森川締切開通及大横川浚渫費と、この支出に充てる収入豫算の三

案であつた。就中洲崎の海面を埋立て、根津の遊廓を之に移轉するのが主なる議案で、締切開通並浚渫は、浚渫の泥土を埋立に使用する計畫で、稍附隨的のものであつた。洲崎の海面埋立費には、賛否の論議が熾んに沸騰したが、結局本年の様な財界不況の際に、大切な共有金を支出して、こんな事業を興すことは好ましくなく況んや其の豫定地が鹽濱と稱へて、大風の時には怒濤の押寄せる虞れがあり、今新に埋立てをすれば、どんな變事が生じるかも測り難いとの説が多數を占めて、竟に原案は廢棄となつた。又源森川締切開通及大横川浚渫は、洲崎の海面埋立費が廢棄となつた爲め、之と附隨的のもので、敢て急を要しないから、共に廢棄するとの説と、反對に本件は埋立費とは關係なく、獨立して其の必要があるといふ原案賛成の説とがあつたが、採決の結果は、之れも遂に廢棄に決した。しかし知事は、此の決議を認めないで再議に付したが、其の結果、埋立費は原案を認め、締切開通及浚渫費は些少の修正を加へて孰れも可決した。

議案	無	無
號	號	號
明治十九年度共有金支出豫算………	修正	
自明治十九年度至同二十年區部共有金支出豫算………	可決	

無 號 明治十九年度區部共有金收入豫算……………修正
議決摘要

無 號 明治十九年度共有金支出豫算……………修正

一金貳萬五千六百九拾參圓五拾錢

源森川締切開通竝大横川浚渫費

(最初ノ議決)廢棄

(再議)金貳萬四千貳百參圓七拾錢

丙

金七千貳百拾參圓五拾錢

源森川締切開通費

締切開通竝開門新設費貳千貳百拾參圓五拾錢橋梁新設費六百貳拾參圓浚渫費四千參百七拾七圓

(最初ノ議決)廢棄

(再議)金六千九百五拾五圓七拾錢

(修正理由) 本工事ハ必要ヲ認ムルモ洲崎海面埋立案カ廢棄トナリタルヲ以テ寧ロ通常

會ヲ俟テ議決スルヲ適當ナリトシ次項ト共ニ廢棄議員藤田茂吉發議セシニ知事ハ之ヲ再議ニ付シタルヲ以テ其結果浚渫費ニ於テ削減シタルニ由ル(常置委員會意見)

金壹萬八千四百八拾圓

大横川浚渫費

(最初ノ議決)廢棄

(再議)金壹萬七千貳百四拾八圓

(修正理由) 坪當リヲ減スルニ由ル(常置委員會意見)

(原案説明) 本所區新小梅町ト中之郷瓦町トノ間ニ涉ル源森川ハ隅田川ヨリ大横川及豎川等へ通スヘキ緊要ノ水路ナレ共中間一ノ締切アリテ流脈ヲ杜絶シ運河ノ實用ヲ全フスルヲ得ス蓋シ此締切ハ往昔隅田川ノ膨脹ヲ防遏センカ爲後圖ヲ顧ミス卒爾其工ヲ施シ不便ヲ今日ニ貽シタルモノノ如シ然ルニ之レヲ開通シテ代ルニ開閉自在ナル堅牢ノ開門ヲ以テスルトキハ府下漕運ノ便ヲ開キ就中本所淺草ノ兩區ニ便益ヲ與ヘ若シ一朝隅田川ノ膨脹スルコトアルモ容易ニ開門ヲ閉鎖シ得ヘキヲ以テ水害ヲ被ルノ虞アルコトナシ故ニ此締切ヲ開通シ兼テ源森川ト豎川トヲ接續スル大横川ヲ浚渫シ以テ漕運ノ效用ヲ完全ナラシメ而シテ此經費ハ區部共有金ヨリ支辨シ浚渫シタル泥土ハ之ヲ洲崎海面新地築造ノ用ニ供セントス

無 號 自明治十九年度 區部共有金支出豫算……………可決
至同 二十年 度

一金六萬六千四百五圓

洲崎海面新地築造費

護岸費四萬千七百七拾壹圓九拾七錢貳厘水路開鑿及板柵新設費貳百參拾圓參
 拾八錢四厘水路浚渫費七百四拾五圓參錢六厘溝渠費壹萬五千九百八拾參圓
 五拾壹錢六厘工事中締切取設費六百七拾九圓四拾九錢四厘道路築造費貳千
 七百四拾四圓九拾五錢假橋架設費千六百八拾七圓五拾錢地所買上代七百參
 拾四圓貳拾八錢豫備費貳千四百貳拾七圓八拾六錢八厘

内

金參萬六千四百五圓

十九年度支出額

金參萬圓

二十年度支出額

(最初ノ議決)廢棄

(再議)金六萬六千四百五圓

(原案説明) 此新地ノ埋立ヲ爲サントスルハ未タ政府ノ許可ヲ得タルニアラサレトモ府廳並警
 視廳ノ意見ニテ根津ノ遊廓ヲ移サントスルノ計畫ナリ元來此埋立ハ徐々ニ着手スルモ差支ナ
 キ様ナレトモ根津ノ遊廓ハ來二十年ヲ限リ取拂ヲ命セラレシニ依リ之ヲ移ストスレハ家屋ノ
 建築等ニ日月ヲ要スルカ故ニ夫カ爲メ半年位ノ日子ヲ與ヘサルヘカラス而シテ現在ノ新吉原
 ハ二萬五千坪餘ノ面積アレトモ左マテ廣キヲ感セス一體貸座敷ノ如キモノヲ正業者ト雜居セ

シムルハ施政上不都合ナルヲ以テ成ルヘク其地ヲ割シ充分ナル取締ヲ設ケント欲ス就テハ是
 非五萬坪位ノ一廓ハ必要ト認メタルナリ借工事ハ平均九尺ノ埋立ニシテ周圍ニ六尺ノ堤防ヲ
 築クヲ以テ從來ノ堤防ニ比スレハ二尺ノ高キニ至ルヘシ而シテ其埋立土坪ハ凡ソ七萬坪ノ多
 キヲ要シ之ヲ近傍ヨリ買入ルトスレハ一坪凡ソ壹圓ト見積ルモ其價七萬圓ノ巨額ニ上ルヘ
 シ然ルヲ土捨場トナシ河川ノ浚土ヲ以テ埋立ルトキハ石垣堤防及ヒ下水等ノ修築費ニ止マリ
 埋土ノ代價ヲ省キ得ヘシ然リ而シテ此工事ハ二ケ年度ヲ以テ悉ク成功スルモノトシ先ツ本年
 度ハ六分通り埋立ルコトトシテ其埋土ハ永代橋ノ下流ヲ浚フモノ五千坪餘幸橋ヨリ新シ橋ニ
 至ル迄ノ二千九百八十七坪九合數寄屋橋下流ノ一萬千七百八十三坪及深川ノ大島川三千二百
 六十九坪ノ浚土ト今回着手セントスル源森川ノ二千五百七十四坪五合ト大横川ノ一萬千二百
 坪トヲ合セ尙神田川等ノ浚土ヲモ悉ク此埋立ニ充ルトスレハ縱令二割ノ減リ土アリトスルモ
 其不足ハ想フニ二萬坪位ニ過キサルヘシ然ラハ其不足ハ來二十年度ニ於テ地方稅ヲ以テ浚渫
 スル浚土ト政府ノ下ケ金ヲ以テ着手スル河川ノ浚土トヲ此場所ニ用フルトスレハ來二十一年
 ニ至リ此新地築造ハ大概成功ヲ告クルニ至ルヘシトシタル取調ナリ故ニ今日源森川ノ工事ヲ
 起サント欲スルハ此等ノ都合ヨリシテ連及シタルモノト知ラルヘシ右ハ此按ヲ發シタルノ概
 略ナリ

(再議理由) 本案ハ本年ノ如キ財界不況ノ場合ニ斯ル事業ヲ起サントスルハ最モ好マサル所ナ
 リ元來此場所ハ鹽濱ト稱ヘ大風ノ節ハ怒濤襲來ノ虞レアル場所ナレハ今新ニ埋立ヲ爲サハ如
 何ナル變事ヲ生センモ測ラレス況ンヤ遊廓移轉ノ爲ニナスカ如キハ然ルヘカラストノ理由ヲ

以テ之ヲ廢棄議員佐藤正興動議シタルニ知事ハ之ヲ再議ニ付シ其結果原案ヲ可決セリ

無 號 明治十九年度區部共有金收入豫算……………修正

一金六萬貳千九拾八圓五拾錢 收 入 額

(修正)金六萬六百八圓七拾錢

内

金參萬四千七百四拾九圓拾貳錢壹厘 共有地賣却代

(修正)削除

(修正理由) 今日共有地ヲ賣却スルハ不得策ナリトスルニ由ル(常置委員會意見)

金貳萬七千參百四拾九圓參拾七錢九厘 瓦斯局拂下ケ代二十年度
繰上ケ收入金ノ内

(修正)金六萬六百八圓七拾錢

(修正理由) 已ニ瓦斯局拂下代金貳拾有餘萬圓ヲ一時ニ納入シタルニ依リ之ヲ以テ充テ
ントスルニ由ル(常置委員會意見)

臨時府會

本會は、明治十九年六月二十八日午後四時十分に開會し、會議すること五日間に
涉つて、七月二日午後七時四十分議事終了閉會した。

開會の當初に知事高崎五六が臨場して、次の開會の辭を述べた。

「炎暑ノ候敢テ諸君ヲ勞シテ茲ニ臨時府會ヲ開ク希クハ審議討論ヲ盡シ適當ノ決議アラ
コトヲ望ム(明治十九年府會議事録)」

大書記官銀林綱男・一等屬武昌吉・同兒玉春房・四等屬安藤俊明・收稅屬村上忠直は
答辯委員として、一等警視小原重哉・警視屬松崎政行・同筒井明俊・同村瀬直造・副典獄
杉本壽幸は答辯囑託委員として、孰れも會議に參與した。

此の府會で特筆を要する事項は、傳染病豫防費中檢疫消毒費で、金壹萬參千八百
七拾圓の消毒所建築費を削除し、又壹萬八百八拾圓の消毒汽罐据付費を壹萬拾參
圓に修正議決したのに對し、知事が再議に付したが、其の結果も亦前會と同一であ
つたので、遂に其の決議を認可せず、内務卿の指揮を仰いで、原案を執行したこと
ある。

議 案
無 號 明治十九年度衛生及病院費臨時支出豫算……………(原案執行)正

同 明治十九年度衛生及病院費增加豫算……………修正
 同 明治十九年度府廳舎建築修繕費臨時支出豫算……………可決
 同 明治十九年度監獄費增加豫算……………修正
 同 明治十九年度監獄建築修繕費增加豫算……………修正

議決摘要

無 號 明治十九年度衛生及病院費臨時支出豫算……………
(修正) (原案執行)

一金貳萬四千七百五拾圓 衛生及病院費

(最初ノ議決)金壹萬拾參圓

(再議)金壹萬拾參圓

金壹萬千六百九拾七圓四拾六錢 區部支辨

(修正)金四千七百參拾貳圓參拾九錢壹厘

金六百七拾七圓五拾四錢 郡部支辨

內 (修正)金貳百七拾四圓拾錢九厘

金壹萬貳千參百七拾五圓 國庫下渡金

(修正)金五千六圓五拾錢

內

金壹萬參千八百七拾圓 消毒所建築費

(最初ノ議決)削除

(再議)同上

(修正理由) 新ニ消毒所ヲ設クルトキハ之ニ屬スル經費ヲ要スルノミナラス浴湯消毒ヲ設クル爲メ傳染病患者ニ接セシ者ハ遠近ニ拘ハラス消毒所ニ收容スルコトトナリ人民ノ迷惑少カラス依テ之ヲ削除シ次項ニ於テ之ニ代フル模様換ヲナス(常置委員會意見)

金壹萬八百八拾圓 消毒汽罐据付諸費

(最初ノ議決)金壹萬拾參圓

(再議)同上

(修正理由) 浴湯消毒ヲ廢スル結果浴室ニ屬スル諸品ヲ削リ汽罐附屬品ヲ減額シ建築費ノ削除ニ代フルニ本所消毒所模様換費ヲ加ヘシニ由ル(常置委員會意見)

上述の通議決されたが、知事は之を認めず、内務卿の指揮を仰いで、原案を執行した。

無 號 明治十九年度衛生及病院費增加豫算……………修正

一金壹萬六千參拾參圓 衛生及病院費(傳染病豫防費)

(修正)金壹萬參千百參拾參圓七拾錢 (常置委員會意見)

內

金壹萬五千百五拾五圓拾八錢參厘 區 部 支 辨

(修正)金壹萬貳千四百拾四圓六拾貳錢壹厘

金八百七拾七圓八拾壹錢七厘 郡 部 支 辨

(修正)金七百拾九圓七錢九厘

無 號 明治十九年度府廳舍建築修繕費臨時支出豫算……………可決

一金五萬六千參百八圓八拾八錢五厘 府廳舍建築修繕費

內

金四萬五千七百拾六圓八拾五錢貳厘 區 部 支 辨

金壹萬五百九拾貳圓參錢參厘 郡 部 支 辨

金五萬六千參百八圓八拾八錢五厘 建 築 費(敷地諸費)

麴町有樂町二丁目一番地陸軍省用地面積一萬八千四百四十坪七合ヲ府廳敷地トシテ讓受其代地三萬五百三十六坪五合買上代一坪平均貳拾壹錢壹厘六毛餘此金六千四百六拾壹圓九拾五錢八厘東京憲兵本部竝屯所其他官舎及近衛東京鎮臺工兵營移轉ニ係ル費用金四萬九千八百四拾六圓九拾貳錢七厘

無 號 明治十九年度監獄費增加豫算……………修正

一金貳萬貳千五百八拾六圓 監 獄 費

(修正)金貳萬千八百百拾七圓 (常置委員會意見)

內

金貳萬貳百四拾壹圓拾八錢參厘 區 部 支 辨

(修正)金壹萬九千五百七拾八圓九拾錢四厘

金貳千參百四拾四圓八拾壹錢七厘 郡 部 支 辨

(修正)金貳千貳百六拾八圓九錢六厘

(原案説明) 本年度豫算計上ノ已決囚人員三千六百七人ニ對シ囚徒激増シ五ヶ月間ニ六百十人ノ増員トナレリ右増加ニ對スル増員看守押丁ノ俸給其他ノ費用トシテ貳萬八百四拾七圓目下虎列拉病流行ニ付之カ豫防費トシテ千七百參拾九圓ノ追加ヲ要ス

無 號 明治十九年度監獄建築修繕費增加豫算……………修正

一金參千九百八圓 監獄建築修繕費

市ヶ谷監獄分署避病室建築費千四百九拾六圓石川島監獄分署避病室新築費
貳千四百拾貳圓

(修正)金千六百九圓拾參錢六厘

内

金參千五百貳圓貳拾八錢貳厘 區 部 支 辨

(修正)金千四百四拾貳圓八錢

金四百五圓七拾壹錢貳厘 郡 部 支 辨

(修正)金百六拾七圓五錢六厘

(修正理由) 石川島監獄分署避病室新築費ハ該分署ヲ早晚他ヘ移ササルヘカラサルヲ以テ此際増築ヲ見合スコトトシテ削除シ市ヶ谷監獄分署避病室建築費ハ石川島分署ノ分

ヲ削リタルニ依リ之カ建築坪數ヲ増加スルモ(議員芳野世經動議各室ノ建築費ヲ減額スルニ由ル(常置委員會意見)

第二臨時區部會

本會は明治十九年七月二日午後七時三十五分を以て開議し、收入増加豫算案を議了して、午後七時四十分散會した。

議 案

無 號 明治十九年度區部地方稅增加豫算……………可 決

議決摘要

無 號 明治十九年度區部地方稅增加豫算……………可 決

一金五萬貳千參百九拾圓參錢七厘 家 屋 稅
(個數一個ニ付參厘五毛)

外

一金四萬五千七百拾六圓八拾五錢貳厘 雜 收 入(府廳會建築
修繕費雜入)

總計金九萬八千百六圓八拾八錢九厘

臨時郡部會

本會は、明治十九年七月二日午後七時四十五分を以て開議し、收入増加豫算議案二件を議了して、午後八時散會した。

議案

無 號 明治十九年度郡部地方稅收入増加豫算……………廢案

同 明治十九年度地方稅收入増加豫算……………修正

議決摘要

無 號 明治十九年度郡部地方稅收入増加豫算……………廢案

一金五千貳圓拾五錢貳厘 地 租 割

外 一金壹萬五百九拾貳圓參錢參厘 雜 收 入 (府廳舎建築修繕費雜入)

總計金壹萬五千五百九拾四圓拾八錢五厘

(議決)廢案 (廢案理由) 十九年度戶數割ノ收入過並十八年度ノ收支餘贏ヲ以テ支出ニ充テントスルニ

由ル(常置委員會意見)

無 號 明治十九年度郡部地方稅收入増加豫算……………修正

(註) 郡部會に於て前案廢棄に附帶して、本案の提出を要求されたので、之を容れて發案したものである。

一金貳千百四拾六圓參拾五錢六厘 戶 數 割

十九年度收入過見込額

一金貳千百五拾九圓五拾參錢六厘 十八年度收支餘贏

(修正)金千六百八拾五圓四拾壹錢五厘

外 一金壹萬五百九拾貳圓參錢參厘 雜 收 入 (府廳舎建築修繕費雜入)

總計金壹萬四千八百九拾七圓九拾貳錢五厘

(修正)金壹萬四千四百貳拾參圓八拾錢四厘 (常置委員會意見)

通常府會

本會は、明治十九年十一月十五日午後四時十五分を以て開會し、會議を重ねるこ

と十五日間で、十二月十日午後五時閉會を告げた。開會の劈頭に知事高崎五六は次の開會の辭を述べた。

「諸君 茲ニ本日ヲ以テ第九回通常府會ヲ開キ明治二十年度地方稅收支ノ豫算議案ヲ頒ツ抑モ本案ヲ調製スルヤ前年度ニ於テ府下ハ流行病豫防費ノ臨時賦課ヲ加ヘタルノ後ナリシヲ以テ必用ノ事項ト雖モ苟モ之ヲ次年ニ送り得ヘキ方便アルモノハ敢テ之ヲ本年度ニ舉行サセルノ方鍼ヲ執レリト雖モ法律命令ニ出テ若クハ實況ニ徴シ増加ヲ來スノ止ムヘカラサルモノアリ今其重ナルモノヲ提擧セハ

監獄敷地築造費ハ石川島監獄分署建設已來經年久シク各所朽腐ヲ顯ハシ加ルニ其構造今日ノ監房ニ適セス頻年囚徒ヲ加フルモ地域狹隘ニシテ増設ノ餘地ナシ且同地ハ永ク圍ヲ置クヘキ地位ニアラス監獄本署未決監ノ如キモ亦適當ノ地位ニアラス乃チ今日ニ方リ相當ノ地ヲトシ移轉ノ準備ヲナサ、ルヘカラス

師範學校ハ師範學校令ニ遵ヒ諸般ノ備設ナカルヘカラス且今ノ校舍敷地ハ狹隘ナルヲ以テ早晚移轉セサルヘカラサルモノナレハ亦今日ニ於テ良好ノ地ヲト定セサルヘカラス神田區役所南足立郡役所南豊島郡役所ハ元巡查屯所跡或ハ小學校内ノ一部或ハ民家ヲ假用シ來リシモノニテ孰レモ其構造廳衙ニ適セス執務ノ間常ニ不便ヲ來スコト少ナカラス今日ニ方テ新築ノ擧ナカルヘカラス又警察費監獄費ニ於テ著シク増額ヲ來シタルハ巡查ノ増俸及警察事務ノ一層周到ヲ要シ囚徒ノ増加及押丁ノ配付ヲ厚フセントスル等ノモノニテ實況ニ徴シ止ムヘカラサルモノトス

其他各費額増減ノ如キハ豫算參考書ニ掲ケタルヲ以テ茲ニ之ヲ辯明セス諸君已上ノ旨趣ヲ諒シ精査審議セラレ實際施設上宜シキヲ得ルノ結果ヲ睹ンコトヲ深ク望ム所ナリ(明治十九年府會議事録)

書記官銀林綱男・屬大胡純・同川崎實・同庵地保・同安藤俊明・同金田敬親・同今井右左橘は答辯委員として、一等警視小原重哉・二等警視高田善一・警視屬水谷吉徳・同松崎政行・同筒井明俊・監獄署書記手島兎喜二は答辯囑託委員として分擔事項に關し、孰れも會議に參與した。

議長福地源一郎は先づ、議員異動に關する知事の通達を報告した。

此の通常府會で特筆する事項は、小笠原島監獄支署建築中止に對する決議と、監獄費並監獄建築修繕費再議のことである。

一 小笠原島監獄支署建築中止に對する決議

昨年ノ通常府會で、小笠原島に監獄支署を設けて、別房留置人を收容する豫算案は、有力な反對意見があつて、議案審議の狀勢が樂觀を容さなかつたけれども、理事者の愷切な説明と、原案に賛成する議員の熱論とが相俟つて、結局可決となつたのであつた。しかし其の後、理事者が研究した結果は、必しも絶海の孤島に留置しな

くとも差支がないとし、常置委員會に諮問して、其の豫算を流用し市ヶ谷監獄の増築費に充てたので、斯の措置に對して非難の論議が起り、竟に議員田口卯吉の發議で「昨年ノ通常會ニ於テ小笠原島監獄支署ヲ設クルノ原案ヲ發付シ府會ハ之レヲ可決シ當局者モ亦認可シタルニモ拘ハラヌ當局者自ラ之レヲ廢棄シ小笠原島監獄支署設置ノ爲メニ徵收シタル租稅ヲ濫リニ市ヶ谷監獄分署ノ費用ニ流用シタルハ當局者自ラ原案ヲ不認可シタルト同一ニシテ不當ノ舉措ナリト認ム」といふ決議案を可決したのである。

二 監獄費並監獄建築修繕費ノ再議

二十年度監獄費中教誨師三名の手當は、必しも支給するには及ばないとて、削除し、押丁給は原案では、已決囚十人に對し押丁一人の割合で計上したのが、二十六人に對し一人の割合に削減し、又平井新田地先の海面を埋立て、廳舎を建築し、本署竝に石川島支署を移轉する爲めに計上した監獄署建築費七萬五千餘圓は、本年は見合はずとの意味で廢棄に決した。然し、孰れも其の議決を不當として再議に付したが、教誨師手當の削除及押丁の減員は、前に議決した通りに決定し、監獄署建築費は、原案の平井新田は花柳界に接近するので不適當であるから、他に適當の地を

選んで本年度中に土地を購入するものとして、其の費用に充つる爲め、金壹萬圓を認め、其の他は、明年度から建築に着手するものとして削除した。

議員平林九兵衛は、この再議に對して、理事者が原案執行等の舉に出ず、議決を認可したのは、議員の中で居中斡旋の勞を採つた者があつたにも依るが、知事も能く大勢に順應せられた結果であつて、眞に慶賀に堪へないことであると挨拶した。之は固より全員を代表したものではなかつたが、しかし之に依つて本年の通常府會の大體の狀勢を推察することが出来ると思ふ。

十二月十日議事の終了を告げたので、高崎知事は議場に臨んで、次の閉會の辭を述べた。

「諸君 今ヤ第九回通常府會區部會郡部會ノ議事完了ヲ告ク因テ其議決ノ事項ヲ精査シ諸君ノ練達ト興望トニ重キヲ置キ總テ之ヲ認可セリ此ニ諸君數日ノ間黽勉ノ勞ヲ謝シ以テ閉會ヲ命ス(明治十九年府會議事録)」

議案 附建議案

無	號	明治二十年郡區聯帶地方稅支出豫算……………	修正
同		自明治二十年 至同二十一年度 地方稅監獄建築修繕費中建築費支出	

同
 豫算……………修正
 府會ト區郡部會トニ於テ議定スヘキ事件ノ區別及聯
 帶經費郡區負擔割合……………修正
 明治十八年度郡區聯帶地方費精算報告……………承認
 明治十八年度巡查看守給助資金精算報告……………承認
 警察費ノ經濟ヲ郡區分離センコトヲ望ムノ建議……………可決
 石川島監獄署敷地續キノ寄洲壹萬坪ヲ監獄附屬地ト
 シテ下渡サレタシトノ建議……………可決

議決摘要

無 號 明治二十年度郡區聯帶地方稅支出豫算……………修正

一金六拾貳萬四千四拾壹圓

警 察 費

(修正)金六拾萬四百拾圓四拾錢六厘

內 金參拾四萬五千七百六拾五圓

俸

給

巡查三千二百九十三名一名月給平均八圓七拾五錢

(修正)金參拾參萬五千八百八拾六圓

(修正理由) 巡查月給平均ヲ八圓五拾錢ニ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金拾六萬五千百參拾貳圓

雜

給

旅費、巡查給助資金壹萬八千六百五圓、賞與、巡查下宿料參萬參千七百參拾貳圓、備給壹萬參千七百拾四圓、勉勵手當、被服帶具費八萬六千八百七拾五圓

(修正)金拾五萬九千五百六拾七圓四錢

(修正理由) 旅費、勉勵手當、被服帶具費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金拾壹萬參千百四拾四圓

廳

費

備品並消耗品費參萬六千六拾圓、郵便電信料、運搬費、賄費七萬四千四百八拾

圓雜費

(修正)金拾萬四千九百五拾七圓參拾六錢六厘

(修正理由) 備品並消耗品費、運搬費、賄費、雜費ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金壹萬參千八百四拾七圓

警察廳舍建築修繕費

(修正)金六千五百五拾五圓參拾錢

内

金八千九百參拾五圓

建築費

牛込警察署建築費四千六百六拾六圓派出所建築費五百九拾四圓巡查教習所建築費四千七百七拾五圓

(修正)金千五百七拾參圓參拾錢

(修正理由) 牛込警察署ハ未タ改築ニ及ハストシテ削除シ派出所建築十一ヶ所ヲ四ヶ所ニ減シ教習所ノ坪數及坪當單價ヲ減スルニ由ル(常置委員會意見)

金四千九百拾貳圓

修繕費

(修正)金四千五百八拾貳圓 (常置委員會意見)

一金參萬九千五百五拾四圓

土木費

(修正)金壹萬七千八百貳圓拾參錢五厘

内

金六拾參圓

橋梁費

金參萬九千九拾壹圓

治水堤防費

堤防修築費壹萬四拾五圓堤防川除修繕費壹萬八千六百六拾八圓川浚費壹萬

五百五拾九圓大川岸修繕費參百拾九圓

(修正)金壹萬七千七百參拾九圓拾參錢五厘

(修正理由) 堤防修築費ハ平井新田地先海面監獄敷地築造費ヲ廢棄ノ爲メ不必要トナリタルニ付削除シ堤防川除修繕費ヲ壹萬七千七百參拾九圓拾參錢五厘ニ減シ區部ノ地先ニ屬スル分ハ區部ノ單獨負擔ニ改ムルモノトシ川浚費及大川岸修繕費ヲ削除スルニ由ル(常置委員會意見)

一金九百六圓

府會議諸費

(修正)金七百參拾壹圓六錢

(修正理由) 旅費印刷費等ニ於テ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金壹萬參千六百五圓

衛生及病院費

(修正)金七千貳拾圓六拾四錢五厘

内

金貳拾四圓

衛生費

(修正)金貳拾貳圓八拾錢 (常置委員會意見)

金壹萬參千五百八拾壹圓

傳染病豫防費

(修正)金六千九百九拾七圓八拾四錢五厘 (常置委員會意見)

一金參萬貳千六百參拾五圓

教 育 費

(修正)金參萬百八拾參圓五拾六錢五厘

內

金貳萬參千六百七拾貳圓

師 範 學 校 費

(修正)金貳萬千貳百貳拾五圓五拾六錢五厘

(常置委員會意見)

金八千九百六拾參圓

中 學 校 費

(修正)金八千九百五拾八圓

(常置委員會意見)

一金壹萬七千七百四拾六圓

救 育 費

(修正)金壹萬八千四百五拾七圓參拾參錢六厘

(修正理由) 患者費中自費患者二十名増員ヲ見込ミ之ニ對スル諸費ヲ追加計上セル爲メ他

ノ費目ニ於テ削減セルモ合計ニ於テ増スニ由ル(常置委員會意見)

一金拾六圓

浦役場及難破船諸費

一金八百圓

地 方 稅 取 扱 費

(修正)金六百圓 (常置委員會意見)

府廳舎建築修繕費

一金千圓

監 獄 費

一金貳拾五萬參千六百九拾圓

(修正)金貳拾萬七千五百八拾五圓參錢九厘

內

金參萬貳千七百參拾六圓

俸 給

看守三百四十一名一名月給平均八圓

(修正)金參萬八百拾六圓

(修正理由) 在監人ノ減員ニ伴ヒ看守ノ人員ヲ減スルニ由ル(議員芳野世經動議)

金七萬千七百五拾壹圓五拾錢

雜 給

看守給助資金千九百貳拾七圓備給五萬七千八百八拾八圓、勉勵手當千參百

八拾四圓、被服帶具費壹萬五百五拾貳圓五拾錢

(最初ノ議決)金四萬五千七百六圓四拾六錢六厘

(再議)同上

(修正理由) 看守給助資金ヲ前項ト同一理由ニ依リ千八百拾四圓ニ修正シ議員芳野世經
動議備給ノ内教誨師ハ手當ヲ給スルニ及ハストシ醫員月給ハ前年度ト同額ニ止メ授業
師ハ參拾七錢五厘ヲ貳拾五錢トシ常置委員會意見押丁ハ前年度通議員青木匡動議トシ
テ參萬四千百拾六圓拾五錢勉勵手當ヲ看守ノ減員ニ伴フト(議員芳野世經動議)被服帶具

費ヲ八千六百七拾參圓貳拾六錢七厘ニ減スルニ由ル然ルニ知事ハ教誨師手當及押丁人員ノ議決ヲ不當トシテ之ヲ再議ニ付シタルモ前議決ノ通決定セリ(常置委員會意見)。

金貳萬千六百參拾壹圓五拾錢

廳

費

(修正)金壹萬六千七百五拾八圓貳拾九錢五厘 (常置委員會意見)

未 決 囚 諸 費

金壹萬貳千貳百八拾五圓

未 決 囚 諸 費

(修正)金壹萬千八百拾四圓拾錢四厘

金拾壹萬五千貳百八拾六圓

己 決 囚 諸 費

(修正)金拾萬貳千四百九拾圓拾七錢四厘

一金壹萬貳千貳圓

監獄建築修繕費

(修正)金六千五百五拾五圓五拾錢

內

金六千八百五拾八圓

建 築 費

(修正)金千八百九圓 (常置委員會意見)

金五千四百四拾四圓

修 繕 費

(修正)金四千參百四拾六圓五拾錢 (常置委員會意見)

無 號 [自明治二十年(修正)至同二十一年(修正)地方稅監獄建築修繕費中]

建築費支出豫算.....修正

一金七萬五千七百九拾五圓

監獄建築修繕費中建築費

[平井新田地先海面監獄敷地築造費護岸費六萬八千七百貳圓拾錢橋梁新架費參千參百六拾圓地所買上費參千七百參拾貳圓九拾錢]

此 譯

金參萬九千五百七拾七圓

二十一年度支出額

金參萬六千貳百拾八圓

二十一年度支出額(修正)除

(最初ノ議決)廢棄

(再議)金壹萬圓

(修正理由) 本年ハ見合スヘシトシテ廢棄常置委員會意見シタルニ知事ハ之ヲ再議ニ付セリ其ノ理由ハ監獄ハ寛政年間ノ建築ニ係リ甚ク腐朽ヲ來シ殊ニ位置不適當ニシテ早晚移轉ノ必要アルヲ以テ本案ヲ發シ移轉ノ準備ヲ爲サント云フニ依テ再議ノ結果原案ノ平井新田ハ洲崎ノ埋立地ニ隣接シテ花柳界ニ近ク位置不適當ナレハ金壹萬圓ヲ以

テ本年度内ニ適當ノ地所ヲ買入レ建築ハ明年度ヨリ着手スルモ差支ナカルヘシトシ地所
買上代ノミヲ存シテ之ヲ本年度ノ支出ト爲スニ由ル(常置委員會意見)
以上兩案一括

總計金百四萬九千拾九圓

(修正)金九拾萬六千百拾六圓九拾八錢六厘

内

金六拾六萬六千貳百八拾六圓貳拾錢

地方 稅

(修正)金五拾四萬貳千七百七拾七圓五拾六錢貳厘

金五拾八萬貳千五百七拾八圓八拾九錢六厘

區 部 支 辨

(修正)金四拾六萬六千九百六拾參圓八拾錢

内 金八萬參千七百七圓參拾錢四厘

郡 部 支 辨

(修正)金七萬五千貳百拾參圓七拾六錢貳厘

金參拾八萬貳千七百參拾貳圓八拾錢

國 庫 下 渡 金

(修正)金參拾六萬參千九百參拾九圓四拾貳錢四厘

無 號 府會ト區郡部會トニ於テ議定スヘキ事件ノ區別

及聯帶經費郡區負擔割合……………修正

第一條 經費ノ中郡區聯帶シタル費用ニ係ル事件ハ府會ニ於テ之ヲ議定スヘシ

第二條 經費ノ中郡區聯帶セサル費用ニ係ル事件ハ區部會郡部會ニ於テ各之ヲ
議定スヘシ

第三條 郡區聯帶シタル經費ハ左ノ割合ヲ以テ區部郡部ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

警察費(消防費水防費ヲ除ク)

「郡區ノ戶數ヲ準トシ區ハ郡ノ二倍ヲ負擔ス」
「金高ノ八分七厘ハ區ニ於テ負擔シ
壹分參厘ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

(修正理由) 郡區ニ配置セル巡查ノ現數ニ割合フヲ適當トシ之ニ依テ算スレハ區ハ八分
三厘郡ハ一分七厘トナルモ俄ニ郡部ノ負擔ヲ重クスルハ不穩當ナルヲ以テ聊斟酌ヲ加
フルニ由ル(常置委員會意見)

警察廳舎建築修繕費(消防費ヲ除ク)

「郡區ノ戶數ヲ準トシ區ハ郡ノ二倍ヲ負擔ス」
「金高ノ八分七厘ハ區ニ於テ負擔シ
一分三厘ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

(修正理由) 前ニ同シ(常置委員會意見)

郡區ニ接續スル橋梁架換修繕費

「郡區ノ戶數ヲ準トシ負擔ス」
「金高ノ八分二厘ハ區ニ於テ負擔シ
一分八厘ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

(修正理由) 從來ノ負擔額ヲ準トシテ歩合ニ改ムルニ由ル(常置委員會意見)
堤防修繕費 金高ノ六分ハ郡ニ於テ負擔シ四分ハ區ニ於テ負擔ス

但荒川多摩川江戸川中川綾瀬川新川及須崎竝平井新田(修正追加)砂村海岸
潮除堤防日本堤修繕費

(修正理由) 是迄脱漏セシヲ補フニ由ル(常置委員會意見)

「區部大川筋並小名木川新川
川野川淺瀬及河岸修繕費

郡區ノ戶數ヲ準トシ區ハ郡ノ五倍ヲ負擔ス

但堤防水勿ハ此限ニアラス(修正削除)

(修正理由) 成ルヘク郡區ノ經濟ヲ分タントスルニ由ル(常置委員會意見)

東京灣浚浚費 同上(修正削除)

(修正理由) 前ニ同シ(常置委員會意見)

府會議諸費

「郡區ノ戶數ヲ準トシ負擔ス」

「郡區議員ノ定數ヲ準トシ負擔ス」ト修正

(修正理由) 議員ノ數ニ依ルヲ適當トスルニ由ル(常置委員會意見)

衛生會費

郡區ノ戶數ヲ準トシ區ハ郡ノ二倍ヲ負擔ス

「郡區ノ戶數ヲ準トシ區ハ郡ノ四倍ヲ負擔ス」
「金高ノ九分一厘ハ區ニ於テ負擔
シ九厘ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

傳染病豫防費

(修正理由) 入院患者ノ實數ヲ準トシ歩合ヲ以テ定ムルニ由ル(常置委員會意見)

師範學校費

「金高ノ六分八厘ハ區ニ於テ負擔
シ三分二厘ハ郡ニ於テ負擔ス」

「金高ノ六分五厘ハ區ニ於テ負擔シ
三分五厘ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

(修正理由) 生徒卒業後教員トナリ郡區へ派出ノ人員ニ割合ヒタルニ由ル(常置委員會意見)

中學校費

「郡區ノ戶數ヲ準トシ區ハ郡ノ五倍ヲ負擔ス」

「金高ノ九分八厘ハ區ニ於テ負擔
シ二厘ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

癲狂院費

「郡區ノ戶數ヲ準トシ區ハ郡ノ四倍ヲ負擔ス」

「金高ノ九分ハ區ニ於テ負擔シ一分ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

浦役場及難破船諸費

「郡區ノ戶數ヲ準トシ負擔ス」

「金高ノ八分二厘ハ區ニ於テ負擔シ
一分八厘ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

(修正理由) 從來ノ負擔額ヲ準トスルニ由ル(常置委員會意見)

地方稅取扱費

金高ノ九分ハ區ニ於テ負擔シ一分ハ郡ニ於テ負擔ス

府廳舍建築修繕費

郡區ノ戶數ヲ準トシ負擔ス

「金高ノ八分二厘ハ區ニ於テ負擔シ
一分八厘ハ郡ニ於テ負擔ス」ト修正

(修正理由) 從來ノ負擔額ヲ準トスルニ由ル(常置委員會意見)

監獄費

郡區ノ戸數ヲ準トシ區ハ郡ノ二倍ヲ負擔ス

監獄建築修繕費

同上

明治十八年度郡區聯帶地方費精算報告……………承認

明治十八年度巡查看守給助資金精算報告……………承認

警察費ノ議案ヲ郡區各部ニ發付サレンコトヲ望ムノ建議……………可決

(建議の大要) 警察費に對して、郡區が諸般の事情を異にする爲め、利害關係に著しい差異を生ずることが多いので、二十一年度以後郡區に分割が出来るものは、各別に其の單獨負擔として豫算を編成せらるゝよう知事に建議するので多數を以て可決した(議員淺香克孝發議)。

石川島監獄署敷地續キノ寄洲一萬坪ヲ監獄附屬地トシテ下

渡サレタシトノ建議……………可決

(建議の大要) 石川島と佃島の間にある一萬坪餘の茅生地は、多年河川浚渫の泥土

を取棄てた爲め、自然に築き上げられた土地であるから、監獄附屬地として下渡されたいと、知事に建議するので多數を以て可決した(議員平林九兵衛發議)。

通常區部會

本會は、明治十九年十一月二十九日午後四時三十分を以て開議し、議事を重ぬること九日間で、十二月十日午後四時五十分終了を告げた。

議案	無號	明治二十年度區部地方稅支出豫算……………修正
	同	明治二十年度區部營業稅雜種稅課目課額……………修正
	同	明治二十年度區部地方稅收入豫算……………修正
	同	明治二十年度區部共有金收入支出豫算……………修正
	同	明治二十年度區部備荒儲蓄金收入豫算……………可決
	同	明治十八年度區部地方稅收支精算報告……………承認
	同	明治十八年度備荒儲蓄金收支精算報告……………承認
	同	明治十八年度共有金收支精算報告……………承認

議決摘要

無 號 明治二十年度區部地方稅支出豫算……………修正

一金九萬五拾壹圓

警察費

(修正)金八萬七千九百九圓七錢貳厘

內

金六萬八千八百九拾六圓

雜給

消防費備給四萬六千八百六拾九圓貳拾四錢、功勞及勉勵手當九百圓、退職及死傷手當千參百圓、被服費壹萬九千五拾七圓七拾六錢、四大橋水防費備給參百八拾五圓功勞及勉勵手當六拾七圓、退職並負傷手當八拾七圓、被服屬具費貳百參拾圓

(修正)金六萬七千四百四拾參圓七拾九錢四厘

(修正理由) 消防費中備給ヲ四萬七千六百六拾九圓九拾六錢ニ増額スルモ被服費ヲ壹萬七千參百四圓八拾參錢四厘ニ減スルニ由ル(常置委員會意見)
金貳萬千五百五拾五圓 廳費

(修正)金貳萬四百六拾五圓貳拾七錢八厘

(常置委員會意見)

一金參千九百四拾四圓

警察廳舍建築修繕費

(修正)金參千五百拾貳圓 (常置委員會意見)

一金拾五萬四千八百七圓

土木費

(修正)金拾壹萬六百九拾四圓六錢參厘

內

金七萬八千四百參拾五圓

道路橋梁費

道路修繕費六萬貳千貳拾五圓五拾貳錢壹厘、橋梁架換費六千八拾九圓、橋梁修繕費八千七百八拾七圓、其他

(修正)金七萬參千六百九拾貳圓參拾六錢參厘 (常置委員會意見)

金七萬六千參百七拾貳圓

治水費

川浚費四萬五千七百貳拾壹圓、川岸修繕費、溝渠費ノ内大下水新設費千五百拾七圓、大下水改造費九千九百貳拾貳圓、大下水修繕費六千六百六拾九圓、大下水浚漂費壹萬四百九拾六圓

(修正)金參萬七千壹圓七拾錢

(修正理由) 浚渫ノ河川數ヲ減シ或ハ共有金支辨ニ移シ其他大下水新設費同改造費修繕費浚渫費ニ於テ削除若クハ個所ヲ修正シタルニ由ル(常置委員會意見)

一金參千參拾貳圓

區部會議諸費

(修正)金貳千九百九拾八圓

(修正理由) 郡部議員へ區部會議事錄配付ノ必要ナシトシ印刷費ヲ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金千五百圓

衛生及病院費

(修正)金九百圓

(修正理由) 區醫手當支給額ヲ減スルニ由ル(常置委員會意見)

一金貳萬九千貳百八拾五圓

區廳舍建築修繕費

(修正)金壹萬七千五百五拾六圓

(修正理由) 神田區役所建築費及赤坂區役所改築費ノ箇所ヲ削リ單價ヲ減シタルニ由ル(常置委員會意見)

一金拾萬千五百拾參圓

區吏員給料旅費及廳中諸費

(修正)金拾萬千參百七拾八圓

內

金六萬九千六拾圓

俸

給

金壹萬參千參拾四圓

雜

給

金壹萬九千參百拾九圓

廳

費

(修正)金壹萬九千八百八拾四圓 (常置委員會意見)

一金六千五百六拾四圓

救育費

棄兒費貳千貳百六拾七圓貳拾七錢八厘、行旅死亡人諸費千八百八拾九圓貳錢六厘、行旅病者費參千七百七圓六拾九錢六厘

(修正)金六千四百九拾壹圓四錢 (常置委員會意見)

一金百八圓

諸達書及揭示諸費

一金壹萬七千六拾四圓

瓦斯燈費

一金壹萬四千九百七拾參圓貳錢參厘

豫備費

(修正)金貳萬四千四百拾八圓五拾七錢八厘

合計金四拾貳萬貳千八百四拾壹圓貳錢參厘

(修正)金參拾六萬九千六百貳拾八圓七拾五錢參厘

外

土木費中橋梁費本年度支出額

金四萬參千六百拾七圓

總計金四拾六萬六千四百五拾八圓貳錢參厘

(修正)金四拾壹萬參千貳百四拾五圓七拾五錢參厘

内

金四拾壹萬六拾壹圓貳錢參厘

地方 稅

(修正)金參拾五萬八千參百九拾參圓拾壹錢

金五萬六千參百九拾七圓

國庫 下 渡 金

(修正)金五萬四千八百五拾貳圓六拾四錢參厘

無 號 明治二十年度區部營業稅雜種稅課目課額……………修正

營業稅

一 商 業

一個ニ付 [金參錢五厘] [金壹錢四厘]ト修正

一 工 業

[工場ニ課スル營業稅ハ其廣狹及地位ヲ準トシ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數二十九萬六千四百六十個一個ニ付金參錢五厘]

(右ニ課スル稅額ハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ依リ得ル所ノ個數百十七萬七千七百五十五個一個ニ付壹錢四厘ト修正)

(修正理由) 工場ノ有無ニ拘ハラズ課稅スルニ由ル(常置委員會意見)

雜種稅

一 料理屋待合茶屋、遊船宿、飲食店、雇人請宿(修正削除)

一個ニ付 [金五錢參厘] [金貳錢五厘]ト修正

二 雇人請宿

同 金貳錢(修正追加)

一 湯屋、人寄席

同 [金參錢五厘] [金壹錢四厘]ト修正

一 理髮人

[年稅金壹圓]修正削除

[男女ヲ論セス理髮ノ業ヲ營ム者]修正削除

[右ニ課スル稅額ハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル處ノ個數七萬四千四百四十二個一個ニ付金壹錢四厘]

但男女ヲ論セス自宅ニ於テ理髮ノ業ヲ營ムモノ之ニ準ス[修正追加]

(修正理由) 年稅及人頭稅ヲ不可トシ前年通ト爲スニ由ル(常置委員會意見)

一 遊藝稼人

下等	月稅	〔金貳拾五錢〕 _{ト修正}
一相撲	同	〔金貳拾五錢〕 _{ト修正}
下等	同	〔金貳拾五錢〕 _{ト修正}
一併優	同	〔金貳拾錢〕 _{ト修正}
下ノ下等	同	〔金貳拾錢〕 _{ト修正}
一車	年稅	〔國稅金ノ同額〕 _{ト修正}
牛車	同	〔國稅金ノ同額〕 _{ト修正}
荷積大小車	同	〔國稅金ノ同額〕 _{ト修正}
荷積馬車	同	〔國稅金ノ同額〕 _{ト修正}

(修正理由) 三項共前年度通りト爲スニ由ル(常置委員會意見)

一水車

擣臼三斗張以上

一個ニ付

年稅

〔金貳拾錢〕_{ト修正}
〔金參拾錢〕_{ト修正}
〔金貳拾錢〕_{ト修正}

同 三斗張未滿

同

同

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スル者左ノ如シ

飲水商、氷小賣商、煎豆小賣商、鹽煎餅小賣商、飴小賣商、紙屑買、佛花商、諸飲食物行商、
葎簀張、飲食店、營業人力車、遊藝師匠、職工〔工場〕、〔街路ト〕修正〔工業人〕、〔丁年未〕、〔理髮人〕、〔ナギ者〕、
ト修正、居風、呂湯屋、漁業、採藻、市場〔魚市場〕、
〔修正理由〕 職工ノ割註ハ下駄ノ齒入等ヲ免稅シ理髮人ノ割註ハ人頭稅ヲ不可トセシニ
由ル(常置委員會意見)

左ニ掲クル業目數種ヲ兼ヌル者ハ稅ノ重キ方ニ由リ課スヘシ

商業〔賣藥請賣及〕、〔行商ヲ除ク〕工業、料理屋、待合茶屋、遊船宿、飲食店、湯屋、雇人請宿、人寄席、理髮人〔理髮〕、
床開場〔修〕、〔正〕、〔追〕、〔加〕

無 號 明治二十年區部地方稅收入豫算……………修正

一金八萬七千九百貳拾九圓六拾六錢七厘

地租壹圓ニ付參拾參錢參厘餘割

一金貳拾七萬五千貳拾五圓參拾七錢五厘

營業稅

(修正) 金拾貳萬四千貳百八拾參圓貳拾八錢

內

金貳拾六萬四千六百四拾九圓貳拾七錢五厘

商業稅

(修正)金拾萬七千七百九拾四圓七拾壹錢
金壹萬參百七拾六圓拾錢

工業稅

(修正)金壹萬六千四百八拾八圓五拾七錢
一金拾壹萬四千貳百七拾圓參拾錢貳厘

雜種稅

(修正)金七萬七千貳拾八圓八拾參錢
一金四拾五萬九千六百四拾六圓拾四錢

家屋稅
個ニ付キ參錢

(修正)金四拾八萬參千九百六圓七拾四錢八厘
(修正理由) 敷地ノ乘率ヲ改ムルト一個當ヲ五錢貳厘ト爲スニ由ル(常置委員會意見)

個數算出方法中

一 敷地ノ地位ヲ差別ス

一 等 地位一等ヨリ十等迄 乘率 [10.00]ト修正
二 等 同 十一等ヨリ二十等迄 同 [9.5]ト修正
[5.15]ト修正

(十八項省略) 同 [10.0]ト修正
[9.75]ト修正

(修正理由) 是迄商業地則チ日本橋京橋等ニ住ムモノノ負擔額非常ニ重カリシヲ減シ

十二等以下ノ地ニ住ムモノニ増サントス(常置委員會意見)而シテ前後ノ比較ヲ採リ十
九等ヲ別段ニ低下スルニ由ル(議員角田眞平動議)

一 建物ノ調査ニ於テ除去スヘキモノ左ノ如シ

一 [社寺堂宇及其祭典法用ニ供スル所有建物] 神社及其祭典ニ供スル建物ト修正

一 公[私]修正削除立學校教育所トシテ使用スル建物

(修正理由) 第一ハ法用ニ供スル建物ノミ免スヘキ筈ナルニ巡察等ヲ下宿セシメ乍ラ
區役所ヨリ調査ヲ受クルトキハ法用ノ際立退カシムト云ヒテ脱稅ヲ圖ル者尠カラサ
ルヲ以テ之カ明文ヲ削リ課稅シ得ヘキハ課稅シ又課セラレサルニ於テハ殊更明文ヲ
置クノ必要ナシトスルト第二ハ私立學校ニ課稅スルニ由ル(常置委員會意見)

一金五萬五千七百六拾八圓四拾參錢五厘 雜收入

(修正)金五萬貳千貳百八圓參拾八錢五厘

一金四拾萬六百五拾壹圓七拾五錢八厘 國庫下渡金

(修正)金參拾七萬千四百七拾九圓九拾四錢貳厘

總計金百參拾九萬參千貳百九拾壹圓六拾七錢七厘

(修正)金百拾九萬六千八百參拾六圓八拾五錢貳厘

無 號 明治二十年度區部共有金收入支出豫算……………修正

收入

一金四萬五千九百六拾壹圓五拾錢

原 資 收 入

内 譯

金貳千貳百四拾四圓五拾錢

舊公債證書賦金

金四萬參千六百拾七圓

吾妻橋架換費繰替償却金

一金四萬千四百參拾圓四拾五錢

利 益 收 入

内 譯

金參萬八千八百八拾六圓四拾五錢

公債證書利子及預ケ金利子

金參千貳百四拾四圓

貸 地 料

一金六萬七千六百五拾五圓九拾七錢九厘

繰 越 金

合計金拾五萬四千九百四拾七圓九拾貳錢九厘

支 出

一金五千八百參拾五圓

備荒儲蓄公儲金

一金七百七拾八圓拾貳錢六厘

共 有 地 諸 費

(修正)金七百七拾圓六拾貳錢八厘

(修正理由) 地方税金ヲ地租三分ノ一ノ割合トシタルト下水井戸流シ芥溜等修繕費ヲ減ス
ルトニ由ル(常置委員會意見)

一金參萬四千八百拾七圓

下 水 改 良 費

(修正)金壹萬貳千圓

(修正理由) 前年ノ決議ニ基クニ由ル(議員藤田茂吉動議)

(修正追加) 一金壹萬四千四百四拾貳圓五拾七錢 大 横 川 浚 渫 費

(修正理由) 土木費ヨリ此ニ移シ坪當ヲ減スルニ由ル(常置委員會意見
議員山中隣之助動議)

(修正追加) 一金九萬圓 公 債 證 書 購 入 費

(修正理由) 空シク積置カンヨリ公債證書ヲ購入スルヲ得策トスルニ由ル(議員芳野世經動
議)

外

一金參萬圓

洲崎海面新地築造費

合計金七萬千四百參拾圓拾貳錢六厘

(修正)金拾五萬參千四拾八圓拾九錢八厘

無 號 明治二十年區部備荒儲蓄金收入豫算……………可決

一金壹萬七千六百七圓九拾貳錢九厘 備荒儲蓄金

内

金五千八百參拾五圓 公儲金

金五千八百參拾參圓五拾七錢九厘 配付金

金五千九百參拾九圓參拾五錢 公債證書及預ケ金利子

明治十八年度區部地方稅收支精算報告……………承認

明治十八年度備荒儲蓄金收支精算報告……………承認

明治十八年度共有金收支精算報告……………承認

通常郡部會

本會は、明治十九年十二月一日午前十一時五分に開議し、九日間に涉つて議事を

重ね、十二月十日午後四時五十分終了を告げた。

十二月一日開議の劈頭に、郡部會副議長の補闕選舉を行つて、大塚成吉が最高の得票で當選した。然るに同人は之を辭退したが、切なる勸告を容れて竟に承諾した。

此の通常郡部會で特筆する事項は、たゞ衛生病院費で、郡醫十名(年手當一名四拾圓)を五名に減じ、年手當を一名五拾圓に増額する修正があつたのに對して、知事が再議に付した結果、郡醫を八名とし手當を原案の通り四拾圓宛に議決したことがある。

議案 附建議案

無 號 明治二十年郡部地方稅支出豫算……………修正

無 號 明治二十年郡部地方稅支出追加豫算……………修正

無 號 明治二十年郡部營業稅雜種稅課目課額……………修正

無 號 明治二十年郡部地方稅收入豫算……………修正

無 號 明治二十年郡部地方稅收入追加豫算……………廢棄

無 號 明治二十年郡部備荒儲蓄金收入豫算……………可決

明治十八年度郡部地方稅收支精算報告……………承認

明治十八年度郡部備荒儲蓄金收支精算報告……………承認

火葬場ニ課稅スルノ建議……………可決

町村費道路ニ補助スルノ建議……………可決

議決摘要

無 號 明治二十年度郡部地方稅支出豫算……………修正

一金貳百四拾六圓 警察費

但千住大橋水防費 土木費

一金四萬參千五百貳拾貳圓 土 木 費

(修正)金參萬七千貳百九拾四圓七拾參錢

內

金四萬貳千貳拾五圓 道路 橋 梁 費

道路改築費參千四百四拾參圓道路修繕費參萬貳千七百拾壹圓橋梁架換費

四千九百九拾五圓修繕費八百七拾六圓

(修正)金參萬五千七百九拾七圓七拾參錢 (常置委員會意見)

金千四百九拾七圓 治水堤防費

一金貳千貳百參拾壹圓 町村土木補助費

橋梁修繕補助費

(修正)金貳千五百五拾貳圓參拾參錢貳厘

(修正理由) 橋梁修繕補助費ニ於テ八拾九圓拾錢ヲ削減シ新ニ道路修繕補助費四百拾圓四

拾參錢貳厘ヲ追加シ町村道路總坪數ノ二十分ノ一(四千餘坪)ニ對シ一坪拾錢宛ヲ補助セン

トスルニ由ル(議員名倉甚右衛門動議)

一金貳千貳百貳拾八圓 郡部會議諸費

(修正)金貳千百參拾九圓參拾壹錢五厘 (常置委員會意見)

一金四百圓 衛生及病院費

(最初ノ議決)金貳百五拾圓

(再議)金參百貳拾圓

金四百圓 衛生費

郡醫手當十八分一人四拾圓

(最初ノ議決)金貳百五拾圓

(再議)金參百貳拾圓

(修正理由) 郡醫ヲ五人ニ減シ手當ヲ五拾圓ニ増シ貳百五拾圓ト修正ノ處常置委員會意見知事ヨリ再議ニ付セラレタルヲ以テ原案ニ對シ人員二名ヲ減シ手當ハ原案通り四拾圓トシテ議決シタリ(議員烏山貞利動議)

一金六千四百五拾五圓

郡廳舍建築修繕費

(修正)金參千四百五拾參圓

(修正理由) 東多摩南豐島兩郡役所建築費參千拾六圓ハ建築ヲ見合ハセ之ヲ削除シ南足立郡役所建築費參千參百四拾六圓及修繕費百七圓ヲ可決スルニ由ル(常置委員會意見 議員相澤喜兵衛動議)

一金壹萬五千參拾五圓

郡吏員給料旅費及廳中諸費

(修正)金壹萬五千八拾參圓

内

金九千八拾四圓

俸

給

金參千參百六拾九圓

雜

給

金貳千五百八拾貳圓

廳

費

(修正)金貳千六百參拾圓 (常置委員會意見)

一金千五百六圓

救

育

費

棄兒費、行旅死亡人諸費、行旅病者費

(修正)金千四百八拾參圓九拾五錢六厘 (常置委員會意見)

一金百四拾參圓

諸達書及揭示諸費

(修正)金百參拾參圓七拾五錢

一金參拾圓

勸

業

費

種苗交換費其他

一金貳萬六千八拾壹圓

戶長以下給料旅費

一金參千六百八拾九圓四錢貳厘

豫

備

費

(修正)金四千七拾圓六拾七錢八厘

總計金拾萬千五百六拾六圓四錢貳厘

(修正)金九萬貳千八百八拾七圓七拾六錢壹厘

無 號 明治二十年度郡部地方稅支出追加豫算……………廢 棄

一金貳千參百拾四圓

町村土木補助費

見沼代用水工事補助費

(議決)廢棄

無 號 明治二十年度郡部營業稅雜種稅課目課額……………修正

一 商 業

一 建物ノ敷地ヲ差別ス

一個ニ付 [金參錢五厘]
[金壹錢四厘]ト修正

「一 等 地_{百坪當}價 百四拾五圓五拾錢以上

乘率 三・〇

(三項省略)

五 等同 拾六圓五拾錢未滿

同 一・〇

(修正)以上ノ五項ヲ左ノ十五項ニ修正ス

「一 等 地_{百坪當}價 百九拾壹圓貳拾五錢以上

乘率 八・〇

二 等同 百五拾四圓五拾錢以上

同 七・五

(十二項省略)

十五等同 七圓八拾錢未滿

同 一・〇

(修正理由) 區部ノ等級ヲ準トシ其比例ヲ以テ修正スルニ由ル(議員 本橋勝右衛門 勳議 平林九兵衛)

一 工 業

「工場ノ廣狹及地位ヲ準トシ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數二萬百七十五個一個ニ付金參錢五厘」

(右ニ課スル稅額ハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數十一萬七千七百五十九個一個ニ付金壹錢四厘ト修正)

(修正理由) 工場ノ廣狹ヲ準トセス全建坪ニ向ツテ課稅スルニ由ル(常置委員會意見)

雜種稅

「一料理屋、待合茶屋、遊船宿、飲食店、雇人請宿

右ニ課スル稅額ハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數一萬八千八百五十個一個ニ付金五錢參厘」

(修正)以上五業目ニ對スル課稅標準及課率ヲ左ノ通修正ス

「一料理屋

客間 六十坪以上

月稅 金六圓五拾錢

同 五十坪以上

同 金五圓

(六項省略)

同 五坪未滿

同 金拾錢

但客間ナキモノハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數六
百四十個一個ニ付年稅金參錢

一待合茶屋、遊船宿

右ニ課スル稅額ハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ一個ニ付金五錢參厘

一飲食店

客間 六十坪以上

月稅 金六圓五拾錢

同 五十坪以上

同 金五圓

(六項省略)

同 五坪未滿

同 金拾錢

但客間ナキモノハ商業中會社外十三業ノ課稅方法ニ由リ得ル所ノ個數五
千百九十三個一個ニ付年稅金參錢

一雇人請宿

右ニ課スル稅額ハ商業中會社外十三業ノ課程方法ニ由リ得ル所ノ個數二千五
百三十三個一個ニ付金參錢

(修正理由) 料理屋、飲食店ノ二項ハ前年ノ如ク客間ニ課稅セントシ一個當ハ前項ニ比
例シタルニ由ル(常置委員會意見)

一理髮人

「年稅 金壹圓(修正削除)

「男女ヲ論セス理髮ノ業ヲ營ム者(修正削除)

「二人以上理髮床
開場營業者

年稅 金壹圓

一 人同 同

同 金五拾錢

但男女ヲ論セス自宅ニ於テ理髮ノ業ヲ營ム者モ之ニ準ス(修正追加)

(修正理由) 昨年度通ト爲スニ由ル(常置委員會意見)

一船

解漁船川船及五十石未滿海船 「二間」(「四間」ト修正)以上

年稅 國稅金ノ同額

同 「二間未滿」(「四間未
滿二間以上」ト修正)

同 國稅金ノ半額

「同 二間未滿

同 國稅金ノ同額(修正追加)

西洋形船川船及五十石未滿海船

同 國稅金ノ同額

「遊船

(修正理由) 解漁船川船等ヲ四間ヲ以テ標準トシ四間以上ヲ同額其以下ヲ半額トシ議

員平林九兵衛動議更ニ二間未滿ヲ四分ノ一ト爲シ(常置委員會意見遊船ヲ加フルニ由ル(議員平林九兵衛動議)

一車	年稅	國稅金ノ「同額」ト修正
牛車	同	國稅金ノ「同額」ト修正
荷積大小車	同	國稅金ノ「同額」ト修正
荷積馬車	同	國稅金ノ「同額」ト修正

一水車	年稅	「金壹圓五拾錢」ト修正
挽白	一個ニ付	

(修正理由) 苛稅ノ如クナルモ利益多キ營業ナルニ由ル(議員本橋勝右衛門動議)

營業稅雜種稅ヲ賦課スヘキ種類中特ニ免除スヘキモノ左ノ如シ

炭團商、飲水商、豆腐請賣商、紙屑商、煎豆小賣商、氷小賣商、鹽煎餅小賣商、燒芋商、飴小賣商、下肥商、(修正) 佛花商、市場、諸飲食物行商、葭、張、飲食店、草鞋小賣商、營業人力車、遊藝師匠、職工工場ナ、キ者、理髮人「丁年未滿」(理髮床)「ナキ者」ト、修正、居風呂湯屋、漁業、餅強飯小賣商、(修正) 附木請賣商、木灰小賣商

(修正理由) 理髮人ノ割註ハ前ノ理髮人稅修正ノ結果ニ依リ其ノ他ハ課稅スルモ差支

ナシトスルニ由ル(常置委員會意見)

「水車稅中馬力ニ依リ賦課スヘキモノハ年度ノ始ニ於テ定ムル所ノ馬力ヲ準トスヘシ其新規開業ニ限リ開業届日ノ馬力ニヨリ徵收スルモノトス」(修正追加)

(修正理由) 馬力ハ檢定ノ季節ニヨリ差異アルヲ免カレサルニ付季節ヲ一定スルニ由ル(議員高木正年動議)

「左ニ掲クル業目數種ヲ兼ヌル者ハ稅ノ重キ方ニ據リ課スヘシ

料理屋、芝居茶屋、飲食店」(修正追加)

(修正理由) 前年決議ノ例ニ倣フニ由ル(常置委員會意見)

左ニ掲クル業目數種ヲ兼ヌル者ハ稅ノ重キ方ニ據リ課スヘシ

商業賣藥、請賣及行商ヲ除ク工業、料理屋「客間ナキモノ」(修正追加) 待合茶屋、遊船宿、飲食店「客間ナキモノ」(修正追加) 雇人請宿、人寄席

(修正理由) 前ニ同シ(常置委員會意見)

無 號 明治二十年度郡部地方稅收入豫算……………修正

一金九萬貳千七百五拾圓六拾六錢七厘
 (修正)金八萬六千九拾參圓八錢
 一金七千八百九圓七拾五錢五厘
 (修正)金七千六百五拾六圓七拾七錢

地租
(地租壹圓ニ付參拾參錢參厘餘)
 (地租壹圓ニ付貳拾九錢)

營業稅

内

金七千百參圓六拾參錢

商業稅

(修正)金六千八百圓拾四錢四厘

金七百六圓拾貳錢五厘

工業稅

(修正)金千六百四拾八圓六拾貳錢六厘

一金壹萬六千五拾六圓九拾七錢壹厘

雜種稅

(修正)金壹萬千參百參拾圓六拾九錢壹厘

一金六萬千六百九拾圓四拾五錢五厘

戸數割
二二個ニ付四錢五厘
 二二個ニ付參錢六厘

(修正)金六萬千貳百六拾六圓貳拾四錢

(修正理由) 乘率改正ニ因リ總個數増加シタルト一個當ヲ減スルトニ由ル(議員淺香克孝勳議)

個數算出方法中

一 敷地ノ地位ヲ差別ス

一 等 地 價 百四拾五圓五拾錢以上

乘率 三・〇

二 等 同 七拾八圓七拾五錢以上

同 二・五

(二項省略)

五 等 同 拾六圓五拾錢未滿

同 一・〇

(修正)以上ノ五項ヲ左ノ十三項ニ修正ス

一 等 地 價 參百六拾圓以上

乘率 四・〇

二 等 同 貳百六拾五圓五拾錢以上

同 三・七五

(十項省略)

十三 等 同 八圓四拾錢未滿

同 一・〇

(修正理由) 乘率ハ區部ニ於テ今回改正シタル家屋稅ニ準スルニ由ル(議員相澤喜兵衛勳議)

一金五千參百六拾參圓六拾錢六厘

雜收入

(修正)金五千五百參圓五拾五錢九厘

一金千四百五拾四圓貳拾九錢貳厘

前々年度ヨリ繰越金

(修正)金千五百參圓五拾八錢參厘

一金參萬八千六百貳拾五圓六拾四錢貳厘

國庫下渡金

(修正)金四萬七千四百五拾九圓七拾貳錢五厘

總計金貳拾貳萬參千七百五拾壹圓參拾八錢八厘

(修正)金貳拾壹萬五千四百拾參圓六拾四錢八厘

無 號 明治二十年度郡部地方稅收入追加豫算……………廢棄

一金貳千參百拾四圓

戶數割

(議決)廢棄

(廢棄理由) 見沼代用水工事補助費追加豫算案廢棄ニ伴フニ由ル

無 號 明治二十年度郡部備荒儲蓄金收入豫算……………可決

一金壹萬八千貳百六拾七圓七拾六錢七厘

備荒儲蓄金

丙

金六千參百九拾九圓七拾九錢六厘

公儲金

金六千五百五拾參圓四拾貳錢壹厘

配付金

金五千七百拾四圓五拾五錢

公債證書及預ケ金利息

明治十八年度郡部地方稅收支精算報告……………承認

明治十八年度郡部備荒儲蓄金收支精算報告……………承認

火葬場ニ課稅スルノ建議……………可決

(建議の大要) 府下各郡に存在する火葬場は、他の營業と何等異なることがなく、却つて數倍の収益があるにも拘はらず、從來之に課稅しなかつたのは、如何なる理由に依るか了解に苦しむのである。現時財政困難の折柄二十年度からは、特別に火葬場に課稅するやう知事に建議するのであつて、多數を以て可決した議員淺香克孝發議。

町村費道路ニ補助スルノ建議……………可決

(建議の大要) 町村土木補助費の中へ、金四百餘圓を追加決議したが、町村費負擔の

道路で補助を申請した向へは、相當の補助をせらるゝよう知事に建議するので、多數を以て可決した議員名倉甚右衛門發議。

第十節 明治二十年の府會

第一臨時區部會

本會は、共有金支出豫算(東京灣浚浚費繼續豫算)議定の爲め招集せられたもので、明治二十年六月十六日午後四時五分を以て開會し、知事代理として銀林書記官が開會の趣旨を述べ、即日議事の終了を告げて、午後七時四十分閉會した。

副議長芳野世経は、先づ、議員の異動に關する知事からの達書を報告して、直ちに議事に入つたが、議案の内容が極めて重要であつた爲めか、議場は頗る緊張して、討議も詳密に涉つたけれども、結局常置委員會の修正意見に決定した。

議案

無 號 自明治二十年年度區部共有金支出豫算……………修正

議決摘要

無

號

「自明治二十年年度」(明治二十年年度)修正區部共有金支出豫算……………修正

一金五拾萬圓

東京灣浚浚費

(修正)金拾萬圓

内 譯

「金五萬圓	二十年度支出額
金五萬圓	二十一年度支出額
金五萬圓	二十二年度支出額
金五萬圓	二十三年度支出額
金五萬圓	二十四年度支出額
金五萬圓	二十五年支出額
金五萬圓	二十六年支出額
金五萬圓	二十七年支出額
金五萬圓	二十八年支出額

金五萬圓

二十九年 度支出額

(修正)右内譯ヲ左ノ通修正ス

金拾萬圓

東京灣 浚 浚 費

(議案參考書) 京橋區築地明石町ト佃島トノ間ヨリ二番五番ノ砲臺間ヲ經過スル東京灣浚筋ハ近年土砂漸ク堆積シ通船ノ不便甚タシキニヨリ去明治十六、十八兩年度ニ於テ共有金竝地方稅ヲ以テ浚漑ノ工事ヲ施シ中央幅二十五間以内ハ平均干潮下六尺ノ深サトナセシモ干潮下深サ六尺ニテハ未タ以テ大ナル船舶ヲ通セシムルニ足ラス且中央幅二十五間ニテハ船舶幅輦ノ際ニ方リ尙ホ狹隘ノ不便ナキニアラス故ニ今回ノ計畫ハ浚筋長三千六百間幅平均九十間ノ内中央三十間ヲ平均干潮下深十二尺トシ其左右ヘ勾配ヲ付シ浚漑スルトキハ多數ノ船舶一時ニ幅輦スルモ敢テ支障ナキノミナラス最大干潮ト雖モ中央十一尺六寸ノ深サアリ通常干潮ニ於テハ十二尺干滿平均ニ於テハ十三尺六寸餘滿潮ニ於テハ十四尺九寸餘之ヲ從前ニ比スレハ大ナル船舶ヲシテ容易ニ通航セシムルコトヲ得其土積ハ佃島地先寄洲及在來土捨場ヘ運漕シテ該所ヲ埋立其地所凡二十三萬二百四十八坪ヲ區部共有地ト爲シ他日該地所ヨリ生スル利益ヲ以テ共有金ヘ補填スヘシ而シテ此工事ハ本年度ニ起シ向十年ヲ期シテ全部ヲ完了セントス

(修正理由) 工事ニ就テハ異議アラサレトモ十年ノ長キニ亘ルヲ好マス且之ヲ何年間ニ縮メントスルノ目途モ定メ難キニ依リ先ツ本年度ハ拾萬圓ヲ支出シ工事ノ實況ヲ見タル後年々支出額ヲ決シ竣工スルノ精神ヲ以テ左表(略)ノ如ク修正ヲ加ヘリ(常置委員會意見)

第一臨時郡部會

本會は、明治二十年六月二十日午前十時二十五分を以て開會し、知事代理として銀林書記官は、開會の趣旨を述べた。

議長鳥山貞利は、議員異動に關する知事の達書を報告して直ちに議事に入つた。この臨時郡部會は、追加豫算議定の爲め招集せられたもので、午後二時五十五分閉會を告げた。

議案	無號	明治十九年度郡部地方稅支出補充豫算	可決
同	同	明治十九年度郡部地方稅支出補充豫算	可決
同	同	明治二十年 度郡部地方稅支出追加豫算	修正
同	同	明治十九年度郡部地方稅收入補充豫算	可決
同	同	明治十九年度郡部地方稅收入補充豫算	可決
同	同	明治二十年 度郡部地方稅收入追加豫算	修正

議決摘要

無 號 明治十九年度郡部地方稅支出補充豫算……………可 決

一金參百參拾八圓參拾貳圓四厘 郡吏員給料旅費及廳中諸費

俸給、雜給、廳費ノ不足補充

一金九拾參圓貳錢 戶長以下給料旅費

雜給ノ不足補充

合計金四百參拾壹圓參拾四錢四厘

無 號 明治十九年度郡部地方稅支出補充豫算……………可 決

一金百四拾六圓參拾錢四厘 救 育 費

行旅病者費、行旅死亡人諸費ノ不足補充

無 號 明治二十年度郡部地方稅支出追加豫算……………修 正

一金貳千八百六拾壹圓參拾九錢參厘 町村土木補助費

道路新開、橋梁新架、溝渠新設ノ各補助

(修正)金四千百五拾七圓參拾九錢參厘

(修正理由) 道路新開補助ハ王子板橋間ノ新開ナル處屈曲多ク不便ナルヲ以テ設計ヲ變更シテ直線トスル爲メ補助額九拾六圓餘ヲ増シ橋梁新架補助ハ幅員ヲ減シ木橋ヲ石橋ニ改メ補助額千貳百餘圓ヲ増スニ由ル(常置委員會意見 議員島山貞利動議)

無 號 明治十九年度郡部地方稅收入補充豫算……………可 決

(註) 郡吏員給料及戶長以下給料等の支出に對するものである。

一金四百參拾壹圓參拾四錢四厘 戶 數 割

但十九年度豫算額ニ對スル實收過

無 號 明治十九年度郡部地方稅收入補充豫算……………可 決

(註) 教育費の支出に對するものである。

一金百四拾六圓參拾錢四厘 戶 數 割

但十九年度豫算額ニ對スル實收過

無 號 明治二十年度郡部地方稅收入追加豫算……………修 正

(註) 町村土木補助費の支出に對するものである。

一金參千六拾圓七拾七錢貳厘

地 租 割

(修正)金四千百七拾參圓七拾八錢

(修正理由) 支出追加豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

第一臨時府會

本會は、明治二十年六月二十二日午後四時五分を以て開會し、午後四時十分に閉會した。

この會議の主題である、府廳舎建築費追加豫算は、原案に可決したが、議員と理事者との質問應答は、現在の廳舎建築に關係のあることであるから、其の一節を次に掲ぐる。

〔四十五番佐藤正興〕 番外ニ問フ府廳舎建築ノ爲メ有樂町陸軍省用地ト現府廳ノ敷地ト交換スルコトヲ決議セシカ今日ニ於テ本案ヲ發セラレタルハ蓋シ十九年度内ニ起工スルヲ得サル爲メナラン然ルニ本案ノ金額前年度ノ決議額ニ比シ千七百貳拾貳圓餘増加セシハ何故ナリヤ

(番外二番兒玉屬)曰 成程昨年七月ノ決議額ハ五萬六千參百八圓八拾八錢五厘ナリシカ其後地價モ騰貴シ且ツ作物ノ買上代ヲ要スル場合ニ立至リタルヲ以テ昨年十二月中其増費

ヲ常置委員ノ決議會ニ要メタルニ依リ本案ノ金額トナレリ

(二十番淺野彦兵衛)曰 已ニ昨年決議シタルモノヲ何故再ヒ議サシメラル、ヤ番外ヨリ其理由ヲ承リタシ

(番外一番銀林書記官)曰 昨年ノ決議ハ其年度内ニ實行スルヲ得サリシ故本年ニ繰越スノ案ニシテ其實行シ得サルト云フハ府廳ヲ移スヘキ場所アラサルニ依リ現在ノ府廳ヲ賣却スル能ハサルヲ以テナリ

(四十五番佐藤正興)曰 地所ハ本案通りニテ意見アラサルモ府廳舎建築費トシテ政府ヨリ下付セラル、分ハ如何ナリ居ルヤ

(番外一番銀林書記官)曰 昨年度分ハ既ニ下付ニナリタリ(明治二十年府會議事録)

議 案

無 號 明治二十年度地方稅支出追加豫算……………可 決

議 決 摘 要

無 號 明治二十年度地方稅支出追加豫算……………可 決

一金五萬八千參拾壹圓貳拾貳錢六厘

府廳舎建築修繕費

内

金四萬七千五百八拾五圓六拾錢五厘

區 部 支 辨

金壹萬四百四拾五圓六拾貳錢壹厘

郡部支辨

内譯

金五萬八千參拾壹圓貳拾貳錢六厘

建築費

(原案説明) 府廳舍新築ノ事業ハ十九年度ニ於テ在來ノ府廳舍及其敷地ヲ賣却シ起工ノ見込ナリシ處未タ計畫中ニ係リ起工ノ期ニ至ラス依テ本年度ニ於テ本案ノ金額ヲ増加スルモノトス(註) この支出追加豫算に對する收入豫算は、外書追加として、次の通り提案せられた。議案中の外書とは即ち朱書であつて、府會の議決を必要としないのは前例の通である。

明治二十年度區部地方稅收入豫算議案外書追加

一金四萬七千五百八拾五圓六拾錢五厘

雜收入

内譯

金四萬七千五百八拾五圓六拾錢五厘

府廳舍建築修繕費雜入

明治二十年度郡部地方稅收入豫算議案外書追加

一金壹萬四百四拾五圓六拾貳錢壹厘

雜收入

内譯

金壹萬四百四拾五圓六拾貳錢壹厘

府廳舍建築修繕費雜入

通常府會

本會は、明治二十年十一月十五日午後四時十分を以て開會し、會議を開くこと六日間に涉つて、十一月三十日午後四時四十分閉會した。

開會の當初に、知事代理として銀林書記官が議場に臨み、次の開會の辭を述べた。

「諸君 本日ヲ以テ第十回通常府會ヲ開キ明治二十一年度收支豫算議案ヲ頒ツ此豫算ヲ査定スルヤ首トシテ節減ヲ圖リタルモ實ニ急要闕クヘカラサルモノ一二ニ止マラス遂ニ前年度ノ豫算ニ比シ郡區聯帶經費ニ於テ拾七萬六千百參拾貳圓餘區部ニ於テ拾壹萬參千九百七拾四圓餘郡部ニ於テ壹萬七千參百七拾五圓餘ノ増額ヲ要スルニ至レリ其事由ノ要領ハ之ヲ各費目ノ説明書中ニ掲載セリ諸君審査熟議以テ適宜ノ議定ヲ得ンコトヲ切ニ希望スル所ナリ(明治二十年府會議事録)」

書記官銀林綱男、屬大胡純、同川崎實、同安藤俊明、同大東重善、同關口良禮は答辯委員として、又二等警視村上楯朝、警視屬水谷吉徳、同松崎政行、同筒井明俊、副典獄杉本壽幸は答辯囑託委員として、孰れも會議に參與した。

議長福地源一郎は、先づ議員の異動に關する知事の通達を議場に報告した後直

ちに議事に入つた。

議案 附建議案決議案

無	號	府會ト區郡部會トニ於テ議定スヘキ事件ノ區別及聯帶經費郡區負擔割合……………	修正
同		明治二十一年度地方稅支出豫算……………	修正
同		明治二十一年度尋常師範學校附屬小學校生徒授業料支出豫算……………	可決
同		明治二十一年度雜收入豫算……………	修正
同		明治二十一年度尋常師範學校附屬小學校生徒授業料收入豫算……………	可決
		明治十九年度地方稅收支精算報告……………	承認
		火葬場設置ハ許可以前常置委員ニ諮問サレタシトノ建議……………	可決
		家畜市場ノコトニ關スル建議……………	可決

		海苔採ノ爲メ東京灣拜借出願ニ關スル建議……………	可決
		多摩川砂利採掘場拜借ニ關スル建議……………	可決
		河岸地拜借者ノ轉貸ヲ防カレンコトヲ望ムノ建議……………	可決
		內務大藏兩大臣ニ於テ地方經濟ヲ重セララルルヲ鳴謝スルノ決議……………	可決
		本會ノ可決シタル建議ノ手續ハ都テ常置委員ヘ委囑スルノ決議……………	可決

議決摘要

無 號 府會ト區郡部會トニ於テ議定スヘキ事件ノ區別及聯帶經費郡區負擔割合……………修正

第一條 經費ノ中郡區聯帶シタル費用ニ係ル事件ハ府會ニ於テ之ヲ議定スヘシ
 第二條 經費ノ中郡區聯帶セサル費用ニ係ル事件ハ區部會郡部會ニ於テ各之ヲ議定スヘシ